

平成22年度
神戸大学附属図書館年次報告

平成23年7月

編集：神戸大学附属図書館評価委員会

* 附属図書館ホームページ掲載 *

<http://www.lib.kobe-u.ac.jp/>

平成22年度神戸大学附属図書館年次報告

1. 達成度評価

- (1) 達成度評価特記事項 p. 1
- (2) 達成度評価表 p. 3

2. 学習・教育支援

- (1) 開館サービス p. 6
- (2) 学生用資料整備 p. 8
- (3) 資料提供サービス p. 9
- (4) 情報リテラシー教育の推進支援 p. 11
- (5) 設備・機器の整備 p. 13

3. 学術研究支援

- (1) 研究用資料の整備 p. 15
- (2) 電子的情報基盤の整備 p. 17
- (3) 蔵書目録データベースの整備 p. 20
- (4) 資料の保存 p. 22
- (5) その他の研究支援サービス p. 23

4. 社会連携・情報発信

- (1) 一般市民への資料提供サービス p. 24
- (2) 震災文庫 p. 25
- (3) 電子図書館システムによる情報発信 p. 27
- (4) 機関リポジトリによる情報発信 p. 29
- (5) 国際連携 p. 31
- (6) 大学文書史料室 p. 32

5. 管理運営等

- (1) 図書館組織と運営 p. 35
- (2) 事務組織と人事管理 p. 36
- (3) 予算及び財務会計業務 p. 40
- (4) 施設整備・システム整備 p. 41
- (5) 図書館界での諸活動 p. 43

<付録>

基本統計表	p. 45
蔵書・受入等の現況（各館室別）	
サービス業務の現況（各館室別）	
電子的情報サービスの現況	
図書館組織図・事務組織図	p. 49
附属図書館諸会議（議題一覧、委員名簿）	p. 50
附属図書館予算・決算表（運営経費、資料費）	p. 58
附属図書館活動日誌	p. 60

1. 達成度評価

(1) 達成度評価特記事項

項 目	「業務運営の改善及び効率化」
特記事項	該当なし
項 目	「財務内容の改善」
特記事項	該当なし
項 目	「自己点検・評価及び情報提供」
特記事項	(利用者ニーズ・満足度調査) ・利用者ニーズや利用者満足度を測る手段のひとつとして、「館長、副館長及び分館長と学生との懇談会」を実施した。そこでの、要望や意見をもとに、サービスの改善に努めることにしている。(社会科学系図書館、自然科学系図書館、人文科学図書館、医学分館、海事科学分館)
項 目	「その他業務運営に関する重要事項」
特記事項	(各館室の施設・設備等の整備) ・入退館管理システムの導入 (総合・国際文化学図書館、自然科学系図書館、人間科学図書館、海事科学分館) ・空調設備更新(保健科学図書室)、空調機修理(自然科学系図書館、人文科学図書館、医学分館、大学文書史料室) ・利用者用トイレの改修(社会科学系図書館本館及び管理棟2階) ・障がい学生の要望により本館外階段に手摺設置(社会科学系図書館) ・震災文庫・マイクロ資料室の改修(社会科学系図書館) ・本館2F大壁画の修復(社会科学系図書館)

項目	「教育研究等の質の向上」
特記事項	<p>(研究支援機能の強化)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度、全学経費(1.5億)及び間接経費(1.41億)により、2010年電子ジャーナル(約13,400誌)及びデータベース(29種)の提供維持、20%の外国雑誌購読補填を実現し、H23年度も財源として2億9千万が措置されている。 ・「教育研究活性化支援経費」の配分により、「Web of Science」及び「Nature」のバックファイル(未導入期間)の導入が実現した。 ・加えて、人文社会科学系分野を含む「Emerald」、「SAGE(HSS)」、「JSTOR(未導入期間)」、「Cambridge(CJDA 4分野)」のバックファイル及び「Oxford Handbooks Online(電子Book)」の導入も実現した。 ・引き続き「学術成果リポジトリ」のコンテンツ収集に努め、公開論文の年間ダウンロード件数は、約49万件に達した。また、今年度、図書館長が六甲台キャンパスの各研究科長と面談し、「博士学位論文」の登録数を増やすため、申請方法等の改善について協力依頼を行った。 ・「Library of the Year」(*1)に、附属図書館デジタルアーカイブ事業が平成22年度ノミネートされ、大学図書館として初めての優秀賞を受賞(*2)した。 <p>この事業は、国内研究機関有数のデジタルアーカイブ事業として、「戦前の新聞記事」及び「震災関係資料」並びに本学の教育・研究成果を収集・保存・提供する「神戸大学学術成果リポジトリKernel」等の充実に努めているものであり、電子コンテンツ作成総数は、平成23年3月末時点で新聞記事が約25万件、震災関係資料が4,800件、同リポジトリが14,347件となった。</p> <p>(*1)「特定非営利活動法人知的支援イニシアティブ(IRI)」が、これからの日本の公共図書館の在り方を示唆する先進的な活動を行っている機関に対し、毎年実施しているもの (*2) http://www.kobe-u.ac.jp/info/topics/t2010_09_08_01.htm</p>
	<p>(大学文書史料室の設置)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学文書史料室は、本学にとって歴史的・学術的に貴重な文書を保存・活用し、公文書管理法に基づく特定歴史公文書等を適切に管理するために必要な設備・体制の整備を進めていたが、内閣府による長期に渡る審査および実地調査を経て、本年3月30日付けで内閣総理大臣の指定する政令機関として「国立公文書館に類する施設」の指定を受けることとなった。 初の政令指定を受けた国立大学法人6校(東北大学、名古屋大学、京都大学、神戸大学、広島大学、九州大学)の文書館等の中でも唯一図書館に附属しており、後継諸機関のモデルケースとして大きく注目されている。 それに伴い、保管文書の目録データベース(*1)も構築され、ホームページ(*2)にて公開している。 <p>(*1) http://133.30.51.93/infolib/meta_pub/G0000003bunsho (*2) http://lib.kobe-u.ac.jp/www/modules/bunsho/</p> <p>(地域市民への資料公開等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成22年度資料展は、「『住田文庫』にみる開国と文明開化」(社会科学系図書館2階展示コーナー)を開催した。開催期間中の来館利用者(計54,585名)の多くが観覧したと思われる。 また、10月30日の神戸大学ホームカミングデーにおける見学者は105名であった。 ・今回初めての試みとして、図書館外で、資料展の巡回展(パネル展示)を開催した。 来場者数は計284名であった。 ・大学文書史料室では、神戸大学の歴史に係る資料の公開等の利用及び地域社会との連携を図るため、以下の資料展を企画・実施した。 ・神戸大学史・特別展「神戸大学と戦争(1937-1945)」 (期間:10月25日～11月5日、会場:神戸大学百年記念館1階展示ホール) 入場者数534人 ・神戸大学史巡回展「神戸大学と戦争(1937-1945)」パネル展 (期間:11月16日～29日、会場:神戸大学アカデミア館2階オープンアカデミー) 入場者数526人 ・神戸大学史巡回展「神戸大学と戦争(1937-1945)」パネル展 (期間:平成23年2月6日～9日、会場:神戸大学東京六甲クラブ) 入場者数561人

(2)達成度評価表

平成22年度附属図書館の活動総括として、附属図書館年次計画に対する達成度自己評価表を示す。

全学期計画 (図書館年次計画関連部分のみ抜粋)	附属図書館年次計画	自己評価	自己評価判断理由
<p>I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標 1 教育に関する目標 (2)教育の実施体制等に関する目標 ○国際的教育研究拠点としてふさわしい、充実した教育を実施するための教育実施体制を強化する。 ・明確な責任体制の下、大学として必要な教育基盤環境を充実させる。</p>	<p>・附属図書館において施設・設備等の計画的な充実を図る。(H22-27)</p>	<p>IV</p>	<p>平成22年度、各図書館の施設・設備等の整備として以下を実施した。 ・避難器具更新(社会科学系図書館管理棟3-6階、自然科学系図書館3-4階) ・障がい学生の要望により本館外階段に手摺設置(社会科学系図書館) ・入退館管理システムの導入 (総合・国際文化学図書館、自然科学系図書館、人間科学図書館、海事科学分館) ・グループ学習室の整備(医学分館・保健科学図書室) ・空調設備更新(保健科学図書室) ・空調機修理(自然科学系図書館、人文科学図書館、医学分館、大学文書史料室) ・開架閲覧室の整備(海事科学分館) ・利用者用トイレの改修(社会科学系図書館本館及び管理棟2階) ・本館外壁タイル剥落部分補修工事(社会科学系図書館) ・震災文庫・マイクロ資料室の改修(社会科学系図書館) ・本館2F大壁画の修復(社会科学系図書館)</p>
<p>(3)学生への支援に関する目標 ○学生に対する修学支援、生活支援、キャリア形成支援等を充実させる。 ・修学支援を充実させるため、学習相談をはじめとした支援体制を点検・評価し、改善する。</p>	<p>・附属図書館において、情報リテラシー教育を支援するため、全学共通授業科目「情報基礎」での授業支援活動や対象者・分野を考慮したきめ細かなデータベース講習会及び図書館ガイダンス等を実施する。(H22-27)</p>	<p>III</p>	<p>・開架閲覧室の資料配置を見直し、閲覧スペースを拡充した。(海事科学分館) ・閲覧スペース拡充のため、目録カードの移動及びデータ入力済目録カードを廃棄した。(社会科学系図書館) ・収容スペース確保のため、重複雑誌等の廃棄を実施(人文科学図書館、海事科学分館) ・図書目録閲覧入力事業を継続し、当初目標の29,000冊を超える41,223冊の入力を達成した。内訳は以下のとおりである。 【社会科学系図書館洋書(マイクロフィルム)7,096冊及び総合・国際文化学図書館中国書19,077冊を、今年度獲得した国立情報学研究所選定入力事業費(3,870,000円)により、外部委託入力実施(26,173冊)】 【研究室返却資料等を職員入力実施(15,050冊)】 また、海事科学分館では、研究室分も含め閲覧入力完了した。 ・社会人大学院生のため、8月後半の土曜日の臨時開館を実施した。(社会科学系図書館) ・23年度からは、社会科学系図書館において、土日の閉館時間を午後6時から7時に延長及び年間を通して土日閉館を実施予定。 ・館長、副館長及び分館長と学生との懇談会を実施した。(社会科学系図書館、自然科学系図書館、人文科学図書館、医学分館、海事科学分館)</p>
<p>2 研究に関する目標 (2)研究実施体制等に関する目標 ○国際的教育研究拠点として、卓越した研究成果を創出するための研究実施体制等を充実させる。 ・研究者の自律性を尊重し、それぞれの学術領域における研究が発展し得るよう、大学として必要な研究基盤環境を整備する。</p>	<p>・附属図書館は、全学的な教育研究基盤資料である電子ジャーナルや情報データベース等を計画的・安定的に提供する。(H22-27) ・平成24年度以降の新たな教育研究基盤資料の維持・整備方策を策定する。(H22-23)</p>	<p>IV</p>	<p>・今年度、全学経費(1.5億)及び間接経費(1.41億)により、2010年電子ジャーナル(約13,400誌)及びデータベース(29種)の提供維持、20%の外国雑誌購読補填を実施し、H23年度も財源として約2億9千万が措置されている。 ・平成24年度以降の新たな教育研究基盤資料の維持・整備方策については、検討中である。 ・今年度の「教育研究活性化支援経費」の配分により、「Web of Science」及び「Nature」のバックファイル(未導入期間)の導入が実現した。 ・加えて、人文社会科学系分野を含む「Emerald」、「SAGE(HSS)」、「JSTOR(未導入期間)」、「Cambridge(CJDA 4分野)」のバックファイル及び「Oxford Handbooks Online(電子Book)」の導入も実現できた。 特に「Web of Science」、「Nature」及び「JSTOR」のバックファイル全期間を導入している大学は多くなく、本学の学生及び教員等の研究推進にも貢献できるものとする。</p>
	<p>・附属図書館は、外国雑誌センター館機能を持つ人文・社会科学系分野の拠点図書館として、全国共同利用の観点から資料収集を進めるとともに、利用サービスの改善を図る。(H22-27)</p>	<p>III</p>	<p>・前年度に引き続き、社会科学系図書館において国内未収集の外国雑誌934誌を収集・整理し、全国に文献複写等の情報サービスを実施するとともに、学外からの複写依頼に迅速に対応するため、複写作業の外部委託を継続した。 ・前年度に引き続き、学内外の利用者への迅速な雑誌所蔵情報提供のために、国立情報学研究所全国総合目録データベースへのデータ更新をほぼ毎日行い、利用サービスの改善を図った。</p>
	<p>・附属図書館では、本学が所蔵する知的資源や学術成果のデジタル化を推進する。その一環として「神戸大学学術成果リポジトリ」のコンテンツの充実を図り、国内外の各種情報ポータル等への情報提供を行うとともに、次期図書館システムへのリプレイスにより、横断検索、リンクリゾルバ機能及び図書館ポータル機能等の情報提供機能を強化し、学内研究成果の発信に寄与する。(H22-27)</p>	<p>III</p>	<p>・引き続き「学術成果リポジトリ」のコンテンツ収集に努め、総件数は約14,347件となり、公開論文のダウンロード件数も多い月では5万件近くに達した。また、今年度、図書館長が六甲台キャンパスの各研究科長と面談し、「博士學位論文」の登録数を増やすため、申請方法等の改善について協力依頼を行った。 ・平成23年1月に、図書館システムのリプレイスを実施し、OPACの機能強化を行い、所蔵検索における全文検索、電子ジャーナル・電子ブックの検索機能に加え、学内研究成果論文等の4種類の検索が可能となった。</p>

全学中期計画 (図書館年次計画関連部分のみ抜粋)	附属図書館年次計画	自己 評価	自己評価判断理由
<p>3 その他の目標</p> <p>(2)社会との連携や社会貢献に関する目標 ○国立大学の公的な役割を踏まえ、教育研究成果の社会還元を通じて、積極的な社会貢献を行う。</p> <p>・大学の施設・設備の開放、知的資産及び授業の公開等を推進し、地域社会の発展に寄与する。</p>	<p>・附属図書館では、図書館資料を公開する展示会を開催するなど、一般市民の生涯学習を支援し、地域社会への貢献を図る。(H22-27)</p> <p>・大学文書史料室において、法人文書のうち歴史的又は学術的に貴重な文書及び神戸大学の歴史に係る資料の計画的な収集、整理、保存及びそれらに関する調査研究を行うとともに、公開等の利用に供することにより、地域社会との連携を図る。(H22-27)</p>	IV	<p>・一般市民への図書館開放(全館室)、学者等への館外貸出サービス(総合・国際文化図書館、海事科学分館)、本学卒業生・修了者及び放送大学学生等への館外貸出サービス(全館室)を継続実施した。</p> <p>・平成22年度資料展は、「『住田文庫』にみる開国と文明開化」(社会科学系図書館2階展示コーナー)を開催した。会場は、開架図書室等への連絡通路部分のため、開催期間中の社会科学系図書館の来館利用者(計54,585名)の多くが資料展を観覧したと思われる。10月30日の神戸大学ホームカミングデイにおける見学者は105名であった。</p> <p>・今回初めての試みとして、図書館外で、資料展の巡回展(パネル展示)(神戸大学アカデミア館2階オープンアカデミー)を開催した。来場者数は計284名であった。</p> <p>・本学にとって歴史的・学術的に貴重な文書を保存し活用するため、公文書管理法に基づき特定歴史公文書等を適切に管理するために必要な設備体制が整備されている公文書館に類する施設の指定を受けた。</p> <p>・「神戸大学における法人文書等の大学文書史料室への移管等に関する要項」策定に伴い、総務部総務課と連携して検討中である。</p> <p>・大学文書史料室ホームページを公開し、保管文書目録データベースを構築中である。</p> <p>・神戸大学の歴史に係る資料の公開等の利用及び地域社会との連携を図るため、以下の資料展を企画・実施した。</p> <p>・神戸大学史・特別展「神戸大学と戦争(1937-1945)」(期間:10月25日～11月5日、会場:神戸大学百年記念館1階展示ホール) 入場者数534人</p> <p>・神戸大学史巡回展「神戸大学と戦争(1937-1945)」/パネル展(期間:11月16日～29日、会場:神戸大学アカデミア館2階オープンアカデミー) 入場者数526人</p> <p>・神戸大学史巡回展「神戸大学と戦争(1937-1945)」/パネル展(期間:平成23年2月6日～9日、会場:神戸大学東京六甲クラブ) 入場者数561人</p> <p>・室員(選任講師)が、本学の特定歴史公文書等その他史料の保存・利用に関すること、大学史の教育研究及びアーカイブズ学に関する調査研究を実施した。</p> <p>・兵庫県大学図書館協議会会長館として、協議会に加盟している図書館が一般市民等の学者等にどのようなサービスを行っているのかについて取りまとめ、兵庫県図書館協会に提供した。</p>
<p>II 業務運営の改善及び効率化に関する目標</p> <p>1 組織運営の改善に関する目標</p> <p>○機動的かつ柔軟な大学経営を実現するため、効果的な人的資源管理を行う。</p> <p>・人的資源管理を推進するため、事務職員の採用・配置・養成、並びに人事考課に基づく処遇について、点検・評価し、改善する。</p>	<p>・附属図書館において、「震災文庫」の資料収集とデジタル化を進め、震災関係では最大規模のコレクションとして、これを広く社会に公開するとともに、震災関係資料を収集する他機関との連携を図る。(H22-27)</p>	III	<p>・前年度に引き続き、資料収集を進めるとともに、震災文庫電子化を継続した(新規受入1,834点、電子コンテンツ作成20点)。これにより資料総数は47,694点となり、電子コンテンツ作成総数は4,800点となった。</p> <p>・平成22年度の来館者数は182名、HPアクセス数は約33,000件であった。</p> <p>・日本新聞協会・報道資料研究会メンバー44名、「震災文庫」見学(5月14日)</p> <p>・「震災文庫」資料を伊丹市立博物館秋季企画展に貸出(期間:9月22日～11月30日)</p> <p>・報道機関代表者14名による「震災文庫」見学(9月30日)</p> <p>・「震災文庫」と「阪神・淡路大震災記念人と防災未来センター」所蔵の図書資料の横断検索システムのデータ更新を継続している。</p>
<p>II 業務運営の改善及び効率化に関する目標</p> <p>1 組織運営の改善に関する目標</p> <p>○機動的かつ柔軟な大学経営を実現するため、効果的な人的資源管理を行う。</p> <p>・人的資源管理を推進するため、事務職員の採用・配置・養成、並びに人事考課に基づく処遇について、点検・評価し、改善する。</p>	<p>・附属図書館では、経済関係資料・古文書等の図書館所蔵資料や学内研究成果等のデジタル化を推進するとともに、次期図書館システムへのリプレースにより、横断検索、リンクリゾルバ機能及び図書館ポータル機能等の情報提供機能を強化し、本学の知的資源を社会に発信する。(H22-27)</p>	III	<p>・経済関係資料では、新聞記事文庫のデジタル化について、本年も引き続き科研費(研究成果公開促進費)を10,800,000円獲得し、約13,000記事の全文テキスト化を実施した。</p> <p>・人文学研究科地域連携センターと連携し、「神戸大学附属図書館所蔵郷土文書類目録」を作成、ウェブ公開した。また、「神戸大学附属図書館所蔵地域史料解題(冊子体)」を作成・配布した。</p> <p>・神戸大学附属図書館デジタルアーカイブ事業が「Library of the Year 2010」優秀賞を受賞した。</p> <p>・今年度、図書館長が六甲台キャンパスの各研究科長と面談し、「博士学位論文」の登録数を増やすため、申請方法等の改善について協力依頼を行った。</p> <p>・平成23年1月に、図書館システムのリプレースを実施し、OPACの機能強化を行い、所蔵検索における全文検索、電子ジャーナル・電子ブックの検索機能に加え、学内研究成果論文等の4種類の検索が可能となった。</p>
<p>2 事務等の効率化・合理化に関する目標</p> <p>○卓越した大学経営を実現するため、業務改善を推進する。</p> <p>・定期的に事務業務を点検・評価し、改善するとともに、必要に応じて事務組織の見直しを行う。</p>	<p>・業務の合理化・質的向上と職員の活力向上を図り、研究・教育活動に密着した支援サービスを推進するために、図書館業務の点検・評価を行う。(H22-23)</p> <p>・点検・評価結果を踏まえて図書館業務の見直しを実施する。(H24)</p> <p>・実施後の状況を点検し、必要に応じて改善を図る。(H25-27)</p>	III	<p>・各図書館室から「年度事業計画・課題表」を提出させ、表に基づき館室の点検・評価を実施した。</p>
<p>2 事務等の効率化・合理化に関する目標</p> <p>○卓越した大学経営を実現するため、業務改善を推進する。</p> <p>・定期的に事務業務を点検・評価し、改善するとともに、必要に応じて事務組織の見直しを行う。</p>	<p>・さらに定型業務の集約化に努め、効率化・合理化できる業務については業務の見直しやアウトソーシングを検討する。(H22-27)</p>	III	<p>・予算管理の一元化等、会計処理の効率化を図るため、22年4月から図書会計処理を新財務会計システムで実施。</p> <p>・各館室に共通する業務や課題については、係横断的なワーキンググループを組織し、業務の合理化・質的向上を図った。特に、「学術成果リポジトリ推進ワーキンググループ」が、学長表彰にて【特別賞】を受賞した。</p> <p>・平成22年度は、以下のアウトソーシングを継続</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雑誌製本業務に関連した定型的業務 ・目録データ・装備付き納品業務 ・文献複写業務(社会科学系図書館) ・時間外開館サービス業務(社会科学系図書館及び医学分館) ・選及入力(総合・国際文化図書館、社会科学系図書館) <p>・また、経費の効率化のため「時間外開館サービス業務」の複数年契約を来年度より実施する。</p>

全学中期計画 (図書館年次計画関連部分のみ抜粋)	附属図書館年次計画	自己 評価	自己評価判断理由
V その他業務運営に関する重要目標 1 施設設備の整備・活用等に関する目標 ○全学的視点に立った施設マネジメント及び環境マネジメントを更に推進する。 ・全学的視点に立った施設マネジメントを推進するため、施設・設備の有効活用の観点から、継続的に施設点検と評価を実施し、計画的な施設・設備の整備・保全を行う。また、医学部附属病院立体駐車場施設整備等事業及び農学系総合研究棟改修事業をPFI事業として確実に推進する。	・附属図書館では、重複資料、不用資料等の処分を計画的に実施し、収蔵スペースの有効活用を図る。(H22-27)	III	・収蔵スペースの有効活用を図るため、重複雑誌等の廃棄を実施した。(人文科学図書館、海事科学分館)
	・プレゼンテーション・ホールの利用について点検・評価を行い、関係規則の見直しを検討する。(H22-24)	III	・プレゼンテーション・ホールの利用状況を詳細に把握するため、予約状況確認表を改善した。
・全学的視点に立った環境マネジメントを推進するため、本学における環境憲章の基本方針である率先垂範としての環境保全活動を行う。	・環境マネジメントを検討する窓口を整備する。(H22)	III	附属図書館の環境マネジメントに関する窓口は情報管理課管理係とする。
2 安全管理に関する目標 ○大学の諸活動における安全性の向上を目指すとともに、情報セキュリティ対策を推進する。 ・学生及び教職員の安全並びに情報セキュリティに対する意識を向上させるため、各種法令等の周知・徹底を行う。	・図書館施設・設備の安全点検に努め、利用者・職員の事故等防止のための改善を着実に進める。(H22-27)	III	安全衛生委員(衛生管理者)の館内点検を、2名体制で毎週継続実施している。平成22年度は、安全衛生に関わる営繕工事について、以下を実施した。 ・避難器具の更新(社会科学系図書館管理棟3-6階、自然科学系図書館3-4階) ・障害学生の要望により本館外階段に手すり設置(社会科学系図書館) ・入退館管理システムの導入(総合・国際文化学図書館、自然科学系図書館、海事科学分館、人間科学図書館) ・空調設備更新(保健科学図書室) ・空調機修理(自然科学系図書館、人文科学図書館、医学分館) ・利用者用トイレの改修(社会科学系図書館本館及び管理棟2階) ・電気錠の設置(社会科学系図書館)
	・安全衛生に係る講習会や研修会に職員を積極的に参加させ、意識向上を図る。(H22-27)	III	安全衛生に係る講習会等に職員を参加させた。 ・うつ・自殺予防の相談対応スキル向上研修会(1名受講) ・救急講習会(3名受講) ・障害者サービス担当職員向け講座(1名受講)
・大学の諸活動における安全性の向上を目指すため、安全衛生環境及び管理体制を点検・評価し、改善する。	・附属図書館では、館内点検を継続実施するために、安全衛生管理の有資格者の計画的な増員を図る。(H22-27)	III	・第一種衛生管理者試験の受験準備講習会(8月4～6日)を3名が受講し、9月の試験に、3名とも合格した。
3 法令遵守に関する目標 ○適正な大学運営を行うため、大学の諸活動における法令遵守はもとより、大学倫理を徹底する。 ・大学の諸活動における法令遵守を徹底し、大学の社会的責任を果たすため、学生及び教職員に対する啓発活動を充実させるとともに、内部監査体制等を実質化する。	・ハラスメント防止のため、ポスターの掲示等により、構成員への啓発を推進する。(H22-27)	III	・ハラスメント防止のため、3名のハラスメント相談員を図書館職員より選出し、相談員を中心として図書館構成員及び利用者への啓発活動を掲示等により進めた。
4 広報活動の充実に関する目標 ○大学の多様な情報を発信するため、戦略的な広報活動を展開する。 ・学内の様々な情報を収集、発信するため、学内組織の連携体制を強化する。	・各種の情報やサービスが統合的にタイムリーに利用できるように図書館ホームページの充実を図る。(H22-27)	III	・学内の図書館一覧のページに、図書館マップを追加し、各館室の写真を掲載した紹介ページに飛ぶようにする等の改善を実施した。 ・図書館システムのリプレースによるWebサーバの更新に併せて、図書館ホームページに利用者がログインして利用する個人スペースとしてのポータル機能を追加し、改善を図った。
・学生及び保護者、卒業生をはじめとした多様なステークホルダーのニーズに応えた戦略的な広報活動を推進する。	・英語版図書館ホームページの整備・充実を図る。(H22-27)	III	・トップページからリンクした主なページについて、日本語版を英訳する形で英語版のページ案を作成した。公開に向けて現在準備中である。

2. 学習・教育支援

(1) 開館サービス

<開館状況>

		総合・国際	社会科学系	自然科学系	人文科学	人間科学	研究所	医学分館	保健科学	海事分館
通常期	平日	8:45-21:30	8:45-21:30	8:45-21:30	8:45-20:00	8:45-21:00	8:45-17:00	8:45-21:00	8:45-20:00	8:45-20:00
	土曜	10:00-18:00	10:00-18:00	10:00-18:00	10:00-18:00	10:00-18:00	休館	9:00-17:00	10:00-18:00	10:00-18:00
	日曜	休館	10:00-18:00(注1)	休館	休館	休館	休館	休館	休館	休館
休業期	平日 17:00まで 土日休館	8月のみ 土日休館	平日 17:00まで 土日休館	平日 17:00まで 土日休館	平日 17:00まで 土日休館	通常期と同じ	通常期と同じ	平日 17:00まで 土日休館	平日 17:00まで 土日休館	
試験期 特別開館	日祝 10:00-18:00	祝 10:00-18:00	日祝 10:00-18:00	平日21:00 まで延長 日祝 10:00-18:00	日祝 10:00-18:00	通常期と同じ	通常期と同じ	通常期と同じ	平日21:00 まで延長 日祝 10:00-18:00	

(注1) 毎月第1日曜日は除く

- ・平成22年度の開館時間帯は上表のとおりである。
- ・社会科学系図書館において、社会人大学院生の要望に応じて、8月21日・28日の土曜日に臨時開館を実施した。
- ・平成23年3月11日に発生した「東北地方太平洋沖地震」で被災された地域の大学に所属し、震災のために兵庫県や近隣府県に滞在せざるを得なくなった学生・教職員を対象に、全館室で本学学生・教職員とほぼ同等の図書館サービスを提供することとした。

<入館状況>

平日 8:45～17:00 時間帯の1日あたりの入館者数

	総・国	社会系	自然系	人文	人間	研究所	医学	保健	海事	合計
H22/H21	1.03	1.08	0.93	1.00	0.93	2.54	1.03	1.03	1.01	1.01
H21年度	1124.9	665.2	493.3	268.0	416.5	7.0	232.4	359.7	186.3	418.3
H22年度	1155.3	715.3	456.8	267.9	388.5	17.8	238.3	371.5	187.6	421.5

- ・上表は、平日 8:45～17:00 の時間帯の1日あたりの入館者数を平成21年度と比較したものである。
- ・館によって増減はあるが、全体としては前年度並みであった。
- ・平成21年度経済経営研究所図書館の入館者数が著しく少ないのは、耐震改修工事の影響である。

<夜間開館>

平日夜間（17:00～）時間帯の1日あたりの入館者数

	総・国	社会系	自然系	人文	人間	研究所	医学	保健	海事	合計
H22/H21	1.13	1.10	0.97	1.02	1.00	—	1.04	1.20	1.11	1.07
H21 年度	357.2	266.8	246.7	67.1	89.4	—	70.7	78.3	49.7	155.0
H22 年度	403.1	293.9	238.9	68.2	89.5	—	73.5	94.3	55.1	166.1

- ・平成21年度と比較すると、自然科学系図書館を除き、各館とも増加している。

<土曜・日祝開館>

土曜・日祝日の1日あたりの入館者数

	総・国	社会系	自然系	人文	人間	研究所	医学	保健	海事	合計
H22/H21	1.14	1.00	0.86	1.02	0.87	—	1.00	0.92	0.75	1.00
H21 年度	376.3	366.6	248.6	64.8	77.0	—	94.0	160.3	70.4	201.3
H22 年度	429.7	366.0	213.9	65.9	66.8	—	94.0	147.1	52.9	200.6

- ・館によって増減はあるが、全体としてはほぼ前年度並みの数字となっている。

<24時間開館>

- ・前年度に引き続き、医学分館と自然科学系図書館で24時間開館を実施した。利用者数は右表のとおりである。
医学分館で減少しているのは、利用ルールを変更して、閉館時に滞在者を一旦退館させることを止めたためである。
- ・両者の利用者数に大きな開きがあるのは、医学分館では、主に医学科2年次以上の学生が自学自習のために利用しているのに対し、自然科学系図書館では、院生等が雑誌論文の複写のために入館するといった利用が中心となっているからである。

	自然系	医学
H22/H21	1.02	0.91
H21 年度	204	19,327
H22 年度	208	17,533

◆評価と課題

平成22年度の入館者数は1,221,925人で、平成21年度と比べて全体数としては2.7%（約3万3千人）増加し、1日あたりでもほぼ同水準であった。これは、電子リソースの増加、オンラインサービスの充実などにより、来館しなくても利用できる図書館サービスへと大学図書館が機能転換している中で、一定の入館者数を保持していることは、施設・設備面をはじめとする利用環境改善に取り組んできたことによるものと評価できるだろう。今後も引き続き、学生の自学自習のための学習環境の改善に努めていかなければならないが、要望の多い開館日や開館時間の拡大は、経費上の問題もあるため、利用動向を踏まえた十分な検討が必要である。平成23年3月からは、4館（総合・国際文化学図書館、自然科学系図書館、人間科学図書館、海事科学分館）に入退館管理システムが導入され、これまで以上に細かい利用動向を把握することができるようになったので、そのデータを有効に活用していく必要がある。

(2) 学生用資料整備

館室別の蔵書数、受入図書冊数、資料費総額等は別添基本統計の通りである。

<資料費予算と重点整備>

- ・ 図書館予算（図書館セグメント）として各館室に配分する経費と、サービス対象部局から拠出された経費（部局セグメントの図書資料費）を合わせて、各館室の学生用資料整備を行う予算構造となっている。
- ・ 平成 22 年度は図書館予算として 6,100 万円（内 e-study 資料費 450 万円）規模とし、部局拠出分と合わせて引き続き学生用図書資料の充実を図った。これは平成 21 年度と同様に部局拠出分が減少するなかで、学生用図書費の維持を最重点の事項として予算確保し、部局拠出分と合わせ計画的で着実な資料整備を目指すことが認められたことによるものである。
- ・ 平成 18 年度より震災文庫資料費（50 万円）は独立した予算項目となっている。
- ・ 平成 16 年度より実施している装備付納品を、引き続き総合・国際文化学図書館（1,978 冊）、社会科学系図書館（1,329 冊）、自然科学系図書館（1,470 冊）、人間科学図書館（1,028 冊）、保健科学図書室（592 冊）において実施し省力化・合理化を進め、その人的資源を目録遡及入力作業等に投入した。

<各館室の整備状況>

H22 受入	総合	国際	社会	自然	人文	人間	研究所	医学	保健	海事	合計
図書冊数	4,566	403	3,926	2,480	436	2,326	148	1,473	1,338	1,046	18,142
雑誌種数	102	24	88	164	23	118	0	212	138	234	1,103

- ・ 各館室では配分された資料費をもとに関係部局のシラバス掲載図書の購入をはじめ参考図書、授業関連図書等の資料整備を行った。

<選書体制と収集方針>

- ・ 平成 16 年度に「学生用資料整備計画大綱」（附属図書館運営委員会決定）に基づき各館室図書委員会にて学生用図書資料の範囲、選定体制・方法等の整備計画の策定を行った。
- ・ 総合図書館では「総合図書館学生用資料整備計画」を策定するとともに学生用資料整備を推進するため「総合図書館資料選定委員会」（構成委員は職員）を立ち上げて具体的な選書スケジュール、選書手順などについて検討し、資料整備を進めた。
- ・ また、総合図書館では、学生の声を資料選定に反映させるための一つの試みとして、「学生選書ツアー」（学生が図書館に置いてほしい図書を、書店の店頭で直接手にとって内容を確認しながら選定するというもの）を平成 22 年度初めて企画した。11 月 17 日（水）、ジュンク堂書店三宮店において、午前の部（10：00～）と午後の部（14：00～）の 2 回に分けて実施。あわせて 20 名の学生（学部生 7 名、院生 13 名）が参加して約 300 冊が選書され、重複等を除いて最終的に 264 冊を購入した。学生が必要とする資料の一層の充実を図るため、今後も、こうした取り組みを継続する方針である。

<選書評価>

- ・ 平成 18 年度から、前年度に整備した学生用図書の利用状況の分析及び収集資料の評価を開始した。
- ・ 平成 21 年度からは、各館室とも共通したフォーマットによる選定評価を行っている。

◆評価と課題

平成 17 年度以降、学生用資料費の図書館予算が大幅に増額され、概ね要求は満たされたものとなっており、引き続き教育・学習活動の支援・拡充を図るため、現行の予算規模を維持する必要がある。

平成 21 年度に整備した学生用図書を選定評価を実施した結果、選定が蔵書構成上並びに利用上ほぼ適切に行われたことが実証されている。(附属図書館運営委員会〔平成 22 年度第 4 回開催〕に選定結果及び評価として資料配付の上報告)

(3) 資料提供サービス

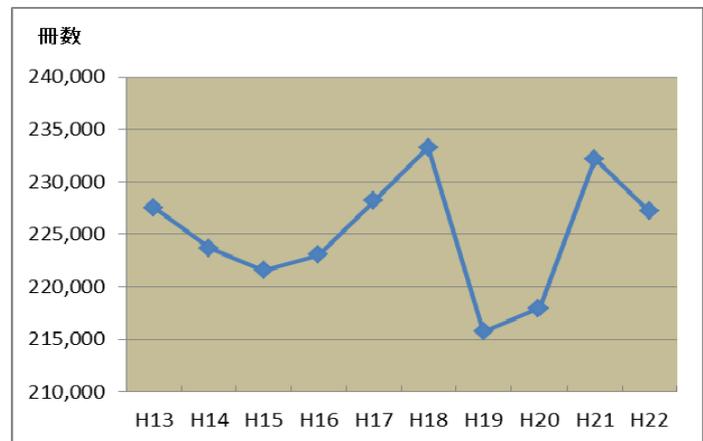
入館者数、貸出冊数等は別添基本統計のとおりである。相互利用サービスについては、3(5)に後述する。

《貸出サービス》

貸出冊数等の条件面での変更など、特に運用に係る変更はなかった。

<貸出冊数(学生・院生)経年推移>

平成 13 年度から平成 22 年度までの図書館全体の貸出冊数の経年推移を右に掲げた。



<館室別学生・院生貸出冊数>

	総・国	社会系	自然系	人文	人間	研究所	医学	保健	海事	合計
H22/H21	1.00	0.95	0.94	0.94	0.93	0.58	1.24	1.05	1.07	0.98
H21 年度	60,981	65,236	37,515	16,023	17,553	1,055	6,549	14,249	13,031	232,192
H22 年度	60,743	61,996	35,434	15,087	16,254	607	8,121	14,948	13,988	227,178

- ・ 全体としては、前年度に比べて約 2% (5,014 冊) の減少となっているが、平成 19 年度の総合・国際文化学図書館の耐震改修工事前の水準を維持している。
- ・ 六甲台地区の 6 館では減少し、他 3 館室では増加している。特に医学分館では学部学生の貸出数が大幅に増えた。

<卒業生及び修了者に対する貸出>

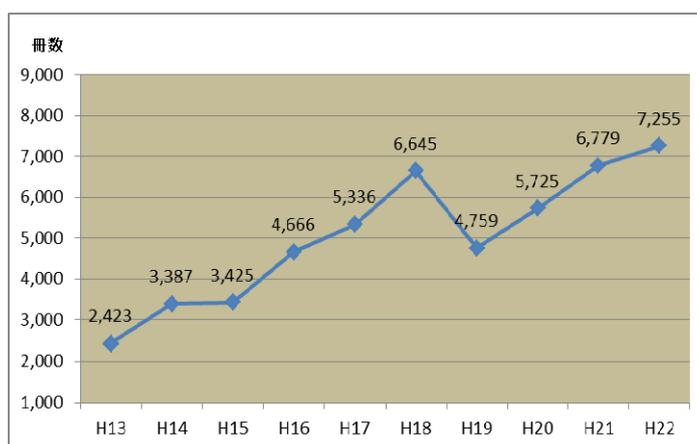
本学卒業生及び修了者に対する図書資料の貸出サービスは、平成 21 年 3 月から行っており、平成 22 年度は前年度より利用登録者数、貸出数ともに増加している。中でも社会科学系図書館の利用が半数近くを占めている。

	利用登録者数	貸出冊数
H22/H21	1.03	1.27
H21 年度	319	2,156
H22 年度	328	2,729

《デリバリ（図書配送）サービス》

＜デリバリサービス貸出冊数推移＞

デリバリサービスは、平成 12 年度後期から、院生・教職員（異キャンパス間は学部学生も）を対象に行っている。図書館全体の貸出冊数の経年推移を右に掲げた。



＜館別デリバリ貸出冊数＞

	総・国	社会系	自然系	人文	人間	研究所	医学	保健	海事	合計
H22/H21	1.36	0.89	0.89	1.54	0.91	—	1.14	0.91	1.46	1.07
H21 年度	1,452	1,678	847	560	1,579	—	121	367	175	6,779
H22 年度	1,975	1,499	757	864	1,432	—	138	335	255	7,255

- ・ 館によって増減はあるが、全体としては前年度より増加し、7,000 冊を超えた。
- ・ 平成 22 年 5 月から、総合・国際文化学図書館、人文科学図書館、人間科学図書館の 3 館において、製本雑誌のデリバリサービスの試行を実施した。

◆評価と課題

学生の貸出冊数は、全体としては平成 19 年度の総合・国際文化学図書館の耐震改修工事の影響から回復し、工事前の水準を維持している。今年度、六甲台の図書館で若干の減少の傾向が見られるが、これは学生用図書の受入冊数が減少したことが影響していると考えられる。卒業生及び修了者に対する貸出は、開始から 2 年が経過し、生涯学習を支援するサービスとして定着しつつある。

デリバリサービスは、平成 19 年度の耐震改修工事の影響による一時的減少を除けば、当初から増加傾向を継続しており、平成 22 年度は貸出冊数が開始当時の約 3 倍に達した。さらに平成 22 年 12 月の業務システムリプレイスに伴い、予約サービスと一体化し、申し込み手続きも所蔵検索結果から簡便にできるように改善された。また、開始当初からの懸案であった六甲台キャンパス内における学部学生へのサービス拡大も、平成 23 年度から実施することになっており、今後一層利用が増加するものと期待される。

学生用図書費が伸び悩む中、OPAC の検索機能向上とデリバリサービスの拡大が貸出サービス全体の活性化につながるかどうか、今後の動向を注意深く見守る必要がある。

(4) 情報リテラシー教育の推進支援

<情報リテラシー教育支援>

- 平成 16 年度より設けられた全学共通教育必修科目「情報基礎」では、平成 20 年度より 1 コマ (90 分) が「情報の活用：レポート・論文作成のための情報リソース活用法」にあてられ、5 月上旬～6 月下旬を中心に計 24 回 (補講・再履修を含む) 講義 (実習を含む) を行った。
- 平成 20 年度より情報リテラシー係と各館室のサービス係員から構成される「情報リテラシー教育支援 WG」を組織して、課題やちからだめしなども改訂し、WG メンバーで分担し講義を行った。学部新入生全員に補講受講者等を加え、約 2,700 人が受講した。
- 基本となる図書館ホームページ上のサービス紹介をはじめ、レポート・論文作成の際に役立つ、各種データベースの紹介、所蔵検索 OPAC (実習を含む)・各種 Web サービス等を中心とする内容で実施した。
- 次年度に向けて、授業内容やテキスト・課題・ちからだめしの再検討を行った。

<オリエンテーション、ガイダンス>

- 情報リテラシー係を中心に情報リテラシー教育支援 WG メンバーで以下のガイダンスを開催した。

名称	内容	時期	時間	会場	回数	参加者
留学生オリエンテーション	施設紹介・利用全般	4、10 月	10 分	六甲ホール	2	530
館内ツアー、検索ガイダンス	OPAC の検索方法 資料入手方法、他	4、5 月	15～20 分	各館室	93	264
SciFinder 講習会	SciFinder	6 月上旬	90 分	自然科学系図書館	2	30
Web of Science 操作説明会	Web of Science	6 月中旬	60 分	自然科学系図書館	2	38
雑誌論文の探し方 「国内編」と「海外編」	CiNii、Jdream 、WOS 電子ジャーナル	6 月中旬	60 分	自然科学系図書館	4	46
日経テレコン操作説明会	情報収集、操作説明	6 月下旬	60 分	社会科学系図書館	2	23
雑誌論文の探し方 「国内編」と「海外編」	CiNii、Jdream 、WOS 電子ジャーナル	10 月下旬	60 分	自然科学系図書館	4	42
日経テレコン操作説明会	情報収集、操作説明	10 月下旬	60 分	自然科学系図書館	2	21
Web of Science 社会系、人文系 操作説明会	Web of Science	11 月中旬	60 分	社会科学系図書館	2	22
雑誌論文の探し方 「国内編」と「海外編」	Econlit、CiiNii 電子ジャーナル	11 月中旬	60 分	社会科学系図書館	4	38
雑誌論文の探し方 「国内編」と「海外編」	CiNii、Jdream 、WOS 電子ジャーナル	11 月中旬	60 分	人間科学図書館	4	16
PsycINFO 操作説明会	PsycINFO	11 月中旬	60 分	人間科学図書館	2	24
雑誌論文の探し方 「国内編」と「海外編」	医中誌、PubMed、 WOS 電子ジャーナル	12 月上旬	60 分	保健科学図書室	4	40

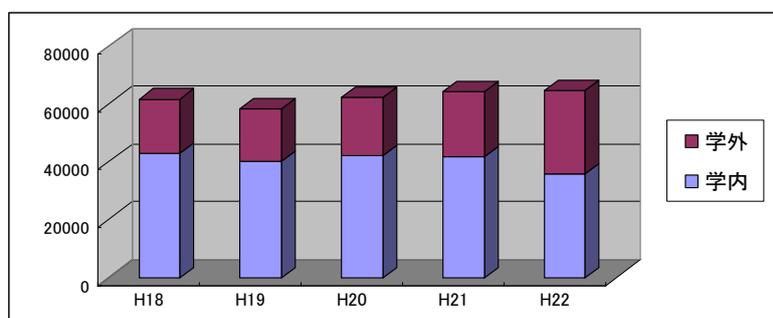
CINAHL(PsycINFO)操作説明会	CINAHL(PsycINFO)	12月上旬	60分	保健科学図書室	2	24
オーダーメイドガイダンス	雑誌論文検索方法等 依頼内容を説明	4-11月	60~120分	国文・人間・ 社会系・海事等	17	433
				計	146	1,591

- ・ SciFinder、Web of Science、日経テレコン 21、PsycINFO、CINAHL のガイダンスは、各システムに新しいサービスが加わり、また要望もあったため、バンダーから専門講師を招いて、対象も教職員・院生・学生と幅を広げて実施した。その他は情報リテラシー係職員が講師を務めた。
- ・ 前期の新入生を含む利用者へは、各館室で図書館ツアーを集中的に実施した。
- ・ 「情報の探し方ガイダンス」は、社会科学系と自然科学系に加え、今年度は希望のあった各館室（遠方のキャンパスも含む）でも実施した。加えて、情報リテラシー係主体で、教員からの依頼によるオーダーメイドガイダンスも実施した。
- ・ 実施会場の PC 端末エリア等で、Power Point を投影するためのスクリーンを用意し、マイクで説明することにより、PC 端末がない場合でも理解しやすいように工夫した。
- ・ また、ちらし・ポスターなどに情報リテラシー系のメールアドレスを組み込んだ QR コードを採用するなど、利用者が参加しやすいように工夫した。更に、ホームページの各データベースの項目を目的別に編集し、利用ガイドを作成するなどアクセシビリティの向上にも努めた。
- ・ 昨年 6 月から開始した「神大図書館 NEWS」の普及を更に促進すると共に、ガイダンスやトライアル、図書館行事等、様々なニュースを発信して広報に活用した。1 年間で No.21~54 の 34 回発信。

<図書館ホームページの維持・更新>

- ・ 月平均アクセスは約 64,900 件となっている（月別アクセス数は別添統計【p48】の通り）。
- ・ 図書館ホームページについては、訪問者が求める情報に効率的に導けるよう、恒常的に調整を図った。特に今年は英語版の HP の作成、充実を図り、利用案内等、サービスに関わるページの相当部分の英語版を公開できた。
- ・ 12 月に業務システムの更新があり、HP 及び業務システムにて提供しているサービスの形態に変更があった。現行システムにおけるサービスを違和感なく提供できるよう、HP のデザイン・レイアウトを一部変更すると共に、アナウンスを行った。
- ・ ガイダンスに際して作成した資料をホームページに順次アップした。また、各種情報のメンテナンス及び新着事項の掲載等を引き続き行った。

図書館トップページ月平均アクセス数



◆評価と課題

必修科目「情報基礎」は7年目に入り、滞りなく運営できた。「情報の探し方」等のガイダンスに積極的に参加する利用者はある程度限定されるので、新入生全員を対象とした必修授業において図書館が果たすべき教育支援への効果は大きい。

3年前より授業内容の「情報の活用：レポート・論文作成のための情報リソース活用法」と図書館サービス、各館室紹介とを合わせて説明の時間が1コマ90分に拡大されたことによって、新入生がより充実した内容の授業を受けることが可能となり、授業後のアンケートにもその成果が窺える。

理学部化学科では3年次必修授業において、オーダーメイドガイダンスを毎年行っているが、このように卒業までの履修・学習全体を通じた情報リテラシー教育支援のあるべき姿を考えることが必要であろう。

「情報の探し方」等のガイダンスと、専門講師を招いての講習会については、実施回数と参加者数に一定の増加を見た。教員や各館室からの希望も容れて、新たなガイダンス・講習会を複数実施したこと、また、昨年度に引き続き、キャリアセンターとの協力のもと、就職活動の支援として、企業関連の検索説明会を専門講師により開催したことによると思われる、

参加者もPCが使えるように、図書館の情報端末室を会場にして実施したり、場合によっては情報基盤センターや各部局の演習室などで実施したり工夫した。

熱心な受講者や教員からオーダーメイドガイダンスも認識されて急増しており、今後も継続していく意義があると考えられる。ただ、オーダーメイドガイダンスについては、申込から実施まで短期間であることから、依頼者の希望内容に沿った資料作成など準備の負担が大きいことが今後の課題である。

全学生数から見れば図書館主催のガイダンス参加者はまだ少なく、広報や時期的なこと等においてさらなる調査や改善が必要である。

図書館ホームページについては、業務システムの更新に合わせ、より便利に提供サービスを利用してもらえるよう、トップページのレイアウト・デザインを見直した。

英語版ページの充実を図り、サービスに関わるページの相当部分を公開できた。しかし韓国語版のトップページの内容の充実、また留学生の半数以上を占める中国留学生用の中国語版作成の検討等と、まだ課題は残っている。

(5) 設備・機器の整備

施設面の整備については、5(4)で記述することとし、本章では、学習環境改善のための設備・機器に絞った整備について記述する。

<設備更新による学習環境の整備>

- ・ 建物の改修工事はなく、特に学習支援に直接係わる事項として次のものがある。

総合・国際文化学図書館	入退館管理システム導入
社会科学系図書館	避難器具更新、本館外階段手摺設置(障がい学生の要望)、利用者用トイレ改修(本館1階・管理棟2階)、本館外壁タイル剥落部分補修、震災文庫・マイクロ資料室改修、本館2階大壁画修復、玄関前掲示板改修、利用案内設置、携帯電話ボックス設置、高速マイクロフィルムビューワ&スキャナー設置、震災文庫木金混合書架設置

自然科学系図書館	入退館管理システム導入、避難器具更新、空調設備修理
人文科学図書館	空調設備修理
人間科学図書館	入退館管理システム導入
医学分館	グループ学習室整備、空調設備修理
保健科学図書室	グループ学習室整備、空調設備更新
海事科学分館	入退館管理システム導入、開架閲覧室整備、書庫内蛍光灯改修

<自動貸出装置等>

※ 利用者のセルフサービスを支援する機器類の導入状況は次のとおりである。

自動貸出装置	研究所を除く各館室
BDS(無断持出防止装置)	研究所を除く各館室
24時間入退館管理システム	自然科学系図書館、医学分館
セルフ式コピー機(コイン式等)	研究所を除く各館室

<情報機器の更新>

- ・ 教育研究用計算機システム更新により、各図書館・室設置の利用者用端末(*1)が更新され、端末とプリンタの増台も行われた。
- ・ OPAC 等検索用端末(*2)の更新及び追加を行った。
- ・ 図書館ネットワークの構成および機器を更新した。
- ・ 利用者用 PC 等の設置台数は次の通りである。

	総・国	社会	自然	人文	人間	医学	保健	海事	研究所	合計
PC 台数	49	45	39	20	17	20	12	15	2	219
(*1)	(37)	(28)	(32)	(16)	(13)	(14)	(10)	(11)	(0)	(161)
一部サイト(*2)	(11)	(12)	(7)	(4)	(4)	(5)	(2)	(4)	(2)	(51)
スタンドアロン等	(1)	(5)	(0)	(0)	(0)	(1)	(0)	(0)	(0)	(7)
情報コンセント	80	21	12	10	9	30	4	12	0	178

* (*1) 161 台は情報基盤センター教育研究用計算機システムの教育用端末

* (*2)は、OPACに加えて限定された検索サイト(国会図書館等)がアクセス可能なもの

◆評価と課題

利用者用端末は、これまで電子図書館システムのリース品と前教育研究用計算機システムの教育用端末とが併用されていたが、教育研究用計算機システムの更新により、全て同システムの端末となり、同一の利用環境が実現された。また、利用頻度と設置場所を考慮し、端末とプリンタの増台も行われ、これらのことにより利便性を向上させることができた。また、図書館ネットワークの更新により、OPAC 等検索用端末および情報コンセントの接続環境が整備された。

なお、OPAC 等検索用端末の機器更新や新設等、各図書館・室の状況に応じて随時実施し、利用者用 PC 環境の整備と維持に努めている。

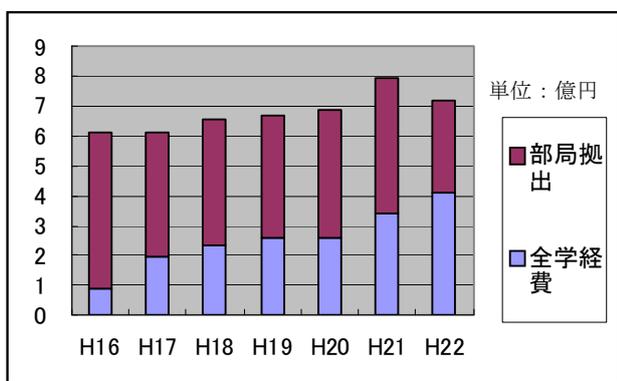
3. 学術研究支援

(1) 研究用資料の整備

各館室の蔵書数、受入図書冊数、資料費等は別添統計【p45】の通りである。

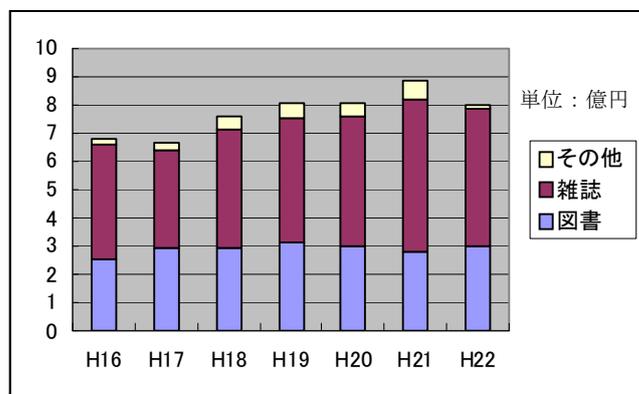
<資料受入状況>

(図1) <資料費経年推移>



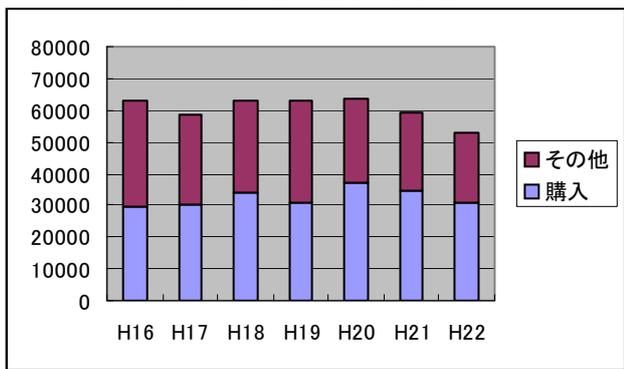
* 一般財源に限る

(図2) <資料費の用途別内訳推移>



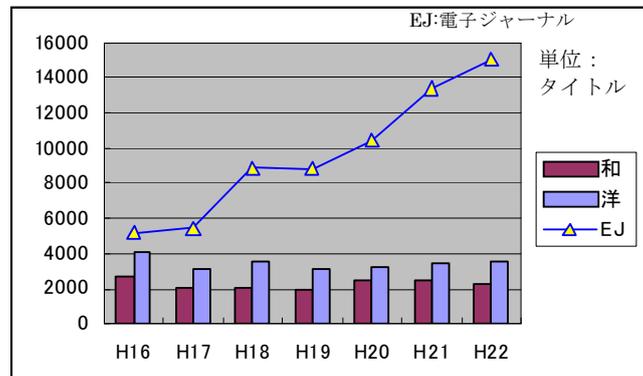
* 電子ジャーナル経費は雑誌として計上

(図3) <受入図書冊数経年推移>



* 「購入」は一般財源のみ

(図4) <購入雑誌数経年推移>



* 「購入」は一般財源のみ

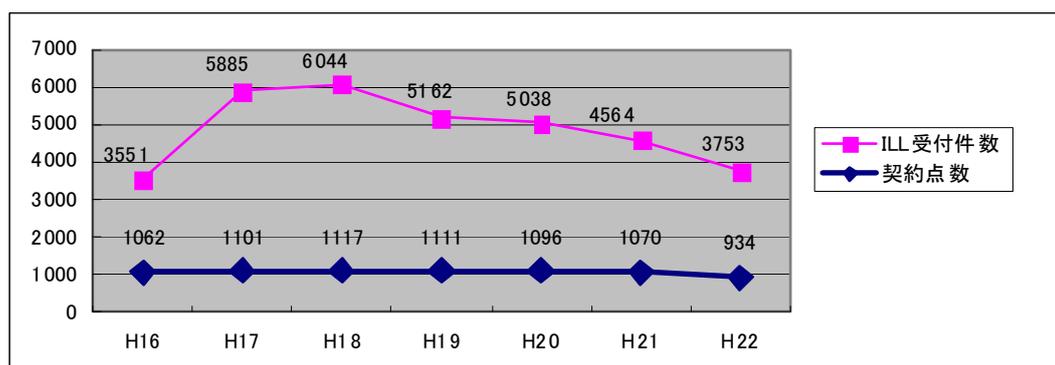
- 資料費（一般財源）は、総額では昨年に比べ減少しているが、全学経費分だけ見れば、「教育研究基盤資料整備費」等の臨時的経費の予算措置のおかげで、総額4億に達しており、平成16年度以降では最高の値となっている。（図1）
- 図書資料費は、昨年より若干ながら増加し3億に達した。雑誌資料費は電子ジャーナルバックファイル等（Web of Science, Nature Archive）の臨時的予算措置があったものの、若干の減少となっている。（図2）
- 受入図書冊数は、平成20年度から減少傾向にあり、平成22年度も学生用図書費予算の減額などが影響し約5万3千冊となっている。（図3）

- ・ 昨年と比べ、和雑誌・洋雑誌とも購入タイトル数に大きな変化は見られない、平成 19 年度に電子オンリー中心の包括利用契約に変更したため、冊子体の購入タイトル数の大幅な増加は見込めないであろうが、電子ジャーナル数は増加を続け、ついに平成 22 年度には、1 万 5 千タイトルを越え、学術雑誌情報リソースとして確固たる地位を築くものとなっている。(図 4)

<外国雑誌センター館>

- ・ 昭和 61 年度より「人文・社会科学系外国雑誌センター館」の指定を受け、国内での所蔵館が 3 館以内の外国雑誌を体系的に収集し、全国共同利用に供している（配架は社会科学系図書館）。分野別の外国雑誌センター館は全国で計 9 大学に設置され、人文・社会科学系は一橋大学と神戸大学の 2 大学に設置され、分担収集を行っている。
- ・ 外国雑誌センター館本来の趣旨に鑑み、国内所蔵希少雑誌として選定後、所蔵館が 4 館以上となった雑誌の中止と、新規雑誌の追加購入により、平成 22 年度予約点数は 934 誌となった。
- ・ ILL 複写サービスについては、平成 22 年度も引き続き一部作業の外部委託を実施し、年間を通じ安定したサービスを提供する体制を維持することが出来た。これにより、他大学等からの複写依頼を常時受け付け、遅くとも受付翌日には発送する外国雑誌センター館としてのサービス体制を継続している。

<契約点数と ILL 受付件数（社会科学系）の推移>



◆評価と課題

平成 22 年度も、電子ジャーナル及びデータベースの提供維持及び 20%の外国雑誌購読経費補填として、「教育研究基盤資料整備費」2 億 9 千百万円が措置され、全学的なインフラとしての資料整備を着実に進めることが出来た。

しかしながら、電子ジャーナルにおいては、平成 24 年度までは、電子オンリーの包括契約を中心とした契約を行う予定となっているが、平成 25 年度以降の維持・整備方策については、今後の本学ならびに学内外の情勢の変化に伴い、契約の一部変更の可能性もあり十分な検討が必要である。

大学全体の予算減少が図書館の予算にも影響を与え、学生用資料費が、昨年に比べて 350 万円の減少となり、平成 23 年度も更に 100 万円減額の予定となっている。新規の学生用の図書冊数の減少は、学部生の教育にも大きな影響を及ぼすものであり、他に優先してでも、学生用図書費の増額が望まれるものである。

(2) 電子的情報基盤の整備

<外国雑誌と電子ジャーナル>

有料で導入している主な電子ジャーナルは次の通りである。

	分野	導入年	誌数	範囲	備考
Elsevier 社 ScienceDirect	全分野	H14	2,500	1995～	コンソーシアム契約によるフリーダムコレクション 講読規模維持が条件
Elsevier 社 ScienceDirectBackFile	全分野	H21	2,000	(分野による)	
Springer 社 SpringerLINK	多分野	H14	1,817	1997～	発行のほぼ全タイトル 講読規模維持が条件
Wiley-Blackwell 社 WileyInterScience	多分野	H14	1,400	1997 前後～	発行のほぼ全タイトル 講読規模維持が条件
JSTOR	自然科学及び社会科学	H14	1228	創刊号～ (最近 3～5 年は対象外)	Arts & Sciences I (H14～ 118 誌) Arts & Sciences II (H17～ 127 誌) Arts & Sciences III (19.3～151 誌) Arts & Sciences IV (H18.3～ 112 誌) Arts & Sciences V (H23.1～ 120 誌) Arts & Sciences VI (H23.1～ 120 誌) Arts & Sciences VII (H21.4～ 180 誌) Arts & Sciences VIII (H23.1～ 140 誌) Life Sciences (H15～ 160 誌)
Nature 社	自然科学	H15	32	1987～	Nature 本誌以外は初号から
AAAS Science Online	自然科学	H15	1	過去 5 年	
IEEE CSLSP-e	情報通信	H15	27	1988～	会議録約 2800 冊(1995 以降)も利用可能
ACM Portal	情報通信	H15	47	ほぼ創刊号～	会議録等も利用可能
APS	物理系	H16	8	2001～	米国物理学会。 *H16 よりライセンス料要 (以前から利用可能)
Cell Press	生命科学	H16	8	1996～	ScienceDirect で利用
LWW via Ovid	医学臨床	H16	100	1996～	
ACS	化学系	H16	34	1996～	米国化学会
Oxford University Press	多分野	H17	200	創刊号～	発行のほぼ全タイトル 講読規模維持が条件
Cambridge University Press	多分野	H18	230	1999 前後～	発行のほぼ全タイトル 講読規模維持が条件

- その他、無料による提供や冊子体講読により利用できるもの等も加え、平成 22 年度当初の電子ジャーナル利用可能数は、15,023 タイトルとなった。

- ・ 総体としては非常によく利用されており、今や必須の教育研究基盤資料となっている。
- ・ 外国雑誌については、平成 19 年分から下記のように大幅な方針変更を行った。

附属図書館審議会答申「教育研究支援強化のための諸施策の具体化について I. 教育研究基盤資料の維持・整備方策（平成 18 年 3 月 9 日）」により、部局拠出経費を加味した全学経費を投入する方針が示され、世界レベルの研究水準を目指す本学の学術情報基盤として重要な電子ジャーナルを含む外国雑誌の維持・整備を図る方向性が定まった。

この答申を受け、2007 年から大手出版社の電子ジャーナルの導入については、従来の冊子体を維持する方法から、電子ジャーナルの利用に当たって冊子体を維持する必要がない電子オンリー中心の包括利用の契約方法に大幅に変更した。

具体的には次のようになった。

(1) 電子オンリー中心の包括利用契約への移行

大手 5 社（Elsevier 社、Wiley-Blackwell 社、Springer 社、Oxford 社、Cambridge 社）発行のものについては、各社発行電子ジャーナル全タイトルが利用できる電子オンリー中心の包括利用契約に移行し、その対象となる冊子体の購読はオプションとし、電子ジャーナルを維持するための購読維持の必要はなくなった。

なお、冊子体の購読を希望する場合は、購読額の 15%～25%程度の特典価格で購読できるが、これに関しては、20%の雑誌購読補填は行わない。

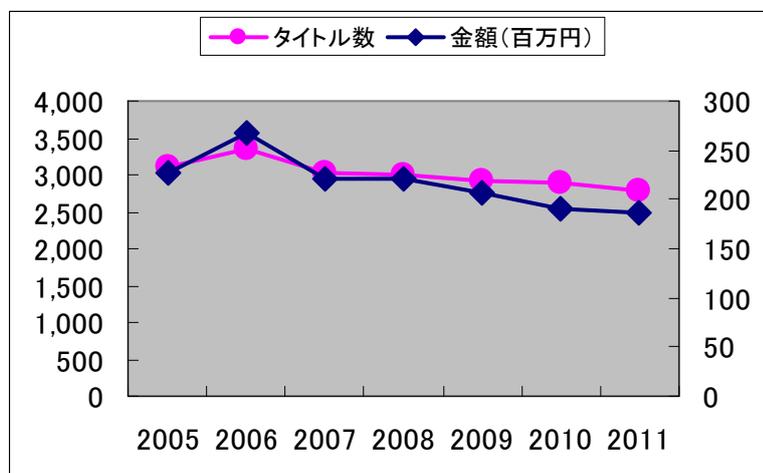
(2) 上記以外の外国雑誌購読に係る経費補填

冊子体を各図書館室に配置し、全学共同利用が可能なものについては、全学経費から、当該雑誌購読所要額の 20%を補填する。

- ・ 2010 年外国雑誌の契約は、点数・金額とも若干の減少となった。2011 年も契約点数は若干の減少、契約金額も円高が影響して減少している。

2010 年契約点数 2,839 点 → 2011 年 2,787 点 (1.8%減)
 2010 年契約金額 約 191 百万円 → 2011 年 約 187 百万円 (2.1%減)

<外国雑誌購読推移>



<データベースの整備>

主な導入データベースは次の通りである。

	分野等	導入	範囲	形態	備考
Web of Science SCIE	自然科学 (引用索引)	H15	1971～	Web	H15.11 から導入
Web of Science SSCI	社会科学 (引用索引)	H21	1999～	Web	H21.12 から導入
Web of Science AHCI	人文学 (引用索引)	H21	1999～	Web	H21.12 から導入
JCR Web	全分野	H17		Web	H17.4 から新規導入
MathSciNet	数学	H13	1940～	Web	
SciFinder Academic	化学	H16	1840～	Web	H16.11 から新規導入
Readers Guide to Periodical Literature	一般雑誌	H6	1983～	Web	H18.4 より ERL での提供から Web 版に変更 同時アクセス 1
Business Periodicals Index	経営学	H3	1982～	Web	同上 同時アクセス 1
EconLit	経済学	H3	1969～	Web	同上 同時アクセス 4
Index to Legal Periodicals & Books	法学	H3	1981～	Web	同上 同時アクセス 1
CiNii	多分野	H15	多種	Web	機関別定額制
聞蔵 II ビジュアル(朝日新聞)	新聞記事	H12	1945～	Web	同時アクセス 3
医学中央雑誌	医学	H5	1983～	Web	Web 版は H14 から 医学・保健にサービス
JapanKnowledge	全分野 (辞典等)	H17		Web	H17.6 から新規導入 同時アクセス 4
官報	官報記事	H18	1947.5～	Web	H18.4 から新規導入 同時アクセス 2
日経テレコン21	新聞記事等	H18	1975～	Web	H18.7 から新規導入 H19.7 より全学利用可
MAGAZINEPLUS	国内雑誌記事	H18	1945～	Web	H18.8 から新規導入 同時アクセス 3
J-DreamII	科学技術・医学・薬学	H19		Web	H19.6 から新規導入 同時アクセス 8
ヨミダス歴史館		H21	1874～	Web	H21.4 から新規導入 同時アクセス 2
毎日 News パック	新聞記事等	H21	1987～	Web	H21.4 から新規導入 同時アクセス 2
Marquis Who's Who on the Web.	人名録	H21	1985～	Web	H21.4 から新規導入 同時アクセス 1

- ・ 平成 15 年度途中に導入した引用索引データベース Web of Science SCIE（自然科学系）は、平成 18 年度までは間接経費、平成 19～22 年度は教育研究基盤資料整備費で契約を維持した。
- ・ 平成 16 年 11 月より、化学分野の基本データベースである SciFinder Scholar(現 SciFinder Academic)を導入した。導入にあたっては関係部局の研究者にアンケート調査を行ったうえ、受益者負担を求めることとした。経費の問題から、「同時アクセス数 2」の契約となっている。

- 平成 22 年度計画と経費
外部委託による中国語図書等の入力と、館員による研究室からの返納図書等の入力を合わせ、29,000 冊を目標とした。
電子図書館事業経費（500 万円） 14,000 冊
館員入力 15,000 冊
- 平成 22 年度入力実績 41,283 冊

電子図書館事業 (外部委託)	総合・国際文化学図書館	中国語図書	11,077 冊
	社会科学系図書館	マイクロフィルム	2,496 点
館員入力	各館室	研究室戻り等	15,110 冊
NII 共同 遡及事業* (外部委託)	総合・国際文化学図書館	中国語図書	8,000 冊
	社会科学系図書館	マイクロフィルム	4,600 点

* 国立情報学研究所 (NII) 総合目録データベース遡及入力事業
公募により全国の大学図書館等と共同で遡及入力を推進している。

◆評価と課題

学内経費による外部委託と館員入力及び国立情報学研究所(NII)の遡及入力事業に採択されたため、目標を上回る入力を達成できた。前年に続き NII に採択された社会科学系図書館所蔵「米国主要大学学位論文マイクロフィルムコレクション」は、図書資料の入力を優先していたため入力が遅れていたが、総数約 2 万点の内、平成 21 年度の 2,495 点と平成 22 年度の 7,096 点を合わせた約 9,600 点の入力を達成した。次年度以降も、継続して入力を進めていく予定である。

平成 20 年度から着手した中国語図書は、総合・国際文化学部図書館所蔵分約 19,000 冊を入力した。これで、社会科学系図書館、人文科学図書館の館室配置分と合わせて漢籍を除けば、概ね OPAC で検索できるようになった。

現在、全蔵書の約 78% が OPAC で検索できるようになっており、残る未入力冊数は約 79 万冊で全蔵書の約 22% にあたる。このうち館室配置図書については、和・洋古書、漢籍など入力に専門知識を必要とする資料がまだ多数残されているが、利用者へのサービス向上、蔵書の利用促進のためにも、出来るだけ早急に入力を完了する必要がある。

各館室の主な未入力資料群（平成 22 年度末現在）

総合・国際文化学図書館	露語図書、漢籍、和古書、研究室備付図書
社会科学系図書館	統計書、マイクロ資料、和洋古書、中央図書、研究室備付図書
自然科学系図書館	旧兵庫農科大学蔵書、研究室備付図書
人文科学図書館	漢籍、和古書、研究室備付図書
人間科学図書館	旧姫路師範・兵庫師範・明石分校等蔵書、研究室備付図書
医学分館	研究室備付図書
経済経営研究所図書館	アメリカ文庫、リエゾンセンター、研究室備付図書

(4) 資料の保存

<マイクロ資料の保存>

- ・ 社会科学系図書館所蔵のマイクロ資料を新マイクロ保管室へ移動した。旧マイクロ資料室（管理棟 3 階）は、空調設備の制約から室温調節がうまく機能せず、適正な保全環境が保てない状態になっており、一部のマイクロフィルムから劣化の始まりを示す酢酸臭が発生していた。その上、収納場所の制約から、劣化の始まったものと健全なものを混在させて保管せざるを得ず、健全なフィルムの劣化が助長されるという問題も抱えていた。今年度、震災文庫室（フロンティア館）を改修して新マイクロ保管室とし、資料の移動を行った。新マイクロ保管室は、部屋を 2 つに区切り、その 1 室に劣化が始まっているマイクロフィルム約 630 リールを隔離することができた。また室温管理も適切に行えるようになったため、懸案であった保管環境を大幅に改善することができた。同時に、コンパクトで高性能のマイクロリーダーを購入し、利用環境の向上も図った。

<貴重資料の保存>

- ・ デジタル化事業の一環として住田文庫の「廻船小船御運上帳」ほか 9 点を修復した。（デジタル公開済み）
- ・ 社会科学系図書館所蔵「日華新報」3 年分（1923-1925）および「日華実業」6 年分（1922-1927）を修復し、デジタル化した。（デジタル公開準備中）

<一般資料の廃棄>

- ・ 人文科学図書館、海事科学分館において、製本雑誌を中心に 3,419 冊の資料の廃棄を行なった。

◆評価と課題

マイクロ資料については、早急な解決が必要とされていた保管環境の改善および劣化資料の隔離をすることができた。これからは資料個々について、劣化状況、ベース材・保存容器等の調査を行い、更なる対策および予防に努めていかなければならない。

また、マイクロ資料だけでなく、紙資料についても酸性紙による劣化が進行しているものが多数あり、その保存対策について考えていかなければならないであろう。

資料収容力確保については、主に製本雑誌について、保管責任館以外の館室で重複資料の廃棄処理を継続しているところであるが、2 年が経過し、そろそろ反省や問題点の洗い出しを行うことも必要になっている。また、図書についても重複資料の処理を行う必要があるが、保管責任館を決定するためには、遡及入力の進捗状況をみながら判断しなければならないであろう。

(5) その他の研究支援サービス

<相互利用サービス>

区分		総・国	社会系	自然系	人文	人間	研究所	医学	保健	海事	合計	
複写	受付	H22/H21	1.34	0.82	0.79	0.84	0.72	1.13	1.02	1.31	1.04	0.91
		H21 年度	324	4,564	1,620	869	545	377	1,467	732	378	10,876
		H22 年度	433	3,753	1,284	731	391	426	1,500	959	393	9,870
	依頼	H22/H21	0.63	0.56	0.82	0.84	0.83	0.50	0.85	0.74	0.97	0.77
		H21 年度	908	945	1,059	1,000	1,375	54	1,626	1,446	156	8,569
		H22 年度	573	529	873	837	1,143	27	1,381	1,071	152	6,586
貸借	受付	H22/H21	0.94	0.89	0.86	1.13	0.78	0.84	1.00	0.82	1.08	0.94
		H21 年度	287	1,500	187	514	195	31	8	17	118	2,857
		H22 年度	269	1,341	161	580	153	26	8	14	127	2,679
	依頼	H22/H21	0.90	0.88	1.56	0.69	0.78	0.86	0.17	1.20	0.80	0.82
		H21 年度	305	301	94	767	251	14	12	10	5	1,759
		H22 年度	275	264	147	526	195	12	2	12	4	1,437

- ・ 館によって増減はあるが、全体として文献複写、現物貸借ともに前年度に比べて減少傾向が続いている。受付業務より依頼業務で減少が激しい。
- ・ 文献複写受付は、全体としては減少しているが、9館中5館で前年度より増加している。特に総合・国際文化学図書館と保健科学図書室では30%増加している。
- ・ 文献複写依頼は、全館室で減少しており、減少幅も大きい。電子ジャーナルのバックファイルの整備に努めたことなどにより、他大学に頼る必要が少なくなったためと考えられる。

◆評価と課題

電子リソースの普及を背景に、全体としては減少傾向が続いているが、研究活動を支える上でなくすることはできないサービスである。これからは、効率化や専門化など、質の高いサービスが求められることになるであろう。バックナンバーセンターへの資料集中などの将来を見据えた構想づくりや、専門性の高いきめ細かい研究支援ができる人材を育成していくことなどが求められるであろう。

4. 社会連携・情報発信

(1) 一般市民への資料提供サービス

<一般市民の図書館利用>

- 平成 17 年度から、総合・国際文化学図書館と海事科学分館において一般市民への貸出サービスを実施している。
- 平成 22 年度の利用登録者数は 95 名となり、平成 21 年度と比べて 2 倍以上になった。貸出冊数も 2 割以上増えており、特に総合・国際文化学図書館では大幅に増加した。

年間貸出冊数の比較 (冊)

	総合・国際	海事科学分館	合計
H21 年度	467	266	733
H22 年度	609	291	900

<展示会の開催>

- 資料展
 - 2010 年 10 月 22 日 (金)～2010 年 12 月 21 日 (火)
 - 『住田文庫』にみる開国と文明開化
 - 会場 神戸大学附属図書館
社会科学系図書館「2 階展示コーナー」
 - 時間 月～金曜日 8:45～21:30
土～日曜日 10:00～18:00
(祝日・第 1 日曜日を除く)
 - 展示内容：以下の 4 つのサブテーマに分けて、
関連資料やパネルを展示
 - 1) 横浜浮世絵の中の外国人
 - 2) 啓蒙と戯作
 - 3) 西洋料理の広まり
 - 4) 科学技術への関心と受容



- 巡回展
 - 2011 年 1 月 21 日 (金)～2011 年 2 月 10 日 (木)
 - 『住田文庫』にみる開国と文明開化 オープンアカデミー巡回展 (パネル展示)
 - 会場 神戸大学社会科学系アカデミア館「2 階オープンアカデミー」
 - 時間 月～金曜日 10:00～17:00 (土・日曜日休館)

- ・ 今年度は、当館を代表する貴重コレクションである社会科学系図書館所蔵「住田文庫」の資料の中から、「開国と文明開化」をテーマにした資料展を開催した。
住田文庫については、主に古地図や海事関係資料を中心にこれまでの展示会で紹介してきたが、その収集範囲は、海事海運分野に関連して、商業や外国関係、歴史、地理、教育など多岐に亘っている。今回はその中から、幕末・明治初期の外国人の姿や習俗を描いた浮世絵版画や、西洋事情を伝えた書物など、当時の西洋文明の受容の様子を物語る資料を紹介した。
- ・ 夜間や土・日の来場希望者にも配慮し、開館時間を、会場である社会科学系図書館の開館時間に合わせた。
- ・ 会場の「2階展示コーナー」は、雑誌閲覧室・開架図書室への連絡通路部分であるため、正確な来場者数をカウントすることはできないが、資料展開催期間中に社会科学系図書館に来館した利用者（計54,585名）の多くが、資料展を観覧したものと思われる。10月30日（土）の第5回神戸大学ホームカミングデイにおける見学者は105名であった。
- ・ アンケート回収数は51件（学内者19件、学外者32件）で、「よかった」という回答が大半を占めた。
- ・ 学内各部署、近畿地区各大学、及び近隣の公共図書館等へチラシ、ポスターを送付して広報した。
- ・ 図書館ホームページに展示品目録等を公開している。

＜公共図書館との協力＞

- ・ 前年度に引き続き、兵庫県大学図書館協議会で加盟館の図書館相互協力便覧や一般市民への公開状況を取りまとめ、同協議会ホームページ上で情報公開を行った。
- ・ 平成20年度から、兵庫県立図書館で公開されている兵庫県内図書館横断検索に参加し、県内公共図書館等との横断的な所蔵検索が可能となっている。

◆評価と課題

一般市民への資料の貸出サービスは、総合・国際文化学図書館では改修工事の影響、海事科学分館では書庫立ち入り制限の実施により一時大きく減少したが、その後回復傾向にあることがうかがえる。地域社会への地道で継続的な貢献活動として評価できるのではないだろうか。

資料展は、今年度初めての試みとして、図書館外での巡回展を開催した。開催時間が平日の10:00～17:00であったこと、さらにパネル展示のみという制約があったにもかかわらず、284名の来場者があり、新たな展開へつなぐことができた。

（2） 震災文庫

＜資料収集と一般公開＞

- ・ 引き続き、様々なチャネルから情報収集を行い、購入や寄贈依頼等の積極的な収集活動により関連資料の網羅的収集に努めた。1,834点（H21年度は1,429点）を収集し、資料所蔵総数は4万7千件を超えた。

	全点数 (タイトル数)	H22 新着		全点数 (タイトル数)	H22 新着
図書資料	6,900 (6,109)	259 (243)	地図資料	132 (126)	0 (0)
雑誌資料	12,614 (3,061)	160 (8)	動画資料	271 (228)	12 (12)
新聞・広報誌資料	15,700 (4,597)	1,172 (819)	音声資料	94 (74)	1 (1)
パンフレット資料	5,709 (5,660)	123 (123)	コンピュータ資料	86 (85)	1 (1)
一枚もの資料	6,091 (6,091)	105 (105)	www	7 (1)	0 (0)
写真資料	90 (88)	1 (1)	総合計	47,694 (26,120)	1,834 (1,313)

注) 雑誌等の各号を1冊ずつ数えた数が「点」(件)、同一タイトルを1と数えたのが「タイトル」。
写真資料はコレクション単位(概ね撮影者単位)を1としているため、点数が少ないが、
写真2万枚強のコレクションも含まれている。

<震災デジタルアーカイブ>

- 資料全体のタイトル等だけでなく、掲載されている記事情報等からも検索できるよう、詳細なメタデータを継続的に作成している。本年度は、約4,900件を入力し、その結果、メタデータベースのレコード総数は約25万9千件となった。
- 震災関係資料について、著作権許諾の得られた雑誌1タイトル(24号分)をデジタル化し公開した。(前年度は図書3冊、雑誌1タイトル)
- チラシ等一枚もの資料のうち著作権許諾の得られた19点(前年度18点)をデジタル化し公開した。
- 各機関から、防災資料作成等のための転載許可願いが、写真を中心に61件(前年度87件)あり、著作権者へ許諾確認を行い回答した。
- 平成21年1月より開始した人と防災未来センターと震災文庫の「震災資料横断検索」のデータ更新を継続し、また更新頻度を年4回とした。

◆評価と課題

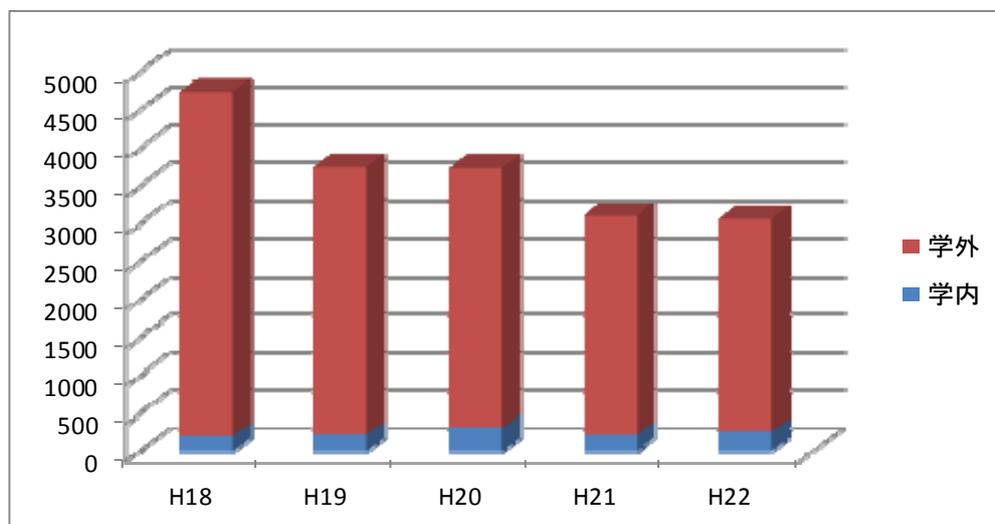
震災文庫が特色ある図書館事業として評価を得ていることは、震災デジタルアーカイブの転載に関する問い合わせが継続的にあることから分かる。

震災関係資料のより有効な活用を図るためには、関連機関との連携を強化し、一体として資料提供ができる仕組みを構築する必要がある。今年度は伊丹市立博物館の秋季企画展「阪神・淡路大震災15年伊丹からの発信」に資料の貸し出しを行った(10~11月)。3月には東日本大震災が起こり、直後から震災文庫の資料に関する問い合わせがたびたび寄せられている。また日本図書館協会による「被災者を支援する図書館活動についての協力依頼」を受け、「被災者支援のための復旧復興関連文献の送信提供サービス」を行った(平成23年4~5月)。

このような形で資料の直接提供や、所蔵資料に関する情報提供を行うことは、震災資料の収集成果の社会的還元という観点からも、重要であると考えている。

<震災文庫トップページ月平均アクセス数推移>

単位：件



(3) 電子図書館システムによる情報発信

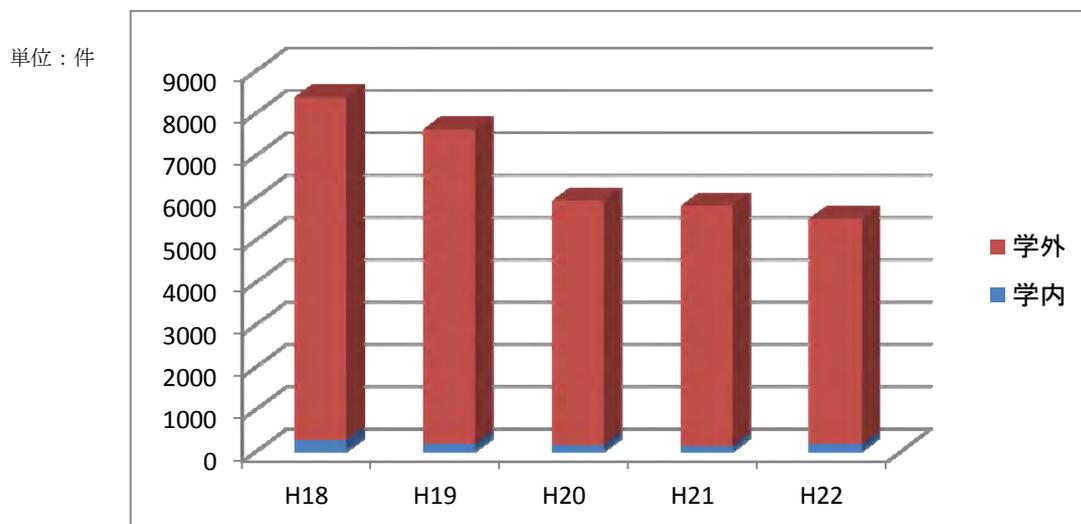
<「神戸大学電子図書館システム」によるデジタルアーカイブ構築>

- ・ 同システムは当初全国5大学に「先導的電子図書館プロジェクト」として予算措置されたもので、本学には平成10年度補正予算で措置され、平成11年から稼働している。法人化後は電子図書館事業費として学内経費化され、運営を続けている。
- ・ 「震災関係資料」、「経済関係資料」、「学内研究成果」を3本柱に事業を推進し、デジタル化した資料をWeb上で公開してきた。経費には上記の電子図書館事業費と、科学研究費補助金研究成果公開促進費（平成11～15年度 震災デジタルアーカイブに措置、平成16年度～ 戦前期新聞経済記事文庫に措置）を充ててきた。
- ・ コンテンツのうち震災関係資料については、前節で述べた。

<経済関係資料デジタル化1>

- ・ 新聞記事文庫（戦前期記事切抜）デジタル化については、昨年に続き科学研究費補助金研究成果公開促進費（「戦前期新聞経済記事文庫データベース」）を獲得した（配分額1,080万円）。「政治」分野約13,000記事を全文テキスト化した（累計約25万記事）。このデジタル化の完成を目指すため、科研費交付を申請している（平成23年4月内定）。

<新聞記事文庫トップページ月平均アクセス数推移>



<経済関係資料デジタル化2>

- ・ 住田文庫から「廻船小船御運上帳」ほか計 13 点をデジタル化し公開した。
- ・ 「日華新報」3 年分（1923-1925）「日華実業」6 年分（1922-1927）を電子化し、ウェブ公開に向けて準備中である。
- ・ 昨年度電子化した「青島実業協会月報」4 年分（1918-1921）を公開した。

<学内研究成果資料デジタル化>

- ・ 公開 5 年目を迎えた機関リポジトリは平成 22 年 5 月に学術雑誌論文の収集点数が 1,000 件を超えた。平成 22 年 3 月末現在 14,347 件（前年度末 12,682 件）の学術成果を一般公開している。詳細は次項に述べる。
- ・ 瀧澤栄治図書館長による『神戸大学附属図書館職員のためのラテン語入門 120 分』講義ビデオおよびテキストを電子化し、公開した。
- ・ キク科の染色体数データベース（渡邊邦秋名誉教授作成）のデータ更新を続けている。
- ・ 引き続き学内研究成果メタデータ（書誌情報）として、紀要類記事情報（751 件入力、累積 38,025 件）、博士学位論文情報（328 件入力、累積 8,591 件）の入力を進めた。博士学位の新規授与分について要旨の電子化公開を行った。また本文の公開のため著作権調査を行い、可能なものについて電子化公開を行った（今年度 69 件公開）。今後も継続して要旨、本文の電子化を行っていく。

◆評価と課題

新聞記事はその規模の大きさと希少性（戦前の記事切抜きはほとんど残っていない）から高い評価を得ており、主に外部からの利用が多数を占める（H22 年度トップページアクセス数 63,961 件のうち約 98%が学外からのアクセスである）。今年度も、科学研究費補助金研究成果公開促進費の獲得により計画どおりに電子化公開を進めることができた。

新聞記事文庫、震災文庫、学内研究成果を中心としたデジタルアーカイブ事業は、「これからの図書館のあり方を示唆するような先進的な活動を行っている」として、NPO 法人 知的資源イニシアティブによって Library of the Year 2010 優秀賞が授与された。

機関リポジトリについては次項に述べる。

(4) 機関リポジトリによる情報発信

<コンテンツ収集活動>

- 平成 18 年度に稼働を始めた神戸大学学術成果リポジトリ (Kernel) は、比較的順調に成長を続けている。平成 22 年度末現在のコンテンツ数は 14,000 件を超え、1 年間で約 1,600 件増加した。種別内訳は下表のとおりである。

一般雑誌記事	36	図書	15	会議発表論文	36
データベース	2	紀要論文	12,239	学術雑誌論文	1,171
研究報告書	37	博士学位論文	624	教材その他	8
合 計					14,347

- 学術雑誌論文については、Kernel と連携している神戸大学研究者情報データベース (KUID) から得られる業績情報や、Web of Science 等の文献情報データベース、研究者の個人ホームページ等から得た神戸大学研究者の論文情報をもとに登録の案内を継続して行った。その結果、学術雑誌論文の収集件数は 1,000 件を超えた。
- 神戸大学の博士号を持つ学内外の研究者を調査し、登録依頼を行った結果、収集件数 69 件であった (前年度 164 件)。また、博士学位論文公開を支援する目的で、論文要旨の電子化を継続した。
- コンテンツの効率的な収集を目的として、各分館の情報サービス担当職員を中心とする「リポジトリ WG」を設置した。

<広報活動>

- 学内教員への浸透を図るため、『Kernel 通信』の第 5 号および第 6 号を発行した。
- 5 月に学術雑誌論文の登録数が 1,000 件を超えたことを記念して、研究者にインタビューを行い Kernel ホームページに掲載した。これについて、神戸大学ホームページのニュース欄に関連記事を掲載し、またデジタルリポジトリ連合 (DRF) のメーリングリストでの告知を行った。他に学内研究者・研究グループの紹介を行う目的で 2 名の研究者にインタビューを行い、『Kernel 通信』に掲載した。

<CSI 事業>

- CSI 事業領域 3 において、筑波大学を主管とする「オープンアクセスとセルフ・アーカイビングに関する著作権マネジメント・プロジェクト」に引き続き参画し、学協会の著作権ポリシーについて調査を進めた。またこの活動の一環で、国立情報学研究所による平成 21 年度ポータル研修 (8 月、於：NII) に著作権処理実務研修の講師として、職員 1 名を派遣した。
- さらに CSI 事業領域 2 では、島根大学を主管とする「全国遺跡資料リポジトリ・プロジェクト」に参画し、兵庫県の遺跡資料公開に向けて関係機関と協議を進めた。今年度は神戸市教育委員会から刊行された、神戸市関連の遺跡調査報告書 65 点の公開を行った。

<その他>

- 国立国会図書館により、同館が所蔵する 1991~2000 年度の博士論文が電子化された。そのインターネット公開許諾の作業のため同館が調査を行ったが、連絡先の判明しなかった 462 件について調査依頼があり、うち本学で連絡先の判明した 114 件について回答を行った。これにより博士論文の電子版公開数の増加が期待される。

- ・ 兵庫県大学図書館協議会の平成 22 年度事業である「機関リポジトリ支援のための WG」の活動に参加し、支援方法の検討を行った。また平成 22 年度兵庫県大学図書館協議会研修会（12 月、於神戸女子大学）において、Kernel 運用についての事例報告を行い、また質疑応答コーナーの司会をつとめた。この研修会は、CSI 事業領域 3「近畿における機関リポジトリコミュニティ形成の支援」プロジェクトと共催で行われた。
- ・ DRF リポジトリ連合に引き続き加入し、総会および DRF 全国ワークショップ DRF7（11 月、於パシフィコ横浜）に職員 1 名が参加した。

◆評価と課題

コンテンツ数の増加に伴って、論文のダウンロード数も増加している。下のグラフはコンテンツ数と論文ダウンロード回数の推移を示している。平成 22 年 5 月には月間約 4 万件を超えた。

また『美学芸術学論集』のように、バックナンバーに遡って Kernel での公開を発行元から依頼された学内紀要もあり、ダウンロード件数の増加と併せて、学内外で Kernel の認知度が高まってきた結果といえよう。

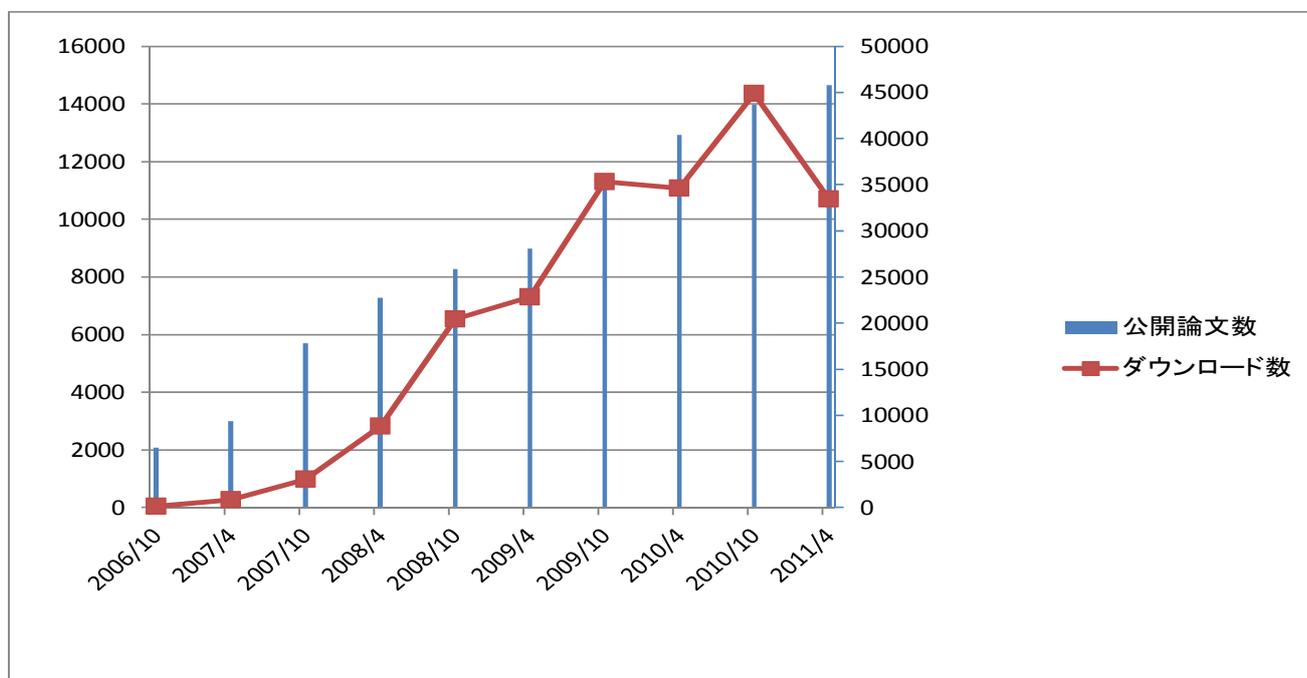
上述の「リポジトリ WG」は神戸大学の「第 2 回学長表彰特別賞」を受賞した。これは、学内的にもリポジトリの重要性が認識されてきた結果であるといえる。

今後も更に引き続き学内研究者の学術成果の収集と公開を安定的に行っていく必要がある。

<Kernel 収録論文数およびダウンロード数推移>

(公開論文数)

(ダウンロード数)



(5) 国際連携

<韓国海洋大学校図書館との協力推進>

- ・ 昨年度に続き韓国海洋大学校図書館との協定にもとづく職員交流を行った。本年度は職員2名を韓国海洋大学校へ派遣した。先ず11月15日・16日の2日間、韓国海洋大学校において、電子ジャーナルや学位論文の電子化等を中心とした図書館業務全般について説明を受けた。その後2日間にわたり、韓国海洋大学校司書の案内で、ソウル市の国立デジタル図書館・延世大学校（私立）、釜山市の釜山大学校（国立）、慶星大学校（私立）、釜山市立海雲台図書館を訪問した。館種や規模の異なる6つの図書館を訪問することにより、大韓民国の最新の図書館事情についての理解を深めることができた。

研修日程

月 日	内 容
11月15日	韓国海洋大学校(概要説明、館内見学)
11月16日	韓国海洋大学校(館内見学、業務説明)
11月17日	国立デジタル図書館、延世大学校 延世・三星学術情報館見学
11月18日	釜山大学校図書館、釜山市立海雲台図書館、慶星大学校図書館見学

【研修風景】



(於：国立デジタル図書館)

- ・ 12月28日に開催した附属図書館情報交換会において「韓国海洋大学校研修報告」を行い、参加した職員（58名）と情報の共有を図った。

◆評価と課題

平成21年度・平成22年度の2年間をかけて、相互に職員を派遣して研修を行ったことにより、相互理解の基礎を作ることができた。今後は、どのような形で交流、研修を継続していくかが課題になると思われる。一步踏み込んだ実際の業務研修や、互いに協力し合って何らかの事業を行うことになれば、より細かい部分でのコミュニケーションを円滑にするための工夫や努力が必要になるであろう。

(6) 大学文書史料室

<大学文書史料室の設置>

- 平成 22 年 4 月 1 日施行の神戸大学附属図書館規則(平成 21 年 11 月 24 日改正)第 9 条の 2 により、神戸大学唯一のアーカイブズとして、附属図書館に大学文書史料室が設置された。当室は、平成 22 年 3 月 31 日に廃止された神戸大学百年史編集室の施設、設備及び旧蔵歴史公文書等約 9,200 点を引き継ぎ、神戸大学百年記念館 1 階に事務室、閲覧室、作業室、書庫、展示ホールを有する。初代室長に附属図書館副館長の福長進(人文学研究科教授)、室員に野邑理栄子(専任講師)が就任した。

<「国立公文書館等」の指定>

- 平成 23 年 3 月 30 日付の内閣府告示第 13 号により、国立公文書館に類する機能を有する施設である「国立公文書館等」として内閣総理大臣の指定を受けた。

<文書等の受入れ>

- 平成 22 年度における文書等の受入れ状況は、神戸大学各部局等からの移管文書等 343 点(主に国維寮関係)、個人・団体からの寄贈文書等 118 点、計 461 点である。

<ホームページの開設>

- 大学文書史料室のホームページを開設し、平成 22 年 9 月 30 日に公開した。
<http://www.lib.kobe-u.ac.jp/www/modules/bunsho/>

<目録の作成及び公表>

- 公文書等の管理に関する法律第 15 条第 4 項の規定に基づき目録の作成を開始した。平成 22 年度における目録登録数は 6,569 件である。
- 目録をインターネット上で公表するために目録検索システム「神戸大学附属図書館大学文書史料室所蔵 神戸大学特定歴史公文書等データベース」を構築し、平成 23 年 3 月末より大学文書史料室ホームページ上で公表を開始した。

<利用>

- 平成 22 年度は当室の利用等要項が整うまでの暫定的措置として一般利用者の閲覧を制限し、本学職員の職務上の閲覧のみを可能とした。
- 一般利用者の利用に供するため、展示会の開催、「神戸大学史」講義の開催、本学の歴史に関する学内外からの照会等に積極的に対応した(次項以降参照)。

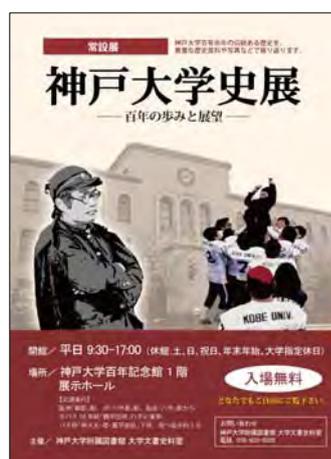
<展示会の開催>

- 収蔵物を広く学内外に紹介するため、常設展「神戸大学史展—百年の歩みと展望—」を常時開催(特別展の開催期間は除く)し、百有余年にわたる神戸大学の歴史に関する文書や実物資料、写真など 115 点を展示公開した。
- 終戦 65 周年を記念して「神戸大学と戦争(1937-1945)」をテーマに平成 22 年度特別展及び巡回展を開催した。戦時下の風雲急を告げる中、当時の学生たちがどのような青春を過ごしたのかを主な視点として、これまで未公開であった文書や実物資料、写真など約 150 点を展示公開した。なお、神戸及び東京の 2 ヲ所で開催した巡回展では、会場の都合上実物展示ができないため、主な

文書や実物資料は写真パネルとして展示した。

平成 22 年度における大学文書史料室主催の展示活動

展示の種類	展示テーマ	開催期間	場所	来場者数
常設展	神戸大学史展—百年の歩みと展望—	常時 (特別展開催時除く)	神戸大学百年記念館 1 階 展示ホール	990 名
特別展	神戸大学と戦争(1937-1945)	H22.10.25-H22.11.05	同上	534 名
巡回展(神戸)	神戸大学と戦争(1937-1945)パネル展	H22.11.16-H22.11.29	神戸大学アカデミア館 2 階 オープンアカデミー	526 名
巡回展(東京)	神戸大学と戦争(1937-1945)パネル展	H23.02.06-H23.02.09	神戸大学東京六甲クラブ	561 名



(常設展)



(特別展)



(特別展における来場者の様子)

<レファレンス>

- ・ 本学の歴史に関する学内外からの照会等 55 件に対して情報提供を行った。当該レファレンスの内訳は次の通りである。

平成 22 年度におけるレファレンス活動の内訳

対 象		件数	対 象		件数
神戸大学	教員	4	他大学	教員	5
	教員以外の職員	14		教員以外の職員	3
	卒業生	7	一 般	マスコミ関係	6
	関係諸団体(同窓会等)	10		その他(周辺住民等)	6

<その他>

- ・ 平成 22 年 6 月 16 日付で館長名により「法人文書の廃棄の一次保留について(依頼)」を各部局等の長及び文書管理者(17日付で文書管理担当者)に送付し、大学文書史料室への文書移管体制が整う当分の間、保有する非現用法人文書及び学内印刷物の廃棄を一時保留するよう依頼した。

- ・ 学部1・2年生を対象に教養原論「神戸大学史」の講義を実施した（平成15年度より実施）。
- ・ 平成22年度新任教職員研修において「神戸大学史」の講義を実施した（平成21年度より実施）。
- ・ 旧制神戸商業大学予科3回生昼食メンバー主催の「学徒兵の戦争体験を語る集い」（4月19日 於：神戸大学大阪凌霜クラブ）において、同予科3回生（昭和19年9月卒業）8名から、学徒出陣での戦争体験のヒアリングを行った。ヒアリングの概要は、本人の了解を得て、平成22年度特別展「神戸大学と戦争（1937-1945）」において展示パネル「学徒兵の戦争体験」として発表した。
- ・ 国立大学図書館協会近畿地区協会平成21～22年度助成事業セミナー（9月16日 於：大阪大学）において、職員が「大学図書館の新たな役割とその模索—文書館機能の付与について—」と題する事例発表を行った。
- ・ 六甲山を活用する会（灘区「地域力を高める」手づくりの活動・事業助成）主催の「昔の六甲を知ろう・ウォーキング 第1回 神戸大学・六甲台はじまりのころ」（9月30日 於：神戸大学）において、職員が学内の案内役を務めた。
- ・ 如水会（一橋大学同窓会）主催の「一橋史跡めぐり大阪・神戸ミニツアー」（12月10日 於：神戸大学）において、職員が「神戸大学における一橋人の活躍」と題して講演し、学内の案内役を務めた。
- ・ NPO法人アメニティ2000協会主催の歴史的建築物研究会（12月11日、於：神戸大学）において、職員が学内の案内役を務めた。
- ・ 本学附属図書館主催の附属図書館職員情報交換会（12月28日 於：神戸大学）において、職員が「神戸大学史」及び「公文書管理法と大学文書史料室の関わり」と題して2件の講演を行った。
- ・ 本学学務部発行『学生生活案内 平成22年度』及び本学企画部社会連携課発行『神戸大学概覧2010』掲載の本学沿革図2点を作成した。
- ・ 本学発行『KOBE university STYLE』Vol.13及びVol.14掲載の「神戸大学ロゴマークの由来」及び「神戸大学のキャンパス〈その1〉六甲台地区」と題する2文を執筆した。
- ・ 本学ホームページ掲載の本学沿革年表、沿革略図及び沿革概説の記述の更新を担当した。

◆評価と課題

平成22年度は暫定的に一般利用者の閲覧を制限したが、展示会の開催、講義及び講演等の実施、レファレンス、本学広報への積極的な協力によって、本学の社会貢献に寄与することが可能となった。また、アーカイブズ機能の整備に努めた結果、「国立公文書館等」としての指定を受けることができた。

今後は、定期的かつ恒常的な移管文書の受入れ体制を整え、利用者への情報提供の円滑化を図らなければならない。さらに、平成23年度末までに、旧百年史編集室所蔵歴史公文書等の整理及び目録作成を終了する必要がある。

5. 管理運営等

(1) 図書館組織と運営

<管理運営全般>

平成 21 年 4 月より部局長経験者である瀧澤栄治館長（法学研究科教授）がその任に当たっている。3 名の副館長の役割分担も以下のとおり平成 21 年度からの継続に加え、平成 22 年 4 月附属図書館大学文書史料室設置に伴い、福長 進副館長が室長の任にあたっている。

滝川好夫副館長（経済学研究科教授）	社会科学系図書館担当	広報担当
樋口保成副館長（理学研究科教授）	自然科学系図書館担当	国際交流担当
福長 進副館長（人文学研究科教授）	評価担当	

<館内諸会議>

*開催日時、議事内容等は、巻末添付資料に掲載

① 附属図書館運営委員会

- ・ 平成 22 年度は 4 回開催した。

② 附属図書館長・副館長・分館長懇談会

- ・ 平成 22 年度は 4 回開催した。

③ 附属図書館評価委員会

- ・ 平成 22 年度はメール回議を含め 7 回開催した。

④ 附属図書館研究開発室会議

- ・ 平成 22 年度はメール回議を含め 2 回開催した。

⑤ 大学文書史料室運営会議

- ・ 平成 22 年度はメール回議を含め 6 回開催した。

⑥ 全学図書系係長会議

- ・ 平成 22 年度は 3 回開催した。附属図書館事務部の部課長、補佐、係長及び経済経営研究所図書係長がメンバーで、全学図書館業務に係る実務的な会議である。

<「大学文書資料室」の設置及び「国立公文書館等」の指定>

大学文書史料室が、平成 22 年 4 月 1 日に附属図書館に設置され、平成 23 年 3 月 30 日付けで、「国立公文書館等」（＝国立公文書館に類する機能を有する施設）として内閣総理大臣の指定を受けた（平成 23 年内閣府告示第 13 号）。

<予算管理の一元化>

会計処理の効率化を図るため、平成 22 年 4 月から図書の会計処理を新財務会計システムで実施し、予算管理の一元化等を実施した。

＜図書館システムの統合＞

平成 23 年 1 月に、図書館業務システムと電子図書館システムの契約を一本化し、図書館システムとしてリプレースを実施し、OPAC の機能強化を行い、所蔵検索における全文検索、電子ジャーナル・電子ブックの検索機能に加え、学内研究成果論文等の 4 種類の検索が可能となった。

この契約の一本化により、効率的な保守運用が可能となり、また、今後のシステム更新の際の契約業務の軽減、および、統合的なシステム構築が見込まれる。

◆評価と課題

大学文書史料室は、神戸大学の役員又は職員が職務上作成・取得した法人文書のうち歴史資料として重要な文書として移管されたもの、法人その他の団体又は個人から寄贈・寄託されたもの、その他神戸大学の歴史に係る資料を保存するとともに、一般の利用に供することを目的として、平成 22 年 4 月 1 日に設置され、組織的に図書館に附属することとなった。その後、設備・体制の整備を進め、内閣府の審査および実地調査を経て、平成 23 年 3 月 30 日付けで、「国立公文書館等」（＝国立公文書館に類する機能を有する施設）として内閣総理大臣の指定を受けることが出来た。

また、初の政令指定を受けた国立大学法人 6 校（東北大学、名古屋大学、京都大学、神戸大学、広島大学、九州大学）の文書館等の中で唯一図書館に附属しており、後継諸機関のモデルケースとして高い評価を受けている。

（2）事務組織と人事管理

＜図書館事務組織＞

- 平成 22 年 5 月現在、附属図書館事務部は 2 課 18 係、定員 48 名、非常勤職員 39 名の 87 名となっている。また経済経営研究所図書係は、定員 3 名、非常勤職員 1 名を配置しており、平成 22 年 4 月に設置した大学文書史料室は定員 1 名、非常勤職員 1 名で開始した。
- 平成 22 年 4 月より定員 1 名が再雇用職員となり、非常勤職員 40 時間枠を使用している。その為定員数は 1 名減となり、自然科学系情報サービス係長と自然科学系情報管理係長を併任とした。非常勤職員数は再雇用職員を加え 1 名増となっている。
- 平成 22 年 5 月現在、職員の配置状況は、以下のとおりである。

地区	館室	配置係数等	定員職員	非常勤職員	計
六甲地区	総合・国際文化学図書館	サービス課長 2 係	5	5	10
	社会科学系図書館	部長 管理課長・補佐 7 係	21	19	40
	自然科学系図書館	管理課補佐 3 係	7	5	12
	人文科学図書館	1 係	3	2	5
	人間科学図書館	1 係	3	1	4
楠地区	医学分館	サービス課補佐 2 係	5	3	8
名谷地区	保健科学図書室	1 係	1	2	3
深江地区	海事科学分館	サービス課補佐 1 係	3	2	5
		計	48	39	87

六甲地区	経済経営研究所図書館	1 係	3	1	4
	大学文書史料室		1	1	2

- ・ 現在のところ、社会科学系図書館が事実上の中央館として機能しており、企画係・管理係が全館の総務機能を、図書受入係・雑誌情報係・目録情報係は、当該業務に係る全館調整機能と社会科学系図書館及び総合・国際文化学図書館の整理業務を担当している。
- ・ 情報管理課の電子図書館係（社会科学系図書館配置）、同情報システム係（自然科学系図書館配置）及び情報サービス課の情報リテラシー係（総合・国際文化学図書館配置）は、当該業務の全館調整機能を果たしている。
- ・ 情報管理係は、自然科学系図書館及び医学分館に配置し、各館の総務機能と整理部門を担当し、各館室に配置する情報サービス係は、主に各館室のサービス業務を担当している。

<職員の採用と育成>

- ・ 近畿地区国立大学法人等職員採用試験図書系専門試験受験者の中から平成 22 年度に職員 2 名（平成 22 年 4 月採用 1 名、平成 23 年 1 月採用 1 名）を新規採用した。
- ・ 新規採用者は、「神戸大学新任職員研修」及び「兵庫県下教育機関事務系職員（新規採用者）研修」を受講した。
- ・ 図書館では、事務系職員の「職員調書」とは別に図書系職員の「意向調書」を実施している。平成 22 年度も職員のキャリア形成に係わる目標や希望に加えて、業務内容やスキルの分析、業務目標の達成度評価等を盛り込み、よりの確な聴取に努め、その結果研修計画等に反映した。
- ・ 国立情報学研究所の主催する各種研修、大学図書館職員長期研修、主題専門知識の研修等に職員を派遣し、スキルアップに努めた。今年度参加の主な研修は次のとおりである。

区分	研修名	主催	日程	参加者
若手職員向けの基礎研修	大学図書館近畿イニシアティブ基礎研修「初任者研修」	大学図書館近畿イニシアティブ	6/24-25	係員 2
	図書館等職員著作権実務講習会	文化庁	9/28-30	係員 3
	大学図書館職員短期研修	国立情報学研究所	10/5-8	係員 1
中堅職員向けの研修	大学図書館職員長期研修	筑波大学	7/5-16	係長 1
個別業務の専門的知識のための研修	館長による「図書館職員のためのやさしいラテン語教室」(3回開催)	神戸大学附属図書館	6/2,9,30	職員 15
	学術ポータル担当者研修	国立情報学研究所	7/28-30	係員 1
	第一種衛生管理者試験受験準備講習会	神戸大学	8/4-6	課長 1 係長 2
	古文書合宿	人文学研究科	9/3,6-8	係員 2
	目録システム講習会【図書コース】	国立情報学研究所、神戸大学	9/8-10	係員 1 非常勤 2
	ILLシステム講習会	国立情報学研究所	9/27	係員 1
	学術情報リテラシー教育担当者研修	国立情報学研究所	10/20-22	係員 1
	目録システム講習会【雑誌コース】	国立情報学研究所	10/27-29	係員 1
	NAIST 電子図書館学講座	奈良先端科学技術大学院大学	10/28-29	係員 1
	西洋社会科学古典資料講習会	一橋大学社会科学古典資料センター	11/9-12	係員 1
	学会会計事務研修	神戸大学	11-17-18	係員 1
	障害者サービス担当職員向け講座	国立国会図書館関西館	12/7-9	係員 1
	NACSIS-CAT/ILL ワークショップ	国立情報学研究所	12/8-10	係員 1
	特別研修～戦略的特許文献検索～ レファレンス研修	富士通エフ・オー・エム 国立国会図書館関西館	1/24-25 3/3-4	係長 1 係員 1

1 日以内の講演会・研修会等	<ul style="list-style-type: none"> ・関西活性化シンポジウム『京都大・大阪大・神戸大 3 大学トップおおいに語る』 ・アプリケーションソフトウェア研修 ・SPARC Japan セミナー2010 ・裏打ちワークショップ ・公開講演会『電子図書館の可能性』 ・パソコン管理運用担当者セキュリティ研修 ・近畿機関リポジトリ連続研修会 ・うつ・自殺予防の相談対応スキル向上研修会 ・セミナー「変容する大学図書館」 ・救急講習会 ・国立大学図書館協会シンポジウム 大学図書館職員の「強み」と「弱み」 ・研究会「図書館空間をつくる」 ・シンポジウム「大学からの研究成果オープンアクセス化方針を考える」 ・東京女子大学「マイライフ・マイライブラリー」公開実績報告会 ・部局輸出管理担当者実務研修会 ・指定建築物の廃棄物管理責任者研修 ・メンタルヘルス研修会 ・講演会「電子出版の現況」 ・英国図書館の書庫管理と保存環境 ・研修会「図書館員のための漢籍の第一歩」 	兵庫県大学図書館協議会、国立大学図書館協会、兵庫県図書館協会、京都大学、大阪大学、神戸大学ほか（主に近畿地区で開催されるもの）	各半日～1日	管理職を含め延べ40
----------------	---	---	--------	------------

- ・ 大学文書史料室設置に伴い、公文書管理等についての専門性向上・知識習得を目的とした学外研修等に室員を派遣した。また「国立公文書館に類する施設」の指定準備に必要な説明会等に参加した。主な研修は次のとおりである。

区分	研修名	主催	日程	参加者
専門性向上・知識習得等の学外研修・説明会等	公文書保存管理講習会	国立公文書館	7/6-8	室員 1
	公文書等の管理に関する法律の施行に伴う説明会	文部科学省	10/19	室員 1
	国立公文書館つくば分館研修・見学会	国立公文書館	11/26	室員 1
	近畿地区行政管理・評価セミナー	総務省近畿管区行政評価局	12/10	室員 1
	公文書館実務担当者研究会議	国立公文書館	1/25-27	室員 1
	公文書管理法制セミナー	行政管理研究センター	2/21	室員 1

- ・ 韓国海洋大学校図書館との協定にもとづき、国際交流となる海外研修に職員を派遣した。

区分	研修名	主催	日程	参加者
国際交流・海外研修	韓国海洋大学校交流研修	神戸大学附属図書館	11/15-19	補佐 1 係員 1

◆評価と課題

学外の各種図書館関連研修、情報関連研修、専門主題に関わる研修に職員を派遣した。また、学内の救急講習会や人文学研究科の古文書研修を職員に受講させた。その研修成果は、報告書提出の義務付けにより他の職員の能力開発に役立てている。特に平成 22 年度は附属図書館長を講師として、「図書館職員のためのやさしいラテン語教室」を計 3 回開催し、講義内容は附属図書館デジタルアーカイブにおいて公開している。

また、平成 22 年度は国立公文書館が開催する研修等に室員を派遣したが、平成 23 年度からは国立公文書館実施の研修内容が変更となりアーカイブズ研修の受講が必要とされている。

<業務の改善と効率化・合理化>

① 業務の標準化・合理化

- ・ 予算管理の一元化等、会計処理の効率化を図るため、平成 22 年 4 月から図書の会計処理を新財務会計システムに移行して実施している。
- ・ 平成 23 年 1 月に、図書館業務システムと電子図書館システムの契約を一本化したことにより、効率的な保守運用が可能となった。今後はシステム更新の際の契約業務の軽減、および統合的なシステム構築が見込まれる。
- ・ 各館室に共通する業務や課題については、係横断的なワーキンググループを組織し、業務の合理化・質的向上を図った。特に「学術成果リポジトリ推進ワーキンググループ」が、学長表彰式にて【特別賞】を受賞した。

② アウトソーシング

定員削減等に対応し、業務の軽減方策として、図書館業務に関しては、雑誌製本業務、目録登録業務（以上は平成 19 年度から既定経費化）、目録遡及入力業務、社会科学系図書館及び医学分館の時間外開館業務、文献複写業務、電子化コンテンツの作成を平成 21 年度に引き続き外部委託している。

③ 業務改善の検討

- ・ 「神戸大学業務改善プロジェクト報告書」（平成 18 年 7 月）を受け、図書館において業務改善により削減可能な時間数は最終的に 8,373 時間（定員内 5,613 時間、非常勤 2,760 時間）となった。これにより、平成 18 年度末定員 1 名、平成 19 年度末定員 1 名、非常勤 1 名、平成 21 年度末定員 1 名の削減計画を立て、平成 21 年度末までに合計定員 3 名、非常勤 1 名の削減を実施した。
- ・ 図書館の業務改善策のうち、複写経費一元化、文献複写経費一元化、図書予算配分方法の見直し及び外部資金で購入する図書の購入方法の見直しについては、関係部署と協議の上、大学全体の業務改善にはならない等のため、対応策は実施困難であることが了承されている。
- ・ 業務改善プロジェクトの業務削減対応策による「選書データベースを活用した書店発注システム」が平成 20 年 12 月に稼動し、平成 22 年 4 月稼動の新財務会計システムにこの機能を引き継いだ。さらに、予算管理の一元化等、会計処理の効率化を図るため、平成 22 年 4 月から図書の会計処理を新財務会計システムで実施したため、検討課題であった下記(1)～(3)について業務削減となった。
 - (1)図書購入方法の見直し
 - (2)図書予算の大括り化
 - (3)予算確認・調整業務の廃止
- ・ 引き続き検討しなければならない図書館の業務改善策は下記であるが、全学の運用保守管理体制の一部であり、図書館単独での実施は困難とし、ICT 戦略での全学的な検討が必要である。
 - (1)情報システム運用管理・保守管理業務のアウトソース(図書館システム) (削減効果 800 時間)

(3) 予算及び財務会計業務

<平成 22 年度附属図書館予算・決算>

① 経常運営費

- ・ 平成 22 年度当初予算 177,303 千円 決算額 181,612 千円であった。
- ・ 平成 21 年度の当初予算 181,303 千円、決算 186,358 千円に比較して、当初予算、決算額とも減額となった。(当初予算額 H21 予算比 4,000 千円 2.2%減、H21 決算比 4,746 千円 2.5%減)

② 経常事業費

- ・ 平成 22 年度当初予算 230,660 千円 決算額 233,993 千円であった。
- ・ 平成 21 年度の当初予算 236,778 千円、決算 230,297 千円に比較して、当初予算は、減額となったが、決算額は少し増額となっている。(当初予算額 H21 予算比 6,118 千円 2.6%減、H21 決算比 3,696 千円 1.6%増)
- ・ 平成 22 年度の学生用資料費予算は、H21 予算 64,500 千円から H22 予算 61,000 千円に減額された。

③ 臨時的経費

- ・ 教育研究基盤資料整備費により、外国雑誌を含む電子ジャーナル、データベースの維持及び整備を実施した。(2.91 億円【全学経費 1.5 億円+間接経費(全学共通分) 1.41 億円])
- ・ 教育研究充実設備費により、入退館管理システムが 4 館で導入された。(総合・国際文化学図書館、自然科学系図書館、人間科学図書館、海事科学分館)
- ・ 教育研究設備維持運営費により、社会科学系図書館本館の壁画「青春」の保存修復処置を実施した。
- ・ 昨年度に続き、教育研究活性化支援経費により、電子ジャーナル及びデータベースのバックアップの充実を図った。
- ・ ビジョン推進経費により、大学文書史料室の管理運営を図った。

④ その他の経費

- ・ 電子図書館事業に関連して新聞記事文庫コンテンツ作成のため、科学研究費補助金 10,800 千円を獲得した。
- ・ 図書目録遡及入力力の推進として、国立情報学研究所の平成 22 年度次世代学術コンテンツ基盤共同構築事業 総合目録データベース遡及入力事業に応募の結果、採択され「米国主要大学学位論文マイクロフィルムコレクション」4,600 点及び中国語図書 8,000 冊を入力した。

○ 平成 22 年度附属図書館予算及び決算を巻末に添付する。

◆評価と課題

図書館全体の予算配分が前年より 5,000 千円減額となったことに加えて、平成 22 年度からは、部局長裁量経費の配分が見込めないことから、新たに、館長裁量経費として 13,115 千円を経常運営費や経常事業費より図書館施設の整備費として捻出したため、図書館資料費や製本費等の他の経費を減額せざるを得なくなっている。今後も予算が減少していくことが予想されるため、図書館として研究者支援や利用者サービス等を低下させることなく、どのように運営していくかが、今後の課題となる。

大学文書史料室の管理運営経費は、平成 22 年度途中にビジョン推進経費が配分されたが、平成 23 年度は、当初予算配分されることとなっている。

<図書資産の管理>

図書資産の点検

平成 22 年度は下記の図書館の蔵書点検を実施した。

(作業館) 社会科学系図書館、人間科学図書館、医学分館、海事科学分館で、合わせて 306,983 冊。

なお、平成 22 年度も、不用資料の処分を実施した。(3,419 点、資産価格 12,267,240 円)

◆評価と課題

本学図書資産の点検は、資産の効率的運用を図るために中期計画期間と同じ 6 年周期で一巡するという計画を立て、第 1 期中期計画期間(平成 16・21 年度)において目標を達成することが出来た。

今年度が第 2 期中期計画(平成 22・27 年度) 6 年計画の初年度であり、社会科学系図書館、人間科学図書館、医学分館、海事科学分館において約 30 万冊以上の図書資産点検を実施した。

また、初めて外部委託による点検を実施し(社会、医学、海事)、図書館を閉館することなく点検作業を進めることが出来た。少しでも開館時間が多くなることで、利用者サービスの向上につながるものと考えられる。

今年度も、教育研究活動に応じた効率的なスペース配分を図るため、人文科学図書館及び海事科学分館で重複資料の廃棄処理が進められた。

(4) 施設整備・システム整備

<図書館施設の現況>

- 平成 22 年度の図書館施設整備状況について、全 9 館室の概況をまとめた。各館室別のデータは、巻末基本統計のとおりである。

	H21 年度末	H22 年度末	分析指標
施設総面積	26,027 m ²	26,027 m ²	学生あたり面積 1.51 m ² → 1.51 m ²
図書収容力	3,026,500 冊	3,054,500 冊	蔵書数に対する収容可能率 84.0% → 83.6%
閲覧座席数	1,753 席	1,785 席	学生数に対する座席率 10.2% → 10.4%

【参考：Aクラスの国立大学(8学部以上の18大学)の平均値 平成21年度学術情報基盤実態調査結果報告より】

施設総面積	27,764 m ²	学生あたり面積	1.70 m ²
書架収容力	2,822,395 冊	蔵書数に対して	93.3%の収容力
閲覧座席数	1,836 席	学生数に対して	11.3%の座席率

<各館室の施設整備>

- 平成 22 年度に整備した主な事項は、以下のとおりである。
 - 総合・国際文化学図書館：入退館管理システム導入
 - 社会科学系図書館：本館 2 階大壁画修復、利用者用トイレ改修(本館 1 階・管理棟 2 階)
震災文庫・マイクロ資料室改修
 - 自然科学系図書館：入退館管理システム導入

人間科学図書館	: 入退館管理システム導入
医学分館	: グループ学習室整備
保健科学図書室	: グループ学習室整備、空調機更新
海事科学分館	: 入退館管理システム導入、開架閲覧室整備、書庫内蛍光灯改修

<安全点検>

- ・ 労働安全衛生法に基づく衛生管理者を置き、毎週点検を実施した。
- ・ 平成 22 年度の労働安全衛生に関連する改善事項を記す。

総合・国際文化学図書館	什器類の固定化による転倒防止 書庫内誘導灯取替 空調機フィルター清掃
社会科学系図書館	避難器具更新 本館外階段手摺設置 利用者用トイレ改修 トイレの段差喚起のため、タイガーテープの貼付 本館外壁タイル剥落部分補修 什器類の固定化による転倒防止 利用案内設置及びサイン設置 管理棟2階女子トイレ防犯ブザー設置 空調機フィルター清掃 防犯カメラ装置設置 防犯カメラ表示サイン設置 電気錠設置
人文科学図書館	空調設備修理
自然科学系図書館	避難器具更新 空調設備修理 正面入口外壁補修工事
人間科学図書館	空調設備修理
医学分館	空調設備修理
保健科学図書室	屋上配水管取替工事 空調設備更新
海事科学分館	書庫内蛍光灯取替工事 書庫内床下改修工事

◆評価と課題

社会科学系図書館の利用者用トイレを改修し、利用者へのアメニティが向上した。改修内容は、本館 1 階トイレを男性用、管理棟 2 階トイレを女性用とした。本館トイレ改修に併せて本館 1 階正面出入口の扉塗装及び公用掲示版の改修を実施した。設備導入では、入退館管理システムを 4 館に導入した。さらに平成 23 年度においても、3 館で要求している。安全管理の関係では、老朽化による垂直式救助袋（社会科学系図書館）・避難ハッチ（自然科学系図書館）の更新を実施したことにより、安全安心のための設備改善ができた。

しかし、社会科学系図書館では、書庫(A 棟・B 棟)及び管理棟エレベーターは平成 21 年度に改修しているが、書庫 (C 棟) のエレベーターは老朽化が激しく、使用に苦慮している状態である。また自然科学系図書館の空調設備更新等は喫緊の課題である。

また、社会科学系図書館本館の壁画「青春」及び油彩画 4 点（中山正實画伯作）の傷みが進行しており、これら神戸大学が誇る文化遺産を将来に継承するため、平成 23 年 1 月から全面修復及び保存処理作業を開始し、壁画については修復が完了した。油彩画 4 点は平成 23 年 7 月に修復完了の予定である。

<システム整備>

- ・ 平成 22 年 4 月から財務会計システムによる図書支払処理および検収データの図書館システムへの自動連携を開始した。
- ・ 平成 23 年 1 月に図書館システムの更新を実施した。これは、図書館業務管理機能、デジタルアーカイブ機能、統合情報提供機能、業務用端末およびネットワークシステム等を含み、大学シングルサインオンシステムとの連携も実現した。また、前システムから引き続き、統合ユーザ管理システムおよび財務会計システムとの連携も行っている。

◆ 評価と課題

財務会計システムとの連携により、予算確認業務の軽減およびリアルタイム化が実現できた。また、図書館システムの更新により、業務における各機能の操作性の向上、OPAC の機能向上、MyLibrary による利用者向けサービスの充実、業務用 PC 等の機器およびネットワーク機器の稼動安定性の確保、運用の合理化等を実現することができた。

平成 23 年度は、上記システムの安定稼動維持のうえ、情報管理および情報セキュリティ管理の徹底を図る

(5) 図書館界での諸活動

<国立大学図書館協会>

- ・ 総会において、監事館に選出され、協会活動の監査業務を行うとともに、理事会に出席した。
- ・ 「人材委員会人材育成事業グループ」の委員を務めた（情報管理課長）。

<兵庫県大学図書館協議会>

- ・ 平成 21 年度に引き続き、会長館、事務局として協議会の運営にあたった。加えて研修事業においては、研修担当館として、研究会の企画・運営にあたった。
- ・ 研究会「図書館空間をつくる：利用者を引きつける空間づくり」
- ・ 研究会「兵庫県大学図書館協議会研究会・第 4 回近畿機関リポジトリ連続研修会」
- ・ 研究会「図書館空間をつくる：利用者を引きつける空間づくり」【アンコール開催】
- ・ 平成 22 年度も海外研修事業を継続し、海外研修者を募集した。
- ・ 兵庫県内の大学図書館にとどまらず、公共図書館や大学図書館近畿イニシアティブ加盟館とも連携強化を図っている。
- ・ 平成 22 年度の活動成果として、各加盟館における「図書館業務のアウトソーシングの進捗状況」や「図書館広報活動の状況」を把握することにより、今後の大学図書館の在り方を考える上でも貴重な情報共有ができた。さらに「機関リポジトリ」について各加盟館の関心や取り組みを調査し、機関リポジトリの運用を考える上での有効な情報交換を行った。
- ・ 平成 21 年度からの事業である「機関リポジトリ支援のための WG」を継続し、加盟館から WG メンバーを募り、3 回の会議を開催した。活動内容は、平成 21 年度報告に挙げた支援策である「リポジトリに関する研修会の企画・開催」「機関リポジトリに関する情報交換のためのメーリングリストの開設」を実施し、さらに「機関リポジトリの構築・運用に役立つ情報公開を目的とした、兵庫県大学図書館協議会 WEB ページの活用」を検討している。

<その他>

- ・ 近畿地区国立大学等職員採用図書系専門試験実施委員会の委員を務めた。
- ・ 近畿イニシアティブ運営委員会の委員を務め、また運営委員会の開催協力をおこなった。
- ・ 近畿イニシアティブ能力開発専門委員会の委員を務めた（情報サービス課長補佐）。
- ・ 日本医学図書館協会近畿地区会／日本薬学図書館協会近畿・中四国・九州地区協議会／近畿病院図書室協議会共催シンポジウムの実行委員を務めた（情報サービス課長補佐）

◆評価と課題

国立大学図書館協会や兵庫県大学図書館協議会の活動において、会員間で緊密な連携と協力を図ることによって、それぞれの図書館機能の向上を支援するとともに、学術情報資源の共同整備と相互利用を促進し、加えて大学図書館職員の資質向上のためにメリットが大きい。

兵庫県大学図書館協議会における「機関リポジトリ」に関する様々な活動により、各加盟館の関心を向上させるとともに、貴重な情報交換の場を提供することで新たな支援となっている。

附属図書館蔵書・受入等の現況(平成22年度)

		総合・国際	社会系	自然系	人文	人間	研究所	医学	保健	海事	合計		
蔵書	蔵書数 (冊)	518,769	1,296,731	481,421	291,247	330,482	275,708	142,362	65,484	251,448	3,653,652		
	和洋区分	和漢書	371,215	610,198	253,858	182,932	255,552	119,904	60,337	56,410	194,668	2,105,074	
		洋書	147,554	686,533	227,563	108,315	74,930	155,804	82,025	9,074	56,780	1,548,578	
	目録状況	目録入力対象	454,000	919,000	313,000	250,000	250,000	210,000	60,000	54,000	204,000	2,714,000	
		入力済	370,000	830,000	213,000	215,000	204,000	157,000	42,000	53,000	204,000	2,288,000	
		未入力	84,000	89,000	100,000	35,000	46,000	53,000	18,000	1,000	0	426,000	
	所蔵雑誌数 (タイトル数)	2,338	8,485	5,050	4,098	2,395	4,030	2,128	1,202	4,678	34,404		
	和洋区分	国内雑誌	1,438	2,316	2,344	2,966	1,699	1,930	720	962	3,108	17,483	
外国雑誌		900	6,169	2,706	1,132	696	2,100	1,408	240	1,570	16,921		
図書受入	受入図書数 (冊)	4,777	3,810	19,470	6,010	4,104	5,646	1,163	3,460	2,122	2,564	53,126	
	和洋区分	和漢書	4,715	2,873	11,396	3,890	2,785	4,842	747	2,942	1,891	2,239	38,320
		洋書	62	937	8,074	2,120	1,319	804	416	518	231	325	14,806
	取得手段	購入(一般財源)	4,736	3,053	10,092	2,826	2,163	3,357	791	947	1,216	1,567	30,748
		補助金による購入	0	556	4,695	1,429	1,306	816	196	709	304	124	10,135
		一般寄贈	0	89	1,908	740	171	1,159	12	1,033	149	520	5,781
		製本編入	41	112	2,775	1,015	464	314	164	771	453	353	6,462
	取得目的	学生用図書	4,566	403	3,926	2,480	436	2,326	148	1,473	1,338	1,046	18,142
		図書館備付	149	998	8,426	670	2,434	0	471	1,253	453	1,189	16,043
		研究室備付	62	2,409	7,118	2,860	1,234	3,320	544	734	331	329	18,941
	除却・移譲等による減 (冊)	0	0	184	334	75	301	0	0	36	3,377	4,307	
	和洋区分	和漢書	0	0	141	248	47	244	0	0	36	2,760	3,476
		洋書	0	0	43	86	28	57	0	0	0	617	831
	年間増加数 (冊)	4,777	3,810	19,286	5,676	4,029	5,345	1,163	3,460	2,086	-813	48,819	
和洋区分	和漢書	4,715	2,873	11,255	3,642	2,738	4,598	747	2,942	1,855	-521	34,844	
	洋書	62	937	8,031	2,034	1,291	747	416	518	231	-292	13,975	
雑誌受入	受入雑誌数 (タイトル数)	131	398	3,567	1,189	1,944	943	937	693	410	631	10,843	
	和洋区分	国内雑誌	106	343	1,182	861	1,678	826	462	449	361	514	6,782
		外国雑誌	25	55	2,385	328	266	117	475	244	49	117	4,061
	取得手段	購入(一般財源)	131	111	3,256	709	328	354	322	224	151	177	5,763
		補助金による購入	0	0	31	6	0	0	0	48	0	0	85
		一般寄贈	0	287	280	474	1,616	589	615	421	259	454	4,995
		その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	取得目的	学生用雑誌	102	24	88	164	23	118	0	212	138	234	1,103
図書館備付		0	338	3,091	769	1,921	589	934	405	259	357	8,663	
研究室備付		29	36	388	256	0	236	3	76	13	40	1,077	
その他資料受入	受入新聞数 (タイトル数)	9	0	30	13	6	6	11	5	7	13	100	
	和洋区分	国内新聞	6	0	25	11	4	6	6	4	7	82	
		外国新聞	3	0	5	2	2	0	5	1	0	18	
	取得手段	購入	8	0	30	13	6	6	11	5	4	11	94
		寄贈	1	0	0	0	0	0	0	0	3	2	6
	データベース(年間契約点数)	18	0	6	1	0	0	0	5	1	0	31	
電子ジャーナル(利用可能数)	15,023										15,023		
資料購入費	一般財源資料費	330,813,307	18,124,009	191,870,844	61,224,631	22,012,817	18,423,937	20,135,651	29,549,120	11,784,900	12,214,388	716,153,604	
	図書館セグメント	学生用図書	17,420,178	2,717,920	13,324,006	8,519,988	3,100,831	3,825,281	997,899	5,382,772	3,279,591	4,197,908	62,766,374
		その他資料費	310,451,894	0	36,575,154	3,988,482	0	0	0	0	0	0	351,015,530
	部局セグメント	館室備付	1,078,449	5,206,152	113,368,072	8,356,967	10,822,355	5,901,876	18,412,142	22,974,786	7,000,000	6,699,908	199,820,707
		研究室備付	1,862,786	10,199,937	28,603,612	40,359,194	8,089,631	8,696,780	725,610	1,191,562	1,505,309	1,316,572	102,550,993
	その他の財源 補助金等	3,851,950	4,497,447	32,081,886	15,696,550	10,116,693	7,917,940	1,564,688	10,674,550	1,005,115	2,292,640	89,699,459	
	図書購入費	12,531,293	18,165,362	115,349,601	30,485,889	22,744,072	16,498,458	7,679,571	13,909,052	6,446,768	10,129,459	253,939,525	
	和洋区分	和漢書	11,917,553	11,633,464	50,978,016	14,884,785	14,549,071	12,790,009	2,587,376	10,620,076	5,693,213	6,600,208	142,253,771
		洋書	613,740	6,531,898	64,371,585	15,601,104	8,195,001	3,708,449	5,092,195	3,288,976	753,555	3,529,251	111,685,754
	雑誌購入費	72,469,676	1,812,103	84,835,499	29,828,736	6,432,327	8,001,452	10,219,595	18,773,836	5,209,092	3,780,823	241,363,139	
	和洋区分	国内雑誌	1,280,834	643,588	15,310,581	12,302,512	1,380,980	3,189,460	1,545,711	3,702,583	2,290,873	1,326,470	42,973,592
		外国雑誌	71,188,842	1,168,515	69,524,918	17,526,224	5,051,347	4,811,992	8,673,884	15,071,253	2,918,219	2,454,353	198,389,547
	新聞購入費	294,756	0	3,226,093	477,936	297,576	140,700	844,768	247,656	175,260	482,141	6,186,886	
	電子資料費	249,260,411	0	14,435,519	11,886,786	0	0	0	5,332,433	290,350	0	281,205,499	
その他の資料購入費	109,121	2,643,991	6,106,018	4,241,834	2,655,535	1,701,267	2,956,405	1,960,693	668,545	114,605	23,158,014		
資料購入費計	334,665,257	22,621,456	223,952,730	76,921,181	32,129,510	26,341,877	21,700,339	40,223,670	12,790,015	14,507,028	805,853,063		
電子コンテンツ作成費	10,457,724										10,457,724		
製本費	330,939	6,002,325	2,195,445	1,032,591	679,182	354,732	1,667,673	979,839	776,937		14,019,663		

附属図書館サービス業務の現況(平成22年度)

		総合・国際	社会系	自然系	人文	人間	研究所	医学	保健	海事	合計	
施設	施設面積合計(㎡)	3,558	10,707	3,287	1,414	1,474	957	1,612	848	2,170	26,027	
	現行用途別(㎡)	サービススペース	1,954	2,365	1,577	775	538	136	838	653	719	9,555
		書庫スペース	1,208	5,801	449	473	714	760	431	38	1,051	10,925
		事務スペース	130	524	351	115	89	52	163	35	159	1,618
		その他	266	2,017	910	51	133	9	180	122	241	3,929
	閲覧座席数	閲覧座席数	450	421	222	105	151	23	190	80	143	1,785
		上のうち、教員用	0	0	0	0	0	11	0	0	0	11
	書架収容力	棚板延長(m)	12,286	49,030	10,535	8,824	7,857	6,833	5,616	1,723	7,258	109,962
収容可能冊数		341,300	1,361,900	292,600	245,100	218,300	189,800	156,000	47,900	201,600	3,054,500	
利用者端末台数		49	45	39	20	17	2	20	12	15	219	
利用者	利用対象者総数		4,970	4,375	5,970	833	1,457	66	2,518	915	1,298	22,402
	利用者別	学部学生	4,229	2,272	2,546	366	805	-	521	530	785	12,054
		大学院生	220	1,333	1,993	249	356	-	549	190	247	5,137
		教職員	386	571	1,367	184	222	63	1,404	167	230	4,594
		その他	10	36	17	8	44	3	17	5	0	140
		学外登録者総数	125	163	47	26	30	0	27	23	36	477
内訳: 卒業生等 328、放送大学 54、一般市民 95												
開館入館	開館日数	年間	272	320	277	270	271	238	289	257	268	2,462
		土曜(内数)	36	47	36	34	35	0	49	36	36	309
		休日(内数)	5	35	6	4	5	0	0	0	4	59
	時間外等開館時間数	平日時間外開館	751.5	1,066.5	778.5	540.0	688.0	0.0	956.0	498.0	516.0	5,794.5
		土曜開館	288	376	288	272	280	0	392	288	288	2,472
		休日開館	40	280	48	32	40	0	0	0	32	472
	入館者数	年間入館者総数	351,815	269,896	157,871	76,317	107,813	4,235	96,892	103,048	54,038	1,221,925
		(内訳)時間内(含:土日)	284,496	200,247	116,339	64,653	92,424	4,235	61,787	87,391	44,890	956,462
		平日時間外	67,319	69,649	41,324	11,664	15,389	0	17,572	15,657	9,148	247,722
		閉館時(無人)	-	-	208	-	-	-	17,533	-	-	17,741
土曜(内数)		14,211	19,090	7,270	2,280	2,428	0	4,606	5,297	1,809	56,991	
休日(内数)		3,407	10,924	1,713	224	242	0	0	0	308	16,818	
学外者(内数)		424	1,088	384	141	95	56	1,139	246	516	4,089	
うち、一般市民	324	677	297	69	38	4	397	194	407	2,407		
貸出	貸出総冊数		67,143	74,047	37,703	18,453	17,667	1,169	12,170	16,495	16,359	261,206
	利用者別	学生	43,946	23,320	23,158	4,756	10,650	113	7,082	11,782	9,363	134,170
		院生	16,797	38,676	12,276	10,331	5,604	494	1,039	3,166	4,625	93,008
		教員	3,641	5,483	1,325	2,560	764	377	898	1,162	1,154	17,364
		職員	1,703	2,102	577	611	388	179	2,996	254	634	9,444
		その他	41	28	21	5	0	0	121	0	128	344
		学外者総数	1,015	4,438	346	190	261	6	34	131	455	6,876
うち、一般市民	609	-	-	-	-	-	-	-	291	900		
参考調査	参考調査件数		3,410	5,126	3,592	2,345	51	204	1,430	1,542	1,249	18,949
	利用者別	学生	3,090	3,025	2,678	2,068	45	99	643	1,167	739	13,554
		教職員	270	307	477	178	4	82	501	129	76	2,024
		学外者	50	1,794	437	99	2	23	286	246	434	3,371
複写相互利用	来館複写件数		5,299	7,098	8,499	9,742	4,710	0	11,054	5,965	897	53,264
	利用者別	学内者	4,450	5,229	7,731	9,460	4,520	0	8,406	5,473	734	46,003
		学外者	849	1,869	768	282	190	0	2,648	492	163	7,261
	学内相互利用	ILL文献複写 受付	46	117	65	181	68	86	213	192	136	1,104
		ILL文献複写 依頼	162	156	106	72	223	1	163	164	70	1,117
	図書配送	配送申込者数	808	1,062	509	503	721	-	100	283	208	4,194
		配送申込冊数	1,975	1,499	757	864	1,432	-	138	335	255	7,255
	学外相互利用	ILL文献複写 受付	433	3,753	1,284	731	391	426	1,500	959	393	9,870
		ILL文献複写 依頼	573	529	873	837	1,143	27	1,381	1,071	152	6,586
		ILL現物貸借 受付	269	1,341	161	580	153	26	8	14	127	2,679
		ILL現物貸借 依頼	275	264	147	526	195	12	2	12	4	1,437
	海外ILL	文献複写 受付	0	10	0	0	0	0	1	0	3	14
文献複写 依頼		19	4	4	8	0	0	1	1	5	42	
現物貸借 受付		0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	
現物貸借 依頼		1	3	1	2	0	0	0	0	0	7	

電子ジャーナルタイトル数(H22.4)

15,023(洋:14,086+和:937)

電子ジャーナルアクセス状況(2010.1~12)

フルテキストへのアクセス数

	2010.1	2010.2	2010.3	2010.4	2010.5	2010.6	2010.7	2010.8	2010.9	2010.10	2010.11	2010.12	合計
Elsevier ScienceDirect	32,847	51,613	26,939	35,429	36,083	40,183	33,984	27,155	28,457	36,106	31,691	26,293	406,780
SpringerLINK	4,221	4,090	3,670	4,344	4,438	5,226	4,168	3,084	3,319	4,100	4,043	4,699	49,402
Wiley-Blackwell	6,394	13,022	6,209	6,057	6,535	7,143	6,742	5,617	6,181	8,756	8,072	8,661	89,389
JSTOR	4,708	4,156	3,350	4,158	4,443	4,971	4,054	3,062	2,831	3,093	3,847	3,712	46,385
Nature	5,040	4,876	4,726	5,311	5,608	5,787	4,808	4,446	5,315	6,182	6,550	5,743	64,392
Science Online	1,183	963	862	1,080	1,423	1,215	987	796	949	1,042	1,099	697	12,296
IEEE CSLSP-e	950	453	557	1,611	2,212	1,838	1,803	1,292	1,082	1,572	1,734	1,323	16,427
ACM Portal	1,368	3,364	1,263	1,292	1,720	1,327	1,837	1,064	1,268	1,449	1,054	1,007	18,013
APS	1,760	1,438	759	756	1,506	1,570	971	808	941	1,229	1,335	1,153	14,226
LWW via Ovid	978	926	1,110	1,294	1,290	1,410	1,297	1,176	1,122	1,160	1,127	1,029	13,919
ACS	4,058	4,033	3,978	4,275	5,547	5,634	3,771	2,518	4,324	7,372	5,236	2,889	53,635
Oxford UP	2,129	2,152	1,619	2,581	2,078	2,265	1,856	1,765	1,415	2,070	1,560	1,586	23,076
Cambridge UP	340	934	393	269	337	335	255	221	225	611	407	436	4,763
EBSCOhost	656	867	717	784	933	805	835	735	700	1,118	1,016	1,132	10,298
*HeinOnline	2,335	897	5,467	767	1,199	773	448	725	803	752	979	956	16,101

導入データベース数(H22.4)

全学利用	47 WWWアクセス(外部サーバ27, CD-ROMサーバ20)※官報除
キャンパス限定(医学)	3 医学3(医中誌, EBMR, Up to date)
スタンドアロン	285 各館館内利用のみ

データベースアクセス状況(2010.1~12)

各項上段がセッション数、下段(カッコ)が検索数

	2010.1	2010.2	2010.3	2010.4	2010.5	2010.6	2010.7	2010.8	2010.9	2010.10	2010.11	2010.12	合計
** Web of Science SCIE	3,369 (10,916)	3,056 (8,479)	2,911 (8,386)	3,763 (11,335)	4,137 (12,917)	4,585 (13,134)	3,533 (10,203)	2,615 (7,843)	4,158 (10,292)	4,289 (12,130)	3,706 (11,193)	5,814 (18,465)	45,936 (135,293)
JCR	574 (842)	468 (619)	497 (729)	587 (801)	607 (737)	854 (1,123)	642 (837)	531 (707)	544 (712)	577 (702)	493 (636)	529 (687)	6,903 (9,132)
医学中央雑誌	6,818 (34,095)	5,819 (30,030)	6,398 (29,337)	9,404 (45,611)	10,398 (50,484)	9,956 (49,705)	7,539 (38,371)	7,582 (39,319)	8,007 (41,273)	8,019 (41,231)	9,550 (49,572)	7,788 (40,142)	97,278 (489,170)
MathSciNet	3,075 (3,905)	1,832 (2,669)	3,633 (4,248)	3,805 (4,417)	3,471 (4,316)	4,577 (5,317)	2,158 (2,974)	2,031 (2,844)	4,215 (4,453)	3,632 (3,339)	2,776 (3,904)	3,291 (3,904)	38,496 (47,230)
SciFinder	382 (958)	319 (891)	257 (613)	455 (1,372)	357 (981)	459 (1,411)	338 (1,065)	285 (789)	406 (1,036)	520 (1,476)	505 (1,299)	311 (882)	4,594 (12,773)
Readers Guide to Periodical Literature	5 (12)	1 (4)	4 (20)	10 (71)	5 (22)	3 (8)	1 (5)	3 (5)	2 (2)	6 (7)	11 (28)	5 (10)	56 (194)
Business Periodicals Index	8 (28)	1 (7)	4 (26)	12 (82)	10 (32)	5 (11)	0 (2)	4 (5)	2 (4)	10 (17)	18 (44)	6 (19)	80 (277)
EconLit	114 (392)	81 (230)	7 (16)	121 (519)	104 (560)	87 (328)	103 (462)	82 (0)	111 (498)	129 (608)	129 (719)	97 (366)	1,165 (4,698)
Index to Legal Periodicals & Books	14 (81)	3 (2)	1 (0)	7 (8)	7 (11)	7 (12)	3 (2)	8 (21)	22 (113)	9 (38)	24 (125)	14 (44)	119 (455)
House of Commons Parliamentary Papers	3 (9)	4 (3)	2 (154)	8 (12)	14 (42)	2 (1)	2 (1)	3 (0)	2 (3)	2 (1)	2 (0)	1 (2)	45 (228)
* Business Source Premier	*	*	*	688 (1,378)	742 (1,545)	706 (1,263)	593 (1,089)	508 (507)	564 (1,104)	655 (1,387)	771 (1,809)	701 (1,473)	5,928 (11,555)
* CINAHL	*	*	*	61 (297)	56 (253)	44 (256)	20 (56)	22 (12)	30 (141)	37 (212)	68 (495)	96 (557)	434 (2,255)
* ProQuest Dissertations & Theses Complete [A&I]	*	*	*	92	35	4,549	133	31	58	65	53	68	5,084
* PhycINFO	*	*	*	12 (37)	20 (98)	34 (183)	39 (235)	31 (0)	35 (190)	24 (64)	112 (597)	55 (285)	362 (1,689)
* PhycARTICLES	*	*	*	41 (96)	62 (130)	106 (299)	95 (264)	96 (224)	68 (246)	94 (197)	153 (340)	114 (387)	829 (2,183)
* SourceOECD	*	*	*	18	92	42	47	66	21	15	5	0	306
***メディカルオンライン	*	*	*	4,517	5,158	5,254	4,299	4,433	3,784	4,448	5,683	4,255	41,831
* Lexis/Nexis.com	*	*	*	0	1	25	89	15	18	24	26	32	230
* Westlaw International	*	*	*	95 (931)	79 (1,195)	132 (852)	122 (941)	115 (949)	156 (1,949)	182 (1,819)	118 (732)	147 (897)	1,146 (10,265)
JapanKnowledge +NR	148 (571)	125 (848)	133 (879)	185 (1,871)	415 (2,067)	342 (2,005)	259 (1,232)	162 (926)	154 (872)	253 (1,619)	274 (2,221)	174 (1,344)	2,624 (16,455)
GiNii	6,662 (31,250)	4,416 (21,513)	2,761 (13,549)	6,161 (24,759)	7,494 (32,237)	7,984 (32,874)	7,317 (32,893)	4,646 (18,936)	4,501 (17,648)	7,072 (29,425)	7,494 (33,859)	6,206 (26,043)	72,714 (314,986)
日経テレコン21	132,843	59,058	41,805	75,633	133,600	397,356	344,677	289,112	241,241	234,107	249,016	330,670	2,529,118
聞蔵IIビジュアル	469 (13,131)	299 (5,506)	313 (2,374)	456 (3,853)	635 (6,894)	660 (6,637)	888 (10,274)	539 (7,001)	378 (8,910)	561 (12,429)	615 (10,213)	404 (6,175)	6,217 (93,397)
ヨミダス歴史館	828	774	519	789	965	1,635	2,327	987	268	548	1,222	575	11,437
毎日news/バック	359 (7,639)	321 (7,592)	735 (6,822)	776 (7,968)	748 (1,781)	1,113 (2,076)	1,191 (2,407)	479 (1,454)	319 (481)	393 (867)	473 (1,280)	328 (1,734)	7,235 (42,101)
MAGAZINEPLUS	303	163	153	267	417	432	326	209	209	289	387	314	3,469
Marquis Who's Who on the Web	21	2	66	407	28	18	28	0	0	1	29	1	601
JDreamII	284	257	163	940	1,011	637	256	754	350	550	498	270	5,970

※官報は統計データ未公開

* は2010年度導入

**Web of Scienceは2010.12中～全分野のバックファイルが利用可能に

***メディカルオンラインは2010年度から全学利用に

図書館ホームページ、OPAC等アクセス統計(H22.4～H23.3)

	H22.4	H22.5	H22.6	H22.7	H22.8	H22.9	H22.10	H22.11	H22.12	H23.1	H23.2	H23.3	合計
図書館トップページ	61,352	69,516	71,238	66,239	55,168	54,554	60,980	60,988	44,216	72,891	97,187	64,413	778,742
(うち学内)	41,938	49,669	50,802	42,480	33,891	30,904	40,101	39,738	28,401	25,556	29,606	18,266	431,352
(うち学外)	19,414	19,847	20,436	23,759	21,277	23,650	20,879	21,250	13,960	47,335	67,581	46,147	345,535
震災文庫トップページ	2,086	2,315	2,188	2,105	2,251	2,179	2,518	2,516	2,596	4,357	2,328	6,113	33,552
(うち学内)	172	267	229	152	185	243	228	175	334	497	213	464	3,159
(うち学外)	1,914	2,048	1,959	1,953	2,066	1,936	2,290	2,341	2,262	3,860	2,115	5,649	30,393
新聞記事文庫トップページ	4,821	5,814	5,866	5,767	5,466	4,929	5,021	5,113	4,557	5,623	6,614	4,370	63,961
(うち学内)	124	136	202	127	104	80	120	105	113	221	328	45	1,705
(うち学外)	4,697	5,678	5,664	5,640	5,362	4,849	4,901	5,008	4,444	5,402	6,286	4,325	62,256
OPAC延べ検索回数	167,140	183,793	200,697	210,463	169,439	184,457	371,193	293,096	199,255	133,401	79,114	73,764	2,265,812
(うち学内)	109,822	142,699	157,050	147,068	87,790	68,461	113,288	122,318	93,016	107,187	69,939	53,926	1,272,564
(うち学外)	57,318	41,094	43,647	63,395	81,649	115,996	257,905	170,778	106,239	26,214	9,175	19,838	993,248

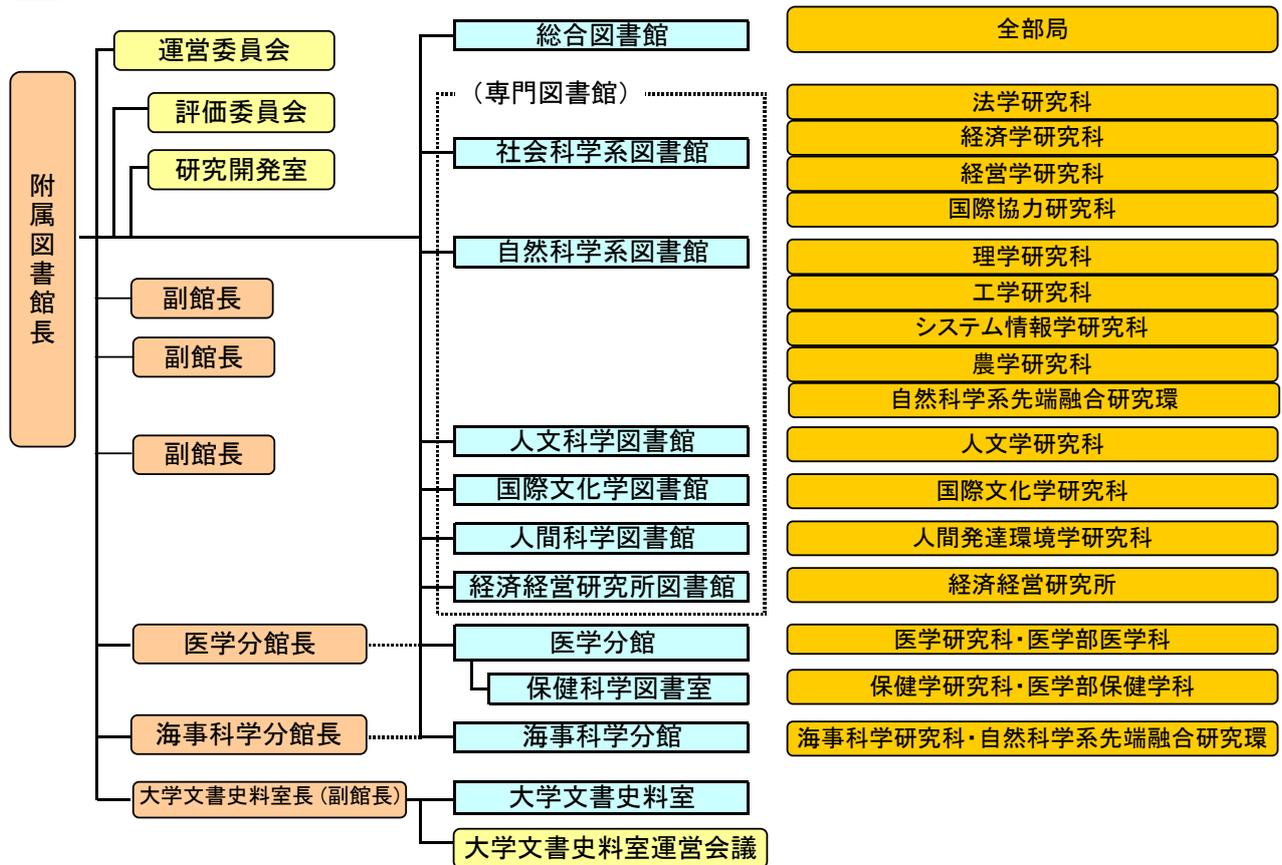
リンクリゾルバ(SFX)利用統計(H22.4～H22.3)

※SFX.H20.4より導入

	H22.4	H22.5	H22.6	H22.7	H22.8	H22.9	H22.10	H22.11	H22.12	H23.1	H23.2	H23.3	合計
電子ジャーナルアクセス数	31,284	34,849	34,413	23,534	18,616	19,593	27,415	25,100	20,424	22,067	18,447	14,955	290,697
電子ジャーナルリスト	7,505	7,134	7,753	6,094	5,371	4,889	5,947	5,751	5,345	5,909	5,725	5,238	72,661
DBからのアクセス数	23,779	27,715	26,660	17,440	13,245	14,704	21,468	19,349	15,079	16,158	12,722	9,717	218,036
→ フルテキスト	13,717	14,014	14,713	12,045	9,526	10,762	13,132	12,589	10,448	12,768	10,589	9,415	143,718
→ 所蔵検索数	6,528	7,712	7,881	6,258	4,408	4,567	6,406	7,153	5,447	4,579	3,595	2,516	67,050
→ 文献複写依頼	675	656	714	531	595	607	633	744	584	344	450	197	6,730

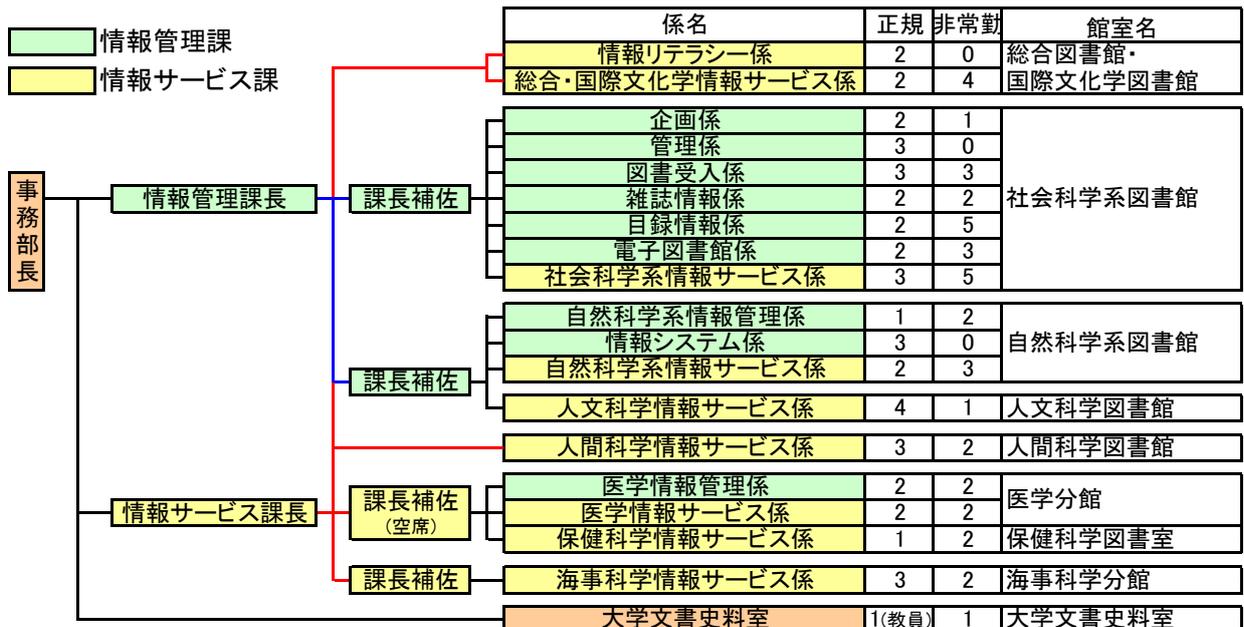
※ アクセス数：電子ジャーナルリストやDBからのSFXリンクアイコン総アクセス数、所蔵検索数：OPAC、Webcatのアクセス回数
各DB(CiNii、WOS、JDreamII、PubMed、医中誌など)へのSFXのリンク設定

附属図書館組織



各専門図書館、分館及び保健科学図書室に、各館(室)の図書委員会を置く。

事務組織と職員配置



附属図書館 正規職員48名 [欠員1名] 非常勤職員39名
 大学文書史料室 正規職員 1名 非常勤職員 1名 (平成23年5月現在)
 * 非常勤職員数は、夜間開館要員等、特定事業に関わるものを除く

経済経営研究所事務長	研究所図書係	3	1	経済経営研究所図書館
------------	--------	---	---	------------

平成22年度附属図書館諸会議一覧

<附属図書館運営委員会>

第1回： 6月1日（火） 10:30～ （於：附属図書館プレゼンホール）

協議事項

- (1) 平成21年度決算について
- (2) 平成22年度電子図書館事業について
- (3) 2011年外国雑誌購読調査について
- (4) 平成22年度総合図書館学生用資料整備計画について
- (5) 「神戸大学附属図書館の理念と目標」について
- (6) その他

報告事項

- (1) 各図書館・室報告について
- (2) 平成22年度前期図書館ガイダンスについて
- (3) 平成22年度営繕事業当初予算配分事業について
- (4) その他

第2回： 10月26日（火） 13:30～ （於：附属図書館プレゼンホール）

協議事項

- (1) 教育研究基盤資料の整備について
- (2) 平成22年度年次計画進捗状況報告及び平成23年度年次計画について
- (3) 「神戸大学附属図書館の理念と目標」について
- (4) 資料の不用決定について
- (5) その他

報告事項

- (1) 各図書館・室報告について
- (2) 大学文書史料室報告について
- (3) 平成22年度後期図書館ガイダンスについて
- (4) 学生選書ツアーについて
- (5) 平成22年度附属図書館展示会について
- (6) その他

第3回： 1月20日（木） 10:30～ （於：附属図書館プレゼンホール）

協議事項

- (1) 平成23年度電子図書館事業について
- (2) 平成23年度附属図書館予算要求について
- (3) 附属図書館関係規則の改正について
- (4) 資料の不用決定について
- (5) その他

報告事項

- (1) 各図書館・室報告について
- (2) 大学文書史料室進捗状況について
- (3) 平成22年度附属図書館展示会について

- (4) 平成22年度大学文書史料室展示会について
- (5) 館長・副館長・分館長と学生との懇談会について
- (6) 学生選書ツアーについて
- (7) 附属図書館情報交換会について
- (8) その他

第4回： 3月24日（木） 10:30～ （於：社会科学系図書館 会議室）

協議事項

- (1) 平成23年度附属図書館当初予算配分について
- (2) 平成23年度附属図書館学生用資料について
- (3) 図書館関係規則の改正について
- (4) 資料の不用決定について
- (5) その他

報告事項

- (1) 平成21年度選定学生用図書の分析・評価結果について
- (2) 各図書館・室報告について
- (3) 大学文書史料室報告について
- (4) 平成22年度部局年次計画報告について
- (5) 「博士学位論文の登録・公開」の推進活動について
- (6) 平成21年度附属図書館利用者アンケート調査結果報告について
- (7) その他
 - ① 入退館管理システム導入について
 - ② 被災地域の大学の学生・教職員への図書館サービス提供について
 - ③ 六甲台地区の学部学生へのデリバリーサービス拡大について

<附属図書館長・副館長・分館長懇談会>

第1回： 6月1日（火）9:30～ （於：附属図書館プレゼンホール）

議題

- (1) 平成21年度決算について
- (2) 「神戸大学附属図書館の理念と目標」について
- (3) その他

第2回： 10月6日（水）10:30～ （於：社会科学系図書館 館長室）

報告

- (1) 電子ジャーナル・データベース平成23～25年度経費（試算）について
- (2) 第二期中期計画・年度計画・ビジョン進捗管理について
- (3) 大学文書史料室の予算、ホームページ開設及び特別展について
- (4) 平成22年度資料展について
- (5) デジタルアーカイブ事業が「Library of the Year 2010」優秀賞受賞

議題

- (1) 「神戸大学附属図書館の理念と目標」について
- (2) 「館長・副館長・分館長と学生との懇談会」開催について
- (3) その他

第3回： 1月18日（火）～1月19日（水） （メール回議）

議題

- (1) 平成23年度電子図書館事業について
- (2) 平成23年度附属図書館予算要求について

第4回： 3月17日（木）10:30～ （於：社会科学系図書館 館長室）

議題

- (1) 平成23年度附属図書館当初予算配分について
- (2) 平成23年度附属図書館学生用資料費配分について
- (3) 図書館関係規則の改正について
- (4) その他

<附属図書館評価委員会>

第1回： 8月20日（金） （メール回議）

議題

- (1) 附属図書館年次報告について

第2回： 8月31日（火） （メール回議）

議題

- (1) 第二期中期目標期間に係る中期計画・年度計画・ビジョン進捗管理表について

第3回： 9月27日（月） （メール回議）

議題

- (1) 平成22年度部局年次計画の進捗状況報告について

第4回： 10月14日（木） （メール回議）

議題

- (1) 平成23年度部局年次計画について
- (2) 各部局等における年次計画の重点事項について

第5回： 10月20日（水） （メール回議）

議題

- (1) 平成22年度年度計画進捗状況について

第6回： 11月17日（水） （メール回議）

議題

- (1) 平成23年度年度計画について

第7回： 3月28日（月） （メール回議）

議題

- (1) 平成22事業年度に係る業務の実績について

<附属図書館研究開発室会議>

第1回： 5月27日（木） 10:30～ （於：自然科学系図書館 会議室）

報告事項

- (1) 平成21年度電子図書館事業報告について
- (2) 平成21年度学術成果リポジトリ事業報告等について
- (3) その他

協議事項

- (1) 平成22年度電子図書館事業計画について
- (2) その他

第2回： 1月6日（木） （メール回議）

協議事項

- (1) 平成23年度電子図書館事業経費要求について

<附属図書館大学文書史料室運営会議>

第1回： 4月27日（火） 13:30～ （於：社会科学系図書館 館長室）

議題

- (1) 神戸大学における法人文書等の大学文書史料室への移管等に関する要項案について
- (2) その他

第2回： 6月25日（金） （メール回議）

議題

- (1) 平成22年度神戸大学史・特別展について

第3回： 9月28日（火） 13:30～ （於：社会科学系図書館 館長室）

議題

- (1) 平成22年度神戸大学史・特別展について
- (2) 英文名称について

報告

- (1) 大学文書史料室進捗状況
 - ① 「公文書等の管理に関する法律第2条第3項第2号の規定に基づく政令で定める「国立公文書館等」について」（事前調査）について
 - ② 「神戸大学における法人文書等の大学文書史料室への移管等に関する要項」（案）について
 - ③ 「特定歴史公文書等の保存、利用及び廃棄に関するガイドライン（検討素案）」について
- (2) その他

第4回： 12月17日（金） （メール回議）

議題

- (1) 神戸大学附属図書館大学文書史料室利用等規則（案）について

第5回： 3月15日（火） （メール回議）

議題

- (1) 神戸大学附属図書館大学文書史料室利用等要項（案）について

第6回： 3月30日（水） （メール回議）

議題

- (1) 公文書管理法に基づく利用請求に対する処分に係る審査基準（案）について

<全学図書系係長会議>

第1回： 6月23日（水） 15:30～ （於：附属図書館プレゼンホール）

議題

- (1) 平成21年度決算について
- (2) 平成22年度電子図書館事業について
- (3) 2011年外国雑誌購読調査について
- (4) 平成22年度総合図書館学生用資料整備計画について
- (5) 神戸大学附属図書館大学文書史料室について
- (6) 平成22年度事業計画の進捗状況（各WG報告）について

第2回： 10月5日（火） 9:00～ （於：附属図書館プレゼンホール）

議題

- (1) 平成23年度概算要求における「元気な日本復活特別枠」
要望に関するパブリックコメントについて

第3回： 3月25日（金） 15:30～ （於：社会科学系図書館 会議室）

議題

- (1) 被災地域の大学の学生・教職員への図書館サービス提供について
- (2) 平成23年度附属図書館予算配分について
- (3) 施設整備について
 - ① 入退館管理システムの導入（総合・国際、自然、海事、人間）について
 - ② 避難器具の更新について（社会、自然）
 - ③ 社会科学系図書館本館外階段の手摺設置について
 - ④ グループ学習室の整備について（医学、保健）
 - ⑤ 空調設備の取替工事について（保健）
 - ⑥ 開架閲覧室の整備について（海事）
 - ⑦ 社会科学系図書館マイクロ資料室・震災文庫の移転及び会議室整備について
 - ⑧ 社会科学系図書館本館壁画及び油彩画の修復事業について
 - ⑨ 営繕要求分（社会科学系図書館トイレ及び外壁補修工事）について
- (4) 六甲台地区の学部学生へのデリバリーサービス拡大について
- (5) 台湾成功大学図書館との相互利用について
- (6) 大型プリンターの設置について
- (7) 平成21年度附属図書館利用者アンケート調査結果報告について
- (8) 博士論文登録推進活動について
- (9) 図書館の歴史資料等保有施設の指定について

- (1 0) 大学文書史料室の国立公文書館等に類する施設の指定について
- (1 1) 公文書等の管理に関する法律について
- (1 2) メディカルオンライン不正利用について
- (1 3) 他大学図書館へのアウトソーシング導入について
- (1 4) 各館室報告

<附属図書館運営委員会委員名簿>

	職 名	氏 名	任 期 等
附属図書館長	法・教授	瀧澤 栄治	H21. 4. 1～H23. 3. 31
副館長 (社会科学系・図書委員長)	済・教授	滝川 好夫	H21. 4. 1～H23. 3. 31
副館長 (自然科学系・図書委員長)	理・教授	樋口 保成	H21. 4. 1～H23. 3. 31
副館長 (附属図書館評価委員長)	文・教授	福長 進	H21. 4. 1～H23. 3. 31
医学分館長	医・教授	横崎 宏	H21. 6. 1～H23. 5. 31
海事科学分館長	海・教授	嶋田 博行	H22. 4. 1～H24. 3. 31
大学教育推進機構	教 授	山内 乾史	H21. 4. 1～H23. 3. 31
人文学研究科	教 授	市澤 哲	H21. 4. 1～H23. 3. 31
国際文化学研究科	教 授	石原 享一 窪田 幸子	H22. 4. 1～H22. 9. 30 H22. 10. 1～H24. 3. 31
人間発達環境学研究科	教 授	木下 孝司	H22. 4. 1～H24. 3. 31
法学研究科	教 授	佐藤 英明 飯田 文雄	H21. 4. 1～H22. 11. 16 H22. 11. 17～H23. 3. 31
経済学研究科	教 授	永合 位行	H22. 4. 1～H24. 3. 31
経営学研究科	教 授	水谷 文俊	H22. 4. 1～H24. 3. 31
理学研究科	教 授	川越 清以 竹内 康雄	H22. 4. 1～H22. 4. 30 H22. 5. 1～H24. 3. 31
保健学研究科	教 授	松尾 博哉	H22. 4. 1～H24. 3. 31
工学研究科	教 授	孫 玉平	H21. 4. 1～H23. 3. 31
システム情報学研究科	教 授	山本 有作	H22. 4. 1～H24. 3. 31
農学研究科	教 授	金子 治平	H22. 4. 1～H24. 3. 31
国際協力研究科	教 授	金子 由芳	H22. 4. 1～H24. 3. 31
自然科学先端融合研究環	農・教授	前藤 薫	H21. 4. 1～H23. 3. 31
経済経営研究所	教 授	伊藤 宗彦	H22. 4. 1～H23. 3. 31
学術情報基盤センター	教 授	鳩野 逸生	H22. 4. 1～H24. 3. 31
附属図書館	事務部長	三原 英夫	官職指定による

<附属図書館評価委員会委員名簿>

職名 (委員は全て官職指定)	氏名	備考
附属図書館長	瀧澤 栄治	
副館長	滝川 好夫	
副館長	樋口 保成	
副館長	福長 進	委員長
医学分館長	横崎 宏	
海事科学分館長	嶋田 博行	
事務部長	三原 英夫	
情報管理課長	稲葉 洋子	
情報サービス課長	星屋 真	

<附属図書館研究開発室室員名簿>

職名		氏名	備考
総括	附属図書館長	瀧澤 栄治	室長
震災関係資料 電子化部会	副館長(文)	福長 進	部会長
	国文・教授	大月 一弘	～H24. 3. 31
	都市安・教授	田中 泰雄	～H23. 3. 31
	文・教授	奥村 弘	～H24. 3. 31
経済関係資料 電子化部会	副館長(済)	滝川 好夫	部会長
	研究所・教授	富田 昌宏	～H24. 3. 31
	経済・准教	橋野 知子	～H24. 3. 31
	文・准教	河島 真	～H24. 3. 31
学内研究成果 電子化部会	副館長(理)	樋口 保成	部会長
	農・教授	前藤 薫	～H24. 3. 31
	国協・教授	金子 由芳	～H24. 3. 31
	バイオ・准教	向井 秀幸	～H24. 3. 31
(部会に属さず)	基盤セ・教授	鳩野 逸生	～H24. 3. 31

<附属図書館大学文書史料室運営会議委員名簿>

	所 属 等	職名	氏 名	任 期 等
議長 1号委員	館長・法学研究科	教授	瀧澤 栄治	H22. 4. 1～H23. 3. 31
室長 2号委員	副館長・人文学研究科	教授	福長 進	H22. 4. 1～H23. 3. 31
室員 3号委員	大学文書史料室	講師	野邑理栄子	H22. 4. 1～H23. 3. 31
4号委員	附属図書館	事務部長	三原 英夫	H22. 4. 1～H23. 3. 31
5号委員	人間発達環境学研究科	教授	船寄 俊雄	H22. 4. 1～H23. 3. 31
5号委員	農学研究科	教授	金子 治平	H22. 4. 1～H23. 3. 31
5号委員	人文学研究科	准教授	河島 真	H22. 4. 1～H23. 3. 31
5号委員	総務部総務課	課長補佐	霞末 悟 小紫 裕正	H22. 4. 1～H22. 6. 30 H22. 7. 1～H23. 3. 31
5号委員	企画部社会連携課	専門員	長塚 友宏	H22. 4. 1～H23. 3. 31

平成22年度 附属図書館決算(案)

単位:千円

事 項	平成22年度 予算配分額	平成22年度 決算額	比較増減	摘 要
経常運営費				
備品・消耗品費	9,983	20,151	△ 10,168	備品類、事務用品、図書館用品、用紙類、電算用品、蛍光灯類、その他
事務用図書費	800	491	309	事務用図書、事務用雑誌
印刷製本費	700	328	372	利用案内等
光熱水料	24,600	23,545	1,055	電気代、ガス代、上下水道
通信運搬費	6,600	6,113	487	切手代、郵便料、電話料、学内資料搬送、その他
借料及び損料	7,100	3,860	3,240	複写機、タクシー
雑役務等諸経費	37,000	39,257	△ 2,257	EV保守、廃棄物処理、清掃請負、警備請負、複写作業請負、各種繕、備品修理、消防設備保守、その他保守業務費、雑費、その他
非常勤職員給与等	89,000	86,462	2,538	
電子計算機維持経費	120	20	100	情報基盤センター利用負担金
職員旅費	1,400	1,385	15	会議・研修会・講習会旅費、バス地下鉄私鉄カード
小 計	177,303	181,612	△ 4,309	
経常事業費				
時間外開館経費	20,000	19,131	869	
外部委託	8,700	8,700	0	社会科学系図書館・医学分館
開館要員(学生)賃金	11,300	10,431	869	その他分館(平成22年度から既定経費化)
電子図書館事業	15,000	15,037	△ 37	
外部委託経費(コンテンツ作成)	2,500	2,529	△ 29	震災関係資料、経済関係資料の電子化
外部委託経費(学術成果リポジトリ)	1,400	644	756	リポジトリに登録する学術成果の電子化、貴重資料の整備保存と電子化
外部委託経費(週及入力)	5,000	5,333	△ 333	目録週及入力外部委託費
リンクリソルバ維持経費	1,800	1,750	50	
アルバイト経費	4,000	3,775	225	
消耗品費	300	1,006	△ 706	
その他事業費	1,000	1,003	△ 3	
展示会経費	1,000	1,003	△ 3	
図書館資料費	97,500	104,210	△ 6,710	
学生用資料費	61,000	66,755	△ 5,755	
震災文庫資料費	500	461	39	
外国雑誌センター館経費	35,000	36,114	△ 1,114	
電子的情報基盤資料整備経費	1,000	880	120	
製本費	10,000	13,426	△ 3,426	
業務改善経費	6,120	0	6,120	
雑誌製本業務	3,240	0	3,240	
目録登録業務	2,880	0	2,880	
附属図書館長裁量経費	13,115	13,261	△ 146	グループ学習室の整備(医学分館、保健科学図書室)、空調設備更新(保健科学図書室)、空調機修理(自然科学系図書館、人文科学図書室、医学分館、大学文書史料室) 開架閲覧室の整備(海事科学分館)、震災文庫・マイクロ資料室の改修(社会科学系図書館) 避難器具更新(社会科学系図書館管理棟3-6階、自然科学系図書館3-4階) 障がい学生の要望により本館外階段に手摺設置(社会科学系図書館)他
小 計	162,735	166,068	△ 3,333	
運営費+事業費	340,038	347,680	△ 7,642	
電算機借料			0	
図書館業務システム	10,402	10,402	0	平成22年4月～12月までの9ヶ月分(学術情報基盤センターで一括処理)
電子図書館システム	41,467	41,467	0	平成22年4月～12月までの9ヶ月分
図書館システム	16,056	16,056	0	平成23年1月稼働予定(3ヶ月分)
小 計	67,925	67,925	0	
経常経費 計	407,963	415,605	△ 7,642	

事 項	平成22年度 予算配分額	平成22年度 決算額	比較増減	摘 要
臨時的経費				
教育研究基盤資料整備費	291,000	291,000	0	外国雑誌を含む電子ジャーナル及びデータベースの維持及び整備のための経費
教育研究活性化支援経費	18,572	18,572	0	電子ジャーナル等バックファイル整備(Web of Science, Nature)
教育研究充実設備費	18,000	18,000	0	入退館管理システムの導入(総合・国際文化図書館、自然科学系図書館、人間科学図書館、海事科学分館)
教育研究設備維持運営費	6,170	6,170	0	社会科学系図書館壁画の保存修復処置 中山画伯絵画修理のための輸送費
営繕関係費	13,548	13,548	0	社会科学系図書館本館外壁タイル剥落部分補修、社会科学系図書館便所改修工事及び海事科学分館書庫照明器具取替工事
ビジョン推進経費	7,524	7,524	0	大学文書史料室管理運営経費
SciFinder 利用者負担金	3,852	3,852	0	
前年度超過分		60	△ 60	
小 計	358,666	358,726	△ 60	
その他の臨時的経費				
収入確保インセンティブ経費	8,762	2,981	5,781	ILL文献複写料等収入見合
教員等館内複写料金	2,570	0	2,570	
小 計	11,332	2,981	8,351	
外部資金			0	
科学研究費補助金(研究成果公開促進費)	10,800	10,800	0	戦前期新聞経済記事文庫データベース
国立情報学研究所週及入力事業委託費	3,870	3,870	0	週及入力事業
山口誓子顕学寄付金	67	67	0	山口文庫資料購入
小 計	14,737	14,737	0	
臨時的経費等 計	384,735	376,444	8,291	
図書館セグメント 計	792,698	792,049	649	

平成22年度 図書資料費実績(案)

(附属図書館セグメント)

単位:千円

館室名	学生用資料				震災文庫 資料費	外国雑誌 センター	電子的情報 基盤資料整 備経費	教育研究基盤 資料整備費 ** 電子ジャーナル等	教育研究 活性化支 援経費	計 ***
	予算額 *	決算額 *	比較増減	図書購入冊 数						
総合図書館	16,830	17,420	△ 590	4,566			880	291,000	18,572	327,872
社会科学系図書館	9,944	13,324	△ 3,380	3,926	461	36,114				49,899
自然科学系図書館	12,209	12,508	△ 299	2,480						12,508
人文科学図書館	2,474	3,101	△ 627	436						3,101
国際文化学図書館	2,720	2,718	2	403						2,718
人間科学図書館	3,603	3,825	△ 222	2,326						3,825
経済経営研究所図書館	1,000	998	2	148						998
医学分館	5,045	5,383	△ 338	1,473						5,383
保健科学図書室	3,276	3,280	△ 4	1,338						3,280
海事科学分館	3,899	4,198	△ 299	1,046						4,198
小 計	61,000	66,755	△ 5,755	18,142	461	36,114	880	291,000	18,572	413,782

注* 図書の他 雑誌・新聞・電子資料などを含む

**電子ジャーナル経費・外国雑誌購読料補填経費

*** これ以外に、電子コンテンツ作成費 10,458千円(科研費補助金を含む)

(部局セグメント)

単位:千円

館室名	一般財源 図書資料費		
	館室備付 共同利用	研究室等 備付	計
総合図書館	1,078	1,863	2,941
社会科学系図書館	113,368	28,604	141,972
自然科学系図書館	8,357	40,359	48,716
人文科学図書館	10,822	8,090	18,912
国際文化学図書館	5,206	10,200	15,406
人間科学図書館	5,902	8,697	14,599
経済経営研究所図書館	18,412	725	19,137
医学分館	22,975	1,192	24,167
保健科学図書室	7,000	1,505	8,505
海事科学分館	6,700	1,317	8,017
計	199,820	102,552	302,372

(部局セグメント)

単位:千円

館室名	補助金等による購入					計
	科研費	委任経理	受託研究	その他	計	
総合図書館	0	0	0	3,852	3,852	334,665
社会科学系図書館	30,213	584	752	533	32,082	223,953
自然科学系図書館	10,636	1,503	3,320	238	15,697	76,921
人文科学図書館	9,664	45	78	330	10,117	32,130
国際文化学図書館	4,308	189	0	0	4,497	22,621
人間科学図書館	4,206	156	61	3,495	7,918	26,342
経済経営研究所図書館	1,557	7	0	0	1,564	21,699
医学分館	2,160	5,449	2,176	889	10,674	40,224
保健科学図書室	787	212	6	0	1,005	12,790
海事科学分館	1,220	352	721	0	2,293	14,508
計	64,751	8,497	7,114	9,337	89,699	805,853

単位:千円

合計
334,665
223,953
76,921
32,130
22,621
26,342
21,699
40,224
12,790
14,508
805,853

平成22年度附属図書館活動日誌

<4月>

- 2 (金) ~ 16 (金) 図書館ツアーガイドランス 対象：新入生
＜於：総合・国際文化学図書館＞
- 5 (月) 神戸大学新任教職員研修 対象：新任教職員
＜於：瀧川 講師：サービス課長 受講：2名＞
- 6 (火) 入学式 ＜於：神戸ポートアイランドホール 出席：館長＞
- 7 (水) 施設部打合せ
＜於：施設部 出席：部長・両課長・管理課長補佐(社会)・管理係長＞
国際文化学研究科 院生オリエンテーション 対象：国文大学院新入生
＜於：国際文化学部＞
- 9 (金) 留学生オリエンテーション 対象：前期留学生 ＜於：六甲ホール＞
図書館ツアーガイドランス 対象：新入生 ＜於：海事科学分館＞
- 9 (金) ~ 5月7日 (金) 「基礎ゼミ」教員依頼図書館ツアー：毎週金曜日2限目
対象：国際文化学部1年生 ＜於：総合・国際文化学図書館＞
- 12 (月) ~ 16 (金) 図書館ツアーガイドランス 対象：新入生
＜於：自然科学系図書館・人間科学図書館＞
- 12 (月) ~ 23 (金) 図書館ツアーガイドランス 対象：新入生 ＜於：保健科学図書室＞
- 14 (水) 理学部化学科オーダーガイドランス&自然科学系図書館ツアー
対象：理学部3年生
＜於：情報基盤センター演習室・自然科学系図書館＞
- 14 (水) ~ 16 (金) 会計検査院 会計実地検査
- 14 (水) ~ 16 (金) 図書館ツアーガイドランス 対象：新入生 ＜於：社会科学系図書館＞
- 16 (金) 兵庫県大学図書館協議会 役員会・企画委員会合同会議
＜於：社会科学系図書館 出席：部長・両課長・他＞
図書館ツアーガイドランス 対象：新入生 ＜於：海事科学分館＞
- 19 (月) ~ 23 (金) 図書館ツアーガイドランス 対象：新入生 ＜於：人文科学図書館＞
- 20 (火) 大学文書史料室要項案について打合せ
＜於：社会科学系図書館 出席：部長・両課長・室員＞
- 23 (金) 近畿地区国立大学等職員採用図書系専門試験実施委員会
＜於：大阪大学 出席：部長・管理課長＞
国立大学図書館協会近畿地区協会加盟館
図書系人事担当課長・事務長懇談会
＜於：大阪大学 出席：管理課長＞
国立大学図書館協会近畿地区協会 総会
＜於：大阪大学 出席：館長・部長・両課長＞
図書館ツアーガイドランス 対象：新入生 ＜於：海事科学分館＞
- 26 (月) ヘルマン・ヴァン・ロンプイ欧州理事会議長による記念講演会
＜於：六甲台講堂 出席：館長＞
- 27 (火) 第1回附属図書館 大学文書史料室運営会議 ＜於：社会科学系図書館＞
- 28 (水) オーダーガイドランス：大学院生のPC実習
対象：国際文化学研究科大学院生 ＜於：国際文化学部端末室＞
- 30 (金) オーダーガイドランス ＜於：社会科学系図書館＞

<5月>

- 8 (土) 停電に伴う臨時休館 (人文科学図書館)
- 10 (月) 兵庫県大学図書館協議会 企画委員会 <於: 流通科学大学
出席: 部長・両課長・管理課長補佐 (社会)・企画係長>
- 10 (月) ~ 14 (金) 図書館ガイダンス: 医学分館ホームページを使いこなす (入門編)
対象: 新入生 <於: 医学分館>
- 14 (金) 目録システム / ILLシステム講習会担当者説明会
<於: 国立情報学研究所 出席: 目録情報係長>
日本医学図書館協会近畿地区会例会
<於: 大阪大学 出席: サービス課長補佐 (医学) >
図書館システム入札説明会 <於: 社会科学系図書館 出席: 管理係>
「報道資料研究会: 日本新聞協会 (40名)」施設見学
デジタルアーカイブ等説明 <於: 社会科学系図書館・震災文庫他>
- 16 (日) 近畿地区国立大学法人等職員統一採用試験 第一次試験
- 17 (月) 第1回人間科学図書館 図書委員会
- 17 (月) ~ 7月1日 (木) 共通教育「情報基礎」授業開始 対象: 1年生全員
<於: 共通教育情報端末室>
施設キャラバン
<於: 社会科学系図書館 出席: 館長・部長・両課長・管理係長>
- 17 (月) ~ 12月31日 (金) 雑誌デリバリーサービス試行
(総合・国際文化学図書館・人文科学図書館・人間科学図書館)
- 19 (水) 近畿イニシアティブ 第1回能力開発専門委員会
<於: 関西学院大学 出席: 目録情報係長>
成均館大学校文科大学長 洪先生来館 <於: 社会科学系図書館>
大学文書史料室 データベースについて打合せ
<部長・両課長・室員・管理課長補佐 (自然)・情報システム係長>
監査法人と打合せ
<於: 社会科学系図書館 出席: 管理課長補佐 (社会)・管理係長>
- 21 (金) 外国雑誌センター館会議
<於: 東京工業大学 出席: 部長・管理課長・雑誌情報係長>
マネジメント・セミナー事前打合せ <於: 東京大学 出席: 管理課長>
オーダーガイダンス <於: 社会科学系図書館>
- 24 (月) 第1回社会科学系図書館 図書委員会
第1回自然科学系図書館 図書委員会
- 26 (水) 大学文書史料室について理事と打合せ
<於: 理事室 出席: 理事・館長・部長・両課長・室員>
オーダーガイダンス: 図書館資料の探し方 対象: 海事科学部3年生
<於: 海事科学分館>
- 27 (木) 第1回附属図書館 研究開発室会議 <於: 自然科学系図書館>
- 28 (金) オーダーガイダンス <於: 社会科学系図書館>
- 28 (金) ~ 29 (土) 日本医学図書館協会 総会 <於: 東京 出席: 医学情報サービス係長>
- 31 (月) 理事と各部署長とのグローバル教育戦略に係る意見交換
<於: 社会科学系図書館 出席: 理事・館長・部長・両課長>
- 31 (月) ~ 6月4日 (金) トライやるウィーク 神戸市立本庄中学校 (2名) <於: 海事科学分館>

<6月>

- 1 (火) 第1回附属図書館 図書館館長・副館長・分館長懇談会
＜於：図書館プレゼンホール＞
- 2 (水) 第1回附属図書館 運営委員会 ＜於：図書館プレゼンホール＞
第1回館長による「図書館職員のためのやさしいラテン語教室」
＜於：図書館プレゼンホール 講師：館長 受講：15名＞
- 3 (木) 修士論文・博士論文の電子化について教務係と打合せ
＜於：海事科学分館 出席：サービス課長・電子図書館係長＞
オーダーガイダンス ＜於：人間科学図書館＞
- 4 (金) 漢陽大学（韓国）職員研修（研修者：2名） ＜於：社会科学系図書館
出席：部長、サービス課長、管理課長補佐（社会、自然）他＞
オーダーガイダンス ＜於：社会科学系図書館＞
- 4 (金)～5 (土) マネジメント・セミナーの打合せ ＜於：北海道大学 出席：管理課長＞
- 7 (月) オーダーガイダンス：SciFinder 授業 理化学研究室
対象：理学部3年生 ＜於：情報基盤センター＞
- 8 (火) Web版 SciFinder 説明会 ＜於：自然科学系図書館＞
- 9 (水) 第2回館長による「図書館職員のためのやさしいラテン語教室」
＜於：図書館プレゼンホール 講師：館長 受講：15名＞
徳島大学より「法人カードについての調査」
＜於：社会科学系図書館 出席：図書受入係長・管理係員＞
- 11 (金) 関西活性化シンポジウム
「京都大・大阪大・神戸大 3大学トップおおいに語る」
＜於：梅田芸術劇場シアター・ドラマシティ
出席：館長・部長・サービス課長＞
- 14 (月) 第1回海事科学分館 図書委員会
- 15 (火) アプリケーションソフトウェア研修（エクセル応用）
＜於：百年記念館 受講：1名＞
- 16 (水) 大学図書館近畿イニシアティブ 第2回能力開発専門委員会
＜於：大阪大学 出席：目録情報係長＞
アプリケーションソフトウェア研修（ワード応用）
＜於：百年記念館 受講：1名＞
Web of Science 操作説明会 ＜於：自然科学系図書館＞
大学文書史料室について学長と打合せ
＜於：学長室 受講：館長・部長・両課長・室員＞
- 17 (木) アプリケーションソフトウェア研修（アクセス基礎）
＜於：百年記念館 受講：2名＞
- 17 (木)～18 (金) 雑誌論文の探し方（国内編・海外編） ＜於：自然科学系図書館＞
- 18 (金) 国立大学図書館協会 総会
＜於：札幌パークホテル 出席：館長・部長・管理課長＞
- 19 (土) 国立大学図書館協会 館長フォーラム
＜於：札幌パークホテル 出席：館長＞
国立大学図書館協会 マネジメント・セミナー
＜於：札幌パークホテル 出席：部長・管理課長＞
- 20 (日) 電気設備定期点検に伴う停電日（六甲台地区）

- 21 (月) アプリケーションソフトウェア研修 (パワーポイント総合)
 <於: 百年記念館 受講: 1名>
- 22 (火) 国立情報学研究所 平成21年度 CSI 委託事業報告交流会 (コンテンツ系)
 <於: 学術総合センター 出席: 電子図書館係長>
- 23 (水) 第1回 SPARC Japan セミナー2010
 <於: 学術総合センター 出席: 電子図書館係長>
- 24 (木) ~ 25 (金) 第1回附属図書館 係長会議 <於: 図書館プレゼンホール>
 大学図書館近畿イニシアティブ 基礎研修 (初任者研修)
 <於: 大阪大学 研修実施要員: 目録情報係長
 講師: 人文科学情報サービス係員 受講: 2名>
- 25 (金) 第2回附属図書館 大学文書史料室運営会議 (メール回議)
 ホームカミングデイにおける大学文書史料室主催の特別展企画について
 打合せ <於: 社会科学系図書館 出席: 館長・室長・部長・両課長>
- 第1回国際文化学図書館 図書委員会
 雑誌製本業務入札 <於: 図書館プレゼンホール 出席: 管理係>
 神戸大学大学院システム情報学研究科設置記念式典
 <於: 百年記念館 出席: 館長・部長>
- 29 (火) 学位論文 (博士) のデジタル化に係る著作権処理
 (「共通許諾」) 手続きに関する説明会の開催について
 <於: 国立国会図書館関西館 出席: 電子図書館係長>
- 近畿地区国立大学法人等職員統一採用試験 第一次試験合格発表
 日経テレコン21操作講習会 <於: 社会科学系図書館>
 裏打ちワークショップ <於: 文学部古文書室 受講: 1名>
 大学文書史料室について理事と打合せ <於: 理事室>
- 30 (水) 第3回館長による「図書館職員のためのやさしいラテン語教室」
 <於: 図書館プレゼンホール 講師: 館長 受講: 15名>
- <7月>
- 1 (木) 近畿地区国立大学法人等職員統一採用試験 機関訪問
 <於: 図書館プレゼンホール>
- 2 (金) 大学図書館近畿イニシアティブ 運営委員会
 <於: 京都大学 出席: 部長・管理課長>
- 4 (日) 近畿地区国立大学法人等職員採用図書系 専門試験
 <於: 京都大学 出席: 部長・両課長>
- 5 (月) ~ 16 (金) 大学図書館職員長期研修 <於: 筑波大学 受講: 1名>
- 6 (火) ~ 8 (木) 国立公文書館主催 公文書保存管理講習会
 <於: 芝パークホテル 出席: 室員>
- 7 (水) 第1回保健科学図書室 図書委員会
 第2回海事科学分館 図書委員会 (メール回議)
- 8 (木) 大学見学会: 徳島県立徳島北高等学校 45名 <於: 社会科学系図書館>
- 8 (木) ~ 9 (金) 近畿地区国立大学法人等職員採用図書系 面接
 <於: 自然科学系図書館
 出席: 部長・両課長・管理課長補佐 (社会)・企画係長>
- 12 (月) 監事と部局長等との個別懇談 <於: 社会科学系図書館 出席: 館長>
 理事と面談 <於: 理事室 出席: 部長・両課長>

- 1 3 (火) オーダーメイドガイドダンス <於：国際協力研究科>
 1 3 (火) ~ 1 4 (水) 兵庫県下教育機関事務系職員（新規採用者）研修
 <於：国立淡路青少年交流の家 受講：2名>
 1 4 (水) 第1回人文科学図書館 図書委員会
 入退館管理システム 仕様策定委員会
 <於：社会科学系図書館 出席：サービス課長・情報システム係長>
 1 5 (木) 局長との面談 <於：局長室 出席：部長・サービス課長>
 第1回総合図書館資料選定委員会 <於：総合・国際文化化学図書館>
 1 6 (金) 公開講演会「電子図書館の可能性」
 <於：国立国会図書館関西館 出席：電子図書館係員>
 2 0 (火) ~ 8月5日 (木) 前期試験期間特別開館（総合・国際文化化学図書館・自然科学系図書館・
 人文科学図書館・人間科学図書館・海事科学分館）
 2 1 (水) 神戸大学史特別展「神戸大学と戦争」巡回展の打合せ
 <於：神戸大学東京オフィス>
 国立大学図書館協会人材委員会小委員会
 <於：京都大学東京オフィス 出席：管理課長>
 2 3 (金) 兵庫県大学図書館協議会 総会
 <於：流通科学大学 出席：館長・部長・両課長他>
 2 5 (日) 文学部改修工事による停電のため臨時休館（人文科学図書館）
 2 8 (水) パソコン管理運用担当者セキュリティ研修
 <於：百年記念館 受講：1名>
 2 8 (水) ~ 3 0 (金) 学術ポータル担当者研修
 <於：名古屋大学 受講：1名>
 2 9 (木) 大学図書館近畿イニシアティブ 第3回能力開発専門委員会
 <於：関西学院大学 出席：サービス課長補佐（海事）>
 パソコン管理運用担当者セキュリティ研修
 <於：百年記念館 受講：1名>
 第2回保健科学図書室 図書委員会（メール回議）
 3 0 (金) 雇用保険制度改正に関する説明会
 <於：事務局 受講：2名>

< 8月 >

- 3 (火) 入退館管理システム 第2回仕様策定委員会
 <於：社会科学系図書館
 出席：サービス課長・管理係長・情報システム係長他>
 4 (水) ~ 6 (金) 第一種衛生管理者受験準備講習会
 <於：図書館プレゼンホール 受講：3名>
 5 (木) デジタルデータ作成作業仕様説明
 <於：図書館プレゼンホール 出席：管理係>
 1 1 (水) オープンキャンパス 経済学部 見学：社会科学系図書館
 デジタルデータ作成作業入札
 <於：図書館プレゼンホール 出席：管理係>
 1 2 (木) オープンキャンパス 法学部 見学：社会科学系図書館
 1 3 (金) ~ 1 6 (月) 神戸大学夏季一斉休業
 1 8 (水) オープンキャンパス 経営学部 見学：社会科学系図書館

- 19 (木) アプリケーションソフトウェア研修 (エクセル応用)
 <於: 百年記念館 受講: 1名>
- 20 (金) 第1回附属図書館 評価委員会 (メール回議)
 第1回近畿機関リポジトリ連続研修会
 <於: 神戸市外国語大学 受講: 電子図書館係員>
 アプリケーションソフトウェア研修 (エクセル応用)
 <於: 百年記念館 受講: 1名>
- 23 (月) ~ 24 (火) アプリケーションソフトウェア研修 (アクセス基礎)
 <於: 百年記念館 受講: 1名>
- 25 (水) ~ 26 (木) 学術ポータル担当者研修
 <於: 国立情報学研究所 講師: 電子図書館係長>
- 26 (木) 入退館管理システム 第3回仕様策定委員会
 <於: 社会科学系図書館 出席: サービス課長・管理係長他>
- 30 (月) 経営学研究科大学院教育改革推進プログラム実地調査
 見学: 社会科学系図書館
- 31 (火) 第2回附属図書館 評価委員会 (メール回議)

<9月>

- 1 (水) 電子媒体資料について理事と打合せ
 <於: 理事室 出席: 理事 (2名)・館長・部長 両課長>
- 3 (金) 古文書合宿事前指導 <於: 文学部 受講: 2名>
- 6 (月) ~ 8 (水) 古文書合宿 <於: みのたにグリーンスポーツホテル 受講: 2名>
- 7 (火) 学内会計監査 <於: 社会科学系図書館>
- 8 (水) ~ 10 (金) 目録システム講習会 図書コース
 <於: 国際協力研究科 受講: 3名 聴講: 1名>
- 10 (金) 国立大学図書館協会人材委員会打合せ
 <於: お茶の水女子大学 出席: 管理課長>
- 15 (水) うつ・自殺予防の相談対応スキル向上研修会
 <於: 兵庫県こころのケアセンター 出席: 企画係長>
- 16 (木) 国立大学図書館協会近畿地区協会 講演会
 「変容する大学図書館—図書館とは何をするところ?—」
 <於: 大阪大学 発表: 室員 出席: 管理課長他>
- 27 (月) ILLシステム地域講習会 <於: 大阪大学 受講: 1名>
 医学図書館協会電子ジャーナルコンソーシアム説明会 近畿地区
 <於: 大学コンソーシアム大阪 出席: サービス課長補佐 (医学) >
 第3回附属図書館 評価委員会 (メール回議)
 第3回保健科学図書室 図書委員会 (メール回議)
- 28 (火) 第3回附属図書館 大学文書史料室運営会議 <於: 社会科学系図書館>
- 28 (火) ~ 30 (木) 文化庁図書館等職員著作権実務講習会 <於: 六甲台本館 受講: 3名>
- 29 (水) 大学図書館近畿イニシアティブ 第4回能力開発専門委員会
 <於: 関西学院大学 出席: サービス課長補佐 (海事) >
 救急講習会 <於: 図書館プレゼンホール 受講: 3名>
- 30 (木) 昔の六甲を知ろう・ウォーキング
 「第1回神戸大学・六甲台はじまりのころ」六甲台地区見学
 <於: 社会科学系図書館 案内: 室員>

学長と報道機関代表者（15名）との懇談会

見学：社会科学系図書館・震災文庫

<10月>

- 1（金） 本館1階等トイレ改修の現場調査：施設部建築課
＜於：社会科学系図書館＞
事務系幹部職員・局長面談 ＜於：事務局 出席：部長・両課長＞
- 4（月） 産業医職場巡視
＜於：社会科学系図書館 出席：館長・部長・両課長他＞
- 5（火） 第2回附属図書館 係長会議 ＜於：図書館プレゼンホール＞
- 5（火）～8（金） 大学図書館職員短期研修 ＜於：京都大学 受講：1名＞
- 6（水） 第2回附属図書館 館長・副館長・分館長懇談会
＜於：図書館プレゼンホール＞
- 8（金） 兵庫県大学図書館協議会 第1回機関リポジトリ支援のためのWG
＜出席：管理課長補佐（自然）・電子図書館係長＞
留学生オリエンテーション ＜於：六甲ホール＞
- 9（土） 神戸商業大学予科70周年記念式典
＜於：大阪凌霜クラブ 出席：室員＞
- 14（木） 第4回附属図書館 評価委員会（メール回議）
- 15（金） 内定証書交付式 若手職員と内定者との懇談会
＜於：神大会館 出席：部長他＞
- 19（火） 公文書等の管理に関する法律の施行に伴う説明会
＜於：文部科学省 出席：室員＞
- 20（水） 第5回附属図書館 評価委員会（メール回議）
- 20（水）～22（金） 学術情報リテラシー教育担当者研修 ＜於：大阪大学 受講：1名＞
- 21（木） 学長表彰特別賞受賞 授賞式
受賞者：学術成果リポジトリ推進ワーキンググループ
＜於：六甲台講堂 出席：館長、部長、両課長他＞
- 22（金） 近畿機関リポジトリ連続研修会
＜於：奈良女子大学 出席：電子図書館係員＞
- 22（金）～12月21日（火） 資料展『住田文庫』にみる開国と文明開化
＜於：社会科学系図書館 主催：附属図書館＞
- 25（月） 日本医学図書館協会近畿地区会共催シンポジウム
「エビデンス作成とライブラリアンの役割」
＜於：大学コンソーシアム大阪
実行委員：サービス課長補佐（医学）・医学情報サービス係員＞
- 25（月）～11月5日（金） 神戸大学史特別展「神戸大学と戦争（1937～1945）」
＜於：百年記念館 主催：大学文書史料室＞
- 26（火） 第2回附属図書館 運営委員会 ＜於：図書館プレゼンホール＞
- 27（水） 救急講習会 ＜於：図書館プレゼンホール 受講：4名＞
- 27（水）～28（木） 雑誌論文の探し方（国内編・海外編） ＜於：自然科学系図書館＞
- 27（水）～29（金） 目録システム講習会（雑誌コース）
＜於：京都大学 受講：1名＞
- 28（木）～29（金） NAIST電子図書館学講座
＜於：奈良先端科学技術大学院大学 受講：1名＞

- 29 (金) 日経テレコン21操作講習会 <於：自然科学系図書館>
 大学見学会：兵庫県立星陵高等学校 <於：社会科学系図書館>
 30 (土) 第4回神戸大学ホームカミングデイ
 <於：六甲台 社会科学系図書館・展示会・震災文庫 見学受入>

<11月>

- 1 (月) 大学文書史料室データベースについて打合せ
 <於：大学文書史料室 出席：管理課長・管理課長補佐(自然)・室員
 情報システム係長・電子図書館係長他>
 2 (火) 監査法人による期中監査
 8 (月) 年次計画等に関するヒアリング
 <於：事務局 出席：館長・部長・両課長>
 オーダーメイドガイダンス <於：社会科学系図書館>
 8 (月)～12 (金) トライやるウィーク 神戸市立長峰中学校(1名)
 神戸市立上野中学校(1名)
 神戸市立鷹匠中学校(1名)
 9 (火)～12 (金) 西洋社会科学古典資料講習会 <於：一橋大学 受講：1名>
 10 (水) 国立大学図書館協会 人材委員会 <於：京都大学 出席：管理課長>
 国立大学図書館協会 秋季理事会
 <於：京都大学 出席：館長・部長・管理課長>
 第2回人文科学図書館 図書委員会
 Web of Science (社会系・人文系) 操作説明会
 <於：社会科学系図書館>
 学生選書ツアー説明会 <於：総合・国際文化学図書館>
 11 (木) 国立大学図書館協会 人材委員会人材育成事業グループ打合せ
 <於：京都大学 出席：管理課長>
 11 (木)～12 (金) 雑誌論文の探し方(国内編・海外編) <於：社会科学系図書館>
 15 (月) 大学見学会：兵庫県立兵庫高等学校 <於：社会科学系図書館>
 15 (月)～19 (金) 韓国海洋大学校へ研修者派遣
 <研修：サービス課長補佐(海事)・電子図書館係員>
 16 (火) 雑誌論文の探し方(国内編・海外編) <於：人間科学図書館>
 16 (火)～29 (月) 神戸大学史特別展「神戸大学と戦争(1937～1945)」巡回展
 <於：アカデミア館オープンアカデミー 主催：大学文書史料室>
 17 (水) 第6回附属図書館 評価委員会 (メール回議)
 学生選書ツアー <於：ジュンク堂書店三宮店>
 PsycINFO 説明会 <於：人間科学図書館>
 17 (水)～18 (木) 学内会計事務研修 <於：理学部 受講：1名>
 18 (火) 雑誌論文の探し方(国内編・海外編) <於：人間科学図書館>
 理事と面談 <於：理事室 出席：部長、両課長>
 19 (金) 国立大学図書館協会シンポジウム：大学図書館の「強み」と「弱み」
 <於：奈良女子大学 委員：管理課長 参加：3名>
 24 (水) 国立大学図書館協会近畿地区協会人事担当課長・事務長懇談会
 <於：京都大学 出席：管理課長>
 国立大学図書館協会近畿地区協会 事務連絡会
 <於：京都大学 出席：部長・両課長>

- 25 (木) 日本医学図書館協会第1回地区会事務局会議
 <於：JMLA事務局 出席：サービス課長補佐(医学)>
- 25 (木)～26 (金) 図書館総合展
 <於：パシフィコ横浜 出席：館長・管理課長・電子図書館係長>
 第7回DRFワークショップ：図書館総合展
 <於：パシフィコ横浜 出席：電子図書館係長>
- 26 (金) Library of the Year 2010 優秀賞受賞 授賞式
 <於：パシフィコ横浜 出席：館長・管理課長・電子図書館係長>
 国立公文書館つくば分館研修・見学会
 <於：国立公文書館・つくば分館 受講：1名>
 横浜国立大学より来館者2名
 「図書館システム及び財務会計システムの連携について」
 <於：社会科学系図書館 出席：情報システム係長>
- 26 (金)～27 (土) 社会科学系図書館TVドラマ登場 松本清張スペシャル『球形の荒野』
- 30 (火) 兵庫県大学図書館協議会研究会
 「図書館空間をつくる：利用者を引きつける空間づくり」
 <於：図書館プレゼンホール 出席：18名>

<12月>

- 1 (水) 日本医学図書館協会近畿地区例会 <於：大阪市立大学
 出席：サービス課長補佐(医学)・医学情報サービス係長>
- 1 (水)～2 (木) 雑誌論文の探し方(国内編：医中誌・海外編) <於：保健科学図書室>
- 2 (木) 入退館システム技術審査 <於：社会科学系図書館
 出席：サービス課長・管理課長補佐(自然)他>
- 3 (金) 大学図書館近畿イニシアティブ 第5回能力開発専門委員会
 <於：関西学院大学 出席：サービス課長補佐(海事)>
 神戸大学環境シンポジウム2010
 <於：六甲台講堂 出席：部長・サービス課長>
 副館長と学生との懇談会 <於：自然科学系図書館>
 EBSCOhost (PsycINFO, CINAHL) 操作説明会
 <於：保健科学図書室>
- 7 (火)～9 (木) 第2回人間科学図書館 図書委員会
 障害者サービス担当者職員向け講座
 <於：国立国会図書館関西館・大阪市立中央図書館 受講：1名>
- 8 (水)～10 (金) NACSIS-CAT/ILL ワークショップ
 <於：国立情報学研究所 受講：1名>
- 9 (木)～10 (金) 新図書館業務システム操作説明会 <於：自然科学系図書館>
 第3回海事科学分館 図書委員会
- 10 (金) 兵庫県大学図書館協議会研究会 共催：機関リポジトリ支援のためのWG
 第4回機関リポジトリ連続研修会 <於：神戸女子大学
 講師：電子図書館係長・電子図書館係員 出席：7名>
 シンポジウム「大学からの研究成果オープンアクセス化方針を考える」
 <於：東京大学 出席：管理課長補佐(社会)>
 近畿地区行政管理・評価セミナー
 <於：国民会館・住友生命ビル 受講：1名>

- 神戸大学見学案内 一橋史跡めぐり大阪・神戸ツアー
 <東京工業大学・一橋大学合同移動講座関連企画 出席：室員>
- 1 1 (土) 神戸大学見学案内：NPO 法人アメニティ 2000 <案内：室員>
 ネットワーク工事 <於：総合・国際文化学図書館・人間科学図書館>
- 1 1 (土)～1 2 (日) ネットワーク工事 <於：海事科学分館>
- 1 3 (月) 社会科学系図書館見学案内：文部科学省専門官
- 1 3 (月)～1 4 (火) ネットワーク切替作業
- 1 4 (火) 第2回国際文化学図書館 図書委員会
- 1 5 (水) 副館長と学生との懇談会 <於：人文科学図書館>
 第3回人文科学図書館 図書委員会
 大学見学会：神戸野田高等学校38名 <於：社会科学系図書館>
- 1 7 (金) 第4回附属図書館 大学文書史料室運営会議 (メール回議)
 全国遺跡資料リポジトリ・オープンカンファレンス
 <於：大阪大学 出席：管理課長補佐(自然)>
- 1 8 (土)～2 3日(木) 図書館業務システム停止：閲覧業務以外
- 2 1 (火) 大学文書史料室巡回展会場打合せ
 <於：東京六甲クラブ 出席：室員他>
- 2 3 (木) 図書館業務システム停止：閲覧業務
- 2 4 (金) 図書館業務新システムサービスイン
- 2 5 (土) ネットワーク工事 <於：保健科学図書室>
- 2 8 (火) 韓国海洋大学校研修報告および
 神戸大学史と公文書管理法についての勉強会
 <於：図書館プレゼンホール 受講：附属図書館職員58名>

<1月>

- 6 (木) 第2回附属図書館 研究開発室会議 (メール回議)
- 1 1 (火) 機関リポジトリのアクセス数をいかに数えるか?
 <於：国立情報学研究所 受講：1名>
- 1 3 (木) 兵庫県大学図書館協議会 機関リポジトリ支援のためのWG
 <於：自然科学系図書館
 出席：管理課長補佐(自然)・電子図書館係長>
 社会科学系図書館見学：文部科学省研究振興局情報課係長
- 1 4 (金) 2次元RFIDによる書棚管理システム説明会：インフォコム
 <於：自然科学系図書館>
- 1 7 (月) 東京女子大学「マイライフ・マイライブラリー」公開実績報告会
 <於：東京女子大学 出席：情報リテラシー係長>
 館長・副館長と学生との懇談会 <於：社会科学系図書館>
- 1 8 (火) シンポジウム「学術情報流通の改革を目指して4～
 大手出版社が考えるビッグディール後の契約モデル～」
 <於：東京大学 出席：館長・部長・サービス課長>
 第3回附属図書館 館長・副館長・分館長懇談会(メール回議)
- 1 9 (水) 第6回内閣府公文書管理委員会：利用等規則に関するヒアリング
 <於：中央合同庁舎 出席：館長・部長・室員>
- 1 9 (水)～3月18日(金) 社会科学系図書館トイレ改修工事：本館1F・管理棟2階

- 20 (木) 第5回近畿機関リポジトリ連続研修会
 <於：大阪市立大学 受講：1名>
 第3回附属図書館 運営委員会 <於：図書館プレゼンホール>
- 21 (金)～2月10 (木) 資料展『住田文庫』にみる開国と文明開化 巡回展
 <於：アカデミア館オープンアカデミー 主催：附属図書館>
- 24 (月)～25 (火) 特別研修～戦略的特許文献検索～
 <於：富士通エフ・オー・エム 受講：1名>
- 25 (火) 大学図書館近畿イニシアティブ 第6回能力開発専門委員会
 <於：関西学院大学 出席：サービス課長補佐(海事)>
- 25 (火)～27 (木) 公文書館実務担当者研究会議
 <於：国立公文書館 出席：室員>
- 27 (木) 部局輸出管理担当者実務研修会
 <於：瀧川記念学術交流会館 受講：1名>
- 28 (金) 兵庫県大学図書館協議会研究会
 「図書館空間をつくる：利用者を引きつける空間づくり」
 <於：図書館プレゼンホール 出席：13名>
- 31 (月) 分館長と学生との懇談会 <於：海事科学分館>

<2月>

- 3 (木) 指定建築物の廃棄物管理責任者研修
 <於：神戸文化ホール 受講：1名>
- 6 (日)～9 (水) 神戸大学史特別展「神戸大学と戦争(1937～1945)」巡回展
 <於：東京六甲クラブ>
- 7 (月) 平成24年度概算要求(特別経費)
 及び平成23年度事業計画学内説明聴取
 <於：自然科学総合研究棟 出席：館長、部長、両課長、管理係長>
 メンタルヘルス研修会 <於：瀧川記念学術交流会館 受講：1名>
- 9 (水) 目録システム/ILLシステム講習会担当者会議
 <於：国立情報学研究所 出席：サービス係長補佐(海事)>
- 14 (月) 雪に伴う六甲台地区図書館の臨時閉館：夜間開館休止
 <社会科学系図書館・総合・国際文化学図書館・人文科学図書館・
 自然科学系図書館・人間科学図書館>
- 15 (火) 公立大学協会図書館協議会近畿地区協議会講演会 電子出版の現況
 <於：神戸市立外国語大学
 出席：サービス課長補佐(海事)・電子図書館係員>
- 15 (火)～16 (水) オーダーメイドガイダンス 対象：保健学科3年生
 <於：保健科学図書室>
- 17 (木) 「オープン・アクセスとセルフ・アーカイビングに関する著作権マネジメント・プロジェクト(SCPJプロジェクト3)」に関する意見交換会
 <於：筑波大学 出席：電子図書館係長>
 英国図書館の書庫管理と保存環境
 <於：国立国会図書館関西館 受講：1名>
 六甲台6部局合同自衛消防訓練
 <於：兼松記念館・六甲台グラウンド 参加：7名>
 大学文書史料室見学：お茶の水女子大学3名

- 17 (木) ~ 18 (金) 会計監査人による期中監査
- 18 (金) 「博士学位論文の登録・公開」の推進について各研究科長との面談
 <於：理学研究科 出席：館長・部長・両課長・電子図書館係長>
- 21 (月) 公文書管理法制セミナー <於：全国町村議員会館 出席：室員>
 「博士学位論文の登録・公開」の推進について各研究科長との面談
 <於：農学研究科・人間発達環境学研究科
 出席：館長・部長・両課長・電子図書館係長>
- 21 (月) ~ 3月6日 (日) 震災文庫移転のため閉室
- 22 (火) 「博士学位論文の登録・公開」の推進について各研究科長との面談
 <於：システム情報学研究科・国際文化学研究科
 出席：館長・部長・両課長・電子図書館係長>
- 23 (水) 資金管理に関する内部監査 (社会科学系図書館)
 「博士学位論文の登録・公開」の推進について各研究科長との面談
 <於：工学研究科 出席：館長・部長・両課長・電子図書館係長>
- 25 (金) 社会科学系図書館撮影：神戸ビーズオフィス
 第2回自然科学系図書館 図書委員会

<3月>

- 1 (火) ~ 2 (水) 入退館システム導入に伴う臨時休館 (自然科学系図書館)
- 2 (水) 大学図書館近畿イニシアティブ 運営委員会
 <於：大阪大学 出席：管理課長>
 第4回人文科学図書館 図書委員会
- 2 (水) ~ 3 (木) 入退館システム導入に伴う臨時休館 (総合・国際文化学図書館)
- 3 (木) 入館管理システム運用開始 (自然科学系図書館)
 第4回保健科学図書室 図書委員会
- 3 (木) ~ 4 (金) レファレンス研修 <於：国立国会図書館関西館 受講：1名>
 入退館システム導入に伴う臨時休館 (人間科学図書館)
- 4 (金) 入退館システム導入に伴う臨時休館 (海事科学分館)
 入館管理システム運用開始 (総合・国際文化学図書館)
 内閣府実地調査：大学文書史料室 <於：大学文書史料室
 出席：館長・副館長・部長・両課長・室員>
 第3回人間科学図書館 図書委員会
- 7 (月) 入館管理システム運用開始 (人間科学図書館・海事科学分館)
- 8 (火) 情報セキュリティ管理に関する内部監査 <於：社会科学系図書館
 部長・両課長・管理課長補佐(自然)・管理係長・情報システム係長>
 第2回社会科学系図書館 図書委員会
- 9 (水) 第1回医学分館 図書委員会
- 10 (木) 「博士学位論文の登録・公開」の推進について各研究科長との面談
 <於：人文学研究科 出席：館長・部長・両課長・電子図書館係長>
 六甲台5部局長懇談会：博士学位論文の登録・公開の推進依頼
 <出席：館長>
 第3回国際文化学図書館 図書委員会
 第4回海事科学分館 図書委員会

- 1 1 (金) 国立大学図書館協会臨時理事会
 <於：東京大学 出席：館長・部長・管理課長>
 第1回経済経営研究所図書館 図書委員会
- 1 4 (月) 分館長と学生との懇談会 <於：医学分館>
- 1 4 (月)～1 8 (金) 保健科学図書室臨時休館：空調機工事
- 1 5 (火) 第5回附属図書館 大学文書史料室運営会議 (メール回議)
 大学文書史料室見学：桃山学院大学桃山学院史料室員
- 1 6 (水) 後期日程追試験による臨時休館 (自然科学系図書館・人文科学図書館)
 社会科学系図書館見学：中国事務所員
- 1 7 (木) 第4回附属図書館 館長・副館長・分館長懇談会
 <於：社会科学系図書館>
- 2 2 (火) 毎日新聞社取材：ビネガーシンドローム <於：社会科学系図書館>
- 2 4 (木) 兵庫県大学図書館協議会 機関リポジトリ支援のためのWG会議
 <於：自然科学系図書館
 出席：管理課長補佐(自然)、電子図書館係長>
 研修会「図書館員のための漢籍の第一歩」
 <於：大阪大学 受講：4名>
 第4回附属図書館 運営委員会 <於：社会科学系図書館>
- 2 5 (金) 神戸大学学位授与式 <於：神戸ポートアイランドホール 出席：館長>
 震災文庫取材：TOKYO 大学博物館ガイド <於：社会科学系図書館>
 第3回附属図書館 係長会議 <於：社会科学系図書館>
- 2 8 (月) 第7回附属図書館 評価委員会 (メール回議)
 永年勤続者表彰式 <於：六甲ホール>
- 3 0 (水) 第6回附属図書館 大学文書史料室運営会議 (メール回議)